

Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

マイクロフィルム版

国立国会図書館所蔵

明治期産業翻訳書集成

目録

ナダ書房

収録書目録

凡例

- 一、本集成は、お雇い外国人・官僚・技術者・知識人の報告と訳書類にて編纂する。
- 二、収録した刊行物の年代は、おおむね明治三年から明治二十八年をその対象とする。ただし、内容から判断し、それ以降のものも一部加える。
- 三、本集成は、国立国会図書館所蔵本を底本とし、一部を国立公文書館所蔵本で補った。なお、国立国会図書館未所蔵のものについては、「あとがき」にて調査結果を報告する。
- 四、書誌事項中△▽内の文章は、すべて収録書からの引用である。(引用文中、変体仮名は現代表記に改め、ルビは大半省略した。)書誌事項末尾の記号は、マイクロフィルム版の収録リール並びに齎番号である。
- 五、下欄に付した記号は、収録書に押された蔵書印等の種類を示す。その種類は「蔵書印一覧」に示した。
- 六、索引は、著者・翻訳者索引、刊行者索引の二種を付し、書誌を補うものとする。

I 万国博覧会編

ウィーン万国博覧会（一八七三年）

① 奥国博覧会筆記 博覧会事務局編 明治六年十二月序

二冊活版 21 cm (巻一) 序1 + 目録1 + 34 P、(巻二) 目録1 + 33 P + 図1枚

R 11122

△吾国にて此催しあるを知りしは明治四年の二月の事にて其年の冬弥其会に加はる事と御決議になり初て御用係りの人を命ぜられ翌五年の正月十四日國中一般に御布告あり……さて日本より此会に列らなる主意は元来左の五ヶ条を目的とするものなり 一御国内自然の産物と人工にて成りたるものを出して国土のよろしきと人の工なるとをもつて誉れを海外にあらはし度事 二各国の出品を見其製作の手續を聞き学芸の精しきと機械の妙とを伝習し我国の産物を行末いよいよ多く且つよからしむるやうなし度事 三此会によりて御国内にも博物館を建て国内の博覧会を催し人の見聞を広くし智識を増すやうなし度事 四物産の製法よろしければ自然他国に賞美せられ遂には其日用になくて叶はぬものともなるへしかくの如くにして以後輸出の数を増すやうなし度事

五各国必用のものゝあらましを知り諸品の元価売価を探りて後來交易の都合ともなし度事▽(本文「吾国此会に列らなる事」)

② 博覧会見聞録 博覧会事務局編 明治七年一月序

五冊木版 22 cm (巻一 鉦山及冶金の区) 序1+23丁、(巻五 織物衣服の区) 40丁、(巻六・七・八 革細区・金石細区・木細区) 8+21+10丁、(巻九 石瓦焼物硝子の区) 30丁、(巻十四 上 測量天文窮理器械の区) 29丁

R 1-42
68
111
153
186

△ 墺地利のもやうハあらましを筆記二冊に志るし出版したれどもこれハたゞそのありさまを志るせるのミなり さて諸国の出品人いづれもその国々の地にできるもの人の細工にて作りしものを持より七万ばかりにおよびたり これをその数に志たがひて二十六区となし別に増加の博覧会暫時の博覧会等ありてつらねたり▽(序)

③ 澳国博覧会報告書 博覧会事務局 明治八年八月序

三十五冊 活版 22 cm

R 1-6

△ 夫レ万国大博覧会ノ用タルヤ博ク各国ノ所為ヲ察シ制規学芸ヨリ工業機械等ニ至ル迄其進歩改新日ニ精良ニ趨クノ状ヲ視テ親シク之ヲ列品ニ徴シ深く之ヲ著論ニ考ヘ其所長ヲ採リ之ヲ我国ニ資益スルニ在リ 我事務局嚮ニ澳国博覧会ニ在ルノ日採集スル所ノ諸書ヲ訳成シ政府ニ上ツル者若干冊 皆之ヲ印刷ニ付シ題スルニ澳国博覧会報告書ヲ以テシ各省使庁府県ニ頒送シ其余ヲ発売

シ遍ク全国ニ報告スルノ意ヲ表セントス 然レトモ其摺採蒐集スルノ意ヲ示サミレハ人其要領ノ在ル所ヲ認視スル能ハス 而シテ元副総裁佐野氏ノ報告書之ヲ与述スル 詳カナリ 故ニ今併セテ之ヲ印刷シ各部ノ首ニ掲ケ以テ其序言ニ代フト云フ(序)

(1) 議院部 上下

(上) 序1十議院開式ノ報告書(佐野常民) 2十目次1十60丁、(下) 凡例1十49丁

(上卷) 「一八七三年澳国上下議院開式勅語」「同年普国伯林議院開式勅語」「一八七四年独国民選

議院開式并閉会勅語」「一八七五年英国議院開式勅語」等十点付録二点 平山成一郎訳

(下卷) 「凡例」「澳国邦州會議憲法問答」「国議院議事景況」「澳洪兩部共議院(テレガチラン)

ノ記事」

東條一郎訳

R 1
286

△臣常民嚮ニ澳伊兩国弁理公使ノ命ヲ忝シ歐洲ニ渡航シ会々澳国民選議院開式ノ席ニ蒞ミ親シク其儀式ヲ觀又皇帝議院ニ下ス所ノ勅語ヲ聴ケリ 蓋シ其旨趣タル国是ヲ定メンカ為メ開院中マサニ議スヘキノ要目ヲ挙ケ之ヲ議官ニ下スニ在リ 而シテ閉院ノ日ニ於テ其既ニ議決シテ勅可スル者及ヒ勅可シテ施行スル者其未タ議決セサル者若クハ再議スヘキ者等ノ要件ヲ条列シ皇帝又之ヲ議官ニ示シ以テ閉院ノ式ヲ終フ(議院開式ノ報告書)

△此書ハ種々ノ書籍或ハ新聞紙等ヨリ輯訳シ訳方皆原文ノ体裁ニヨル(下・凡例)

(四) 礼法部

序1+礼法設定ノ報告書(佐野常民) 2+65+5丁

仏国礼法摘訳(序6+目次3+摘訳56丁)

山崎直胤訳

R 1 339

〔伊国〕宮内執事ブレヘー兼大礼官及礼式懸長官メートルデノ職掌(5丁)

山崎直胤訳

R 1 408

△夫礼法ノ貴フ所ノ者ハ人間ノ通交ヲ厚フシ上下尊卑ノ別アラシムル所以ナリ 之ヲ原クルニ天
理自然ノ節文ニ出テ之カ儀則ヲ設ケ人々ヲシテ是ニ由テ履行セシムルモノトス 人生レテ辞讓羞
恥ノ心アリ 礼ハ是心ヲ表章スルニ在ルノミ(礼法設定ノ報告書)

(ハ) 博物館部 上中下

(上) 序1+博物館建設報告書(佐野常民) 12+98丁、(中) 103丁、(下) 71丁

(上卷) ドクトル、ワグ子ル氏東京博物館創立ノ報告(一八七五年三月)

浅見忠雅訳

R 6 346

芸術及百工上芸術博物館ニ付テノ報告(ワグネル、一八七五年二月)

浅見忠雅訳

R 6 413

(中卷) 英国倫敦府内「サウツ、ケンシントン」博物館設立ノ来歴

富田淳久訳

R 1 417

英国博物館管掌条例

富田淳久訳

R 1 438

(下卷) 英国博覧館始末(一八五一年及び一八六二年英国博覧会、英国倫敦府毎歳博覧会、一八

五五年巴里府ノ博覧会、一八七三年維納府ノ博覧会について)

富田淳久訳

R 2 3

アルチエル氏ノ贈束(一八七四年十月二十八日、蘇格蘭以丁堡府學術博物館総長トーマ

ス、シー、アルチエルより公使佐野閣下に宛てた書翰)

富田淳久訳

R 2 56

アルチェル氏博物館ノ説

富田淳久記 R 2 | 61

上巻は国立公文書館所蔵本による。

(二) 農業部

序1十農業振起ノ条件報告書 (佐野常民) 11 + 67丁

〔仏国〕 農業記事

山崎直胤記 R 2 | 92

〔仏国農業事務省農務局長〕 チスラン氏勸農之説

山崎直胤記 R 2 | 117

ホーイブレンク氏阿利襪樹説 (同氏ニ質問スル所ナリ)

山崎直胤記 R 2 | 138

ポラ、ロツパ氏阿利襪樹ノ植栽方 (一八七五年三月)

緒方道平記 R 2 | 142

〔独逸国プロスカウ農業大学校長〕 セット、カスツ氏牧畜論

緒方道平記 R 2 | 145

(ホ) 道路部

序1十道路開修ノ方制報告書 (佐野常民) 7 + 89丁

R 2 | 168

澳国水陸通路記事

山崎直胤記 R 2 | 177

仏国通路記事

山崎直胤記 R 2 | 205

道路建築方法論 (於東京一八七五年三月、ジ一、エ一、グリーベン) 附図1枚

富田淳久記 R 2 | 240

ホーイブレンク氏並木説 (扉1十緒言5十抜訳13丁)

緒方道平記 R 2 | 251

八人ノ知ヲ開キ人ノ識ヲ広ムルノ方道路ヲ通スルヨリ近キハナシ (緒方「並木説緒言」)

(ハ) 山林部 上中下

(上) 序1 + 山林管制ノ趣旨報告書 (佐野常民) 8 + 37丁、(中) 56丁、(下) 56丁 R 2 | 272

(上卷) マルヘット氏問答 [明治七年第八月一日マリアブロン山林大学校ノ博士マルヘット氏来

テ佐野公使ヲ「イスル」療養所ニ訪フ]

R 2 | 282

山林培養法 附図1枚 緒方道平訳 R 2 | 288

(中卷) 山林主用論 附図1枚 緒方道平筆記 R 2 | 323

山林変用論 附図1枚 緒方道平筆記 R 2 | 351

山林防害説 附図1枚 緒方道平筆記 R 2 | 368

澳国山林局官制 緒方道平筆記 R 2 | 379

(下卷) 山林制度論 [維納府近傍マリアブロン樹林大学校国政兼法律学教師博士グスタフ、マル

ヘット記] 緒方道平訳 R 2 | 387

澳国山林法律 緒方道平訳 R 2 | 402

山林経済論 緒方道平筆記 R 2 | 438

(ト) 蚕業部 上下

(上) 序1 + 蚕業織場勸興ノ報告書 (佐野常民) 14 + 55丁、(下) 103丁

(上卷) 蚕事巡視ノ略記 (明治六年七月) 佐々木長淳記 R 3 | 17

澳国「ゲルツ」地名養蚕学校ニ於テ伝習ノ略記（明治六年十月） 佐々木長淳記 R 3 | 32

グレーベン氏蚕事報告（一八七三年十月二日於維也納、ゼ、ア、グレーベンより佐野常民宛） R 3 | 42

日本生糸ノ評論〔伊国ベルガモ府製糸場長ツツピンゲル氏所評〕 平山成一郎記 R 3 | 63

バビエール氏日本生糸織物鑑定書〔澳国大博覧会審査官エルネスト、バビエールより佐野常民宛書翰〕 平山成一郎記 R 3 | 69

（下巻）日本生糸ノ説〔澳国博覧会第四類審査官長ハイメンダーヘ氏ノ所贈〕 平山成一郎記 R 3 | 82

以太利国貿易執政所贈生糸調書抜粹 平山成一郎記 R 3 | 98

〔パトワ〕養蚕実験局記事 平山成一郎記 R 3 | 108

パトワ養蚕実験規則〔パトワ府ニ養蚕実験局ヲ設ルノ詔〕 平山成一郎記 R 6 | 446

日本国生糸貿易論〔英新聞摘訳〕 富田淳久校 R 3 | 126

日本生糸及ソノ今日欧州貿易品タルノ景況〔横浜刊行 仏新聞レコジュ、ジャツポン号摘訳〕 平山成一郎記 R 3 | 148

蚕卵説 佐々木長淳報知・近藤真琴編輯 R 3 | 167

「パトワ養蚕実験規則」は国立公文書館所蔵本による。

（明治六年七月伊太利瑞士兩國ニ於テ養蚕法製糸法及ヒ屑糸精紡法ノ器械等調査スベキノ命ヲ銜

ミ三十日間巡見往還中略記スル所左ノ如シ▽(蚕事巡視ノ略記)

△長淳去年博覧会事務官として維納に至りし時弁理公使佐野朝臣の命を以て独乙人グレーベン氏と共に塊地利以太利等ヲ経歴し偏く養蚕製糸の法を訪問し其機械を見聞す▽(蚕卵説)

(子) 教育部 上下

(上) 序1 + 教育普施ノ方案報告書 (佐野常民) 7 + 54丁、(下) 111丁

(上卷) 澳国学制 附図1 + 附表1葉 相原重政・平山成一郎合訳

独逸学制論 [プールロトン氏近世独逸記教育部抄訳] 平山成一郎訳

(下卷) 独逸学制論 (62 + 正誤1丁) 平山成一郎訳

独逸学制論附学校科目 平山成一郎訳

千八百七十四年英国年鑑教育部抄訳 [訳者不記] R 3 263

「独逸学制論」は国立公文書館所蔵による。

(ロ) 兵制部 上中下

(上) 序1 + 兵制皇張ノ所見報告書 (佐野常民) 14 + 44丁、(中) 序1 + 74丁、(下) 序 + 56 + 正

誤1丁 R 3 303

(上卷) 魯国軍備ノ景況 東條一郎編輯 R 3 319

仏国兵備ノ景況 [澳国新聞ダニューブ抜訳、一八七四年九月] 平山成一郎訳

独逸大元帥モルトケ氏兵制ノ議 (7十付録2丁)

東條一郎訳 R 3 328

澳国兵制略

平山成一郎訳 R 3 338

(中卷)

魯国政戦時公法及ヒ習例会議々案
府所領

平山成一郎訳 R 3 368

仏新聞紙「レピユブリック、フランセーズ」所載「ブリュクセル」万国公法会議ノ顛末

略記

平山成一郎訳 R 3 385

戦時公法及習例ニ干スル万国公告文ノ草案

平山成一郎訳 R 3 427

(下卷)

澳国及欧州兵制改革記〔弁理公使佐野常民澳国ニ於テ仏国士官某氏ニ質問スル所ニ係ル〕

平山成一郎訳 R 4 3

澳国大砲試験始末〔九月一日新聞紙ターグフラット摘訳、第六十九号ウキール、ツァイ

トング摘訳、第七十号ウキール、ツァイトング摘訳〕

東條一郎訳 R 4 25

澳国砲兵士官「ユプトネル」氏ノ贈束〔第一〜三報〕

相原重政訳 R 6 528

八、七「センチメートル」後装大砲ノ記事(ユプト子ル)表2十図1葉

相原重政訳 R 6 539

澳国陸軍士官ビブラ氏所著博覧会軍事部記事抜訳

平山成一郎訳 R 4 38

「ユプトネル氏ノ贈束」「大砲ノ記事」は国立公文書館所蔵による。

△臣常民 誠惶頓首僚属ヲシテ訳セシムル所欧州各国兵制一覽表一卷 魯国及仏国兵備景況一卷

「モルトケ」氏兵制ノ議一卷 澳国兵制略一卷 澳国及欧州兵制改革説一卷 魯国政府万国戦時

公報議案及白国「ブリュクセル」府戦時公法会議記事二卷 澳国大砲試験始末一卷 「ビブラ」氏博覧会軍事部記事抜訳一卷 共ニ九巻並ヒニ稿ヲ脱ス 謹テ以テ上進ス 別ニ澳国海軍執政所贈ノ書数巻アリ 近藤真琴之ヲ摘訳セントス 又伊国ニ於テ方サニ製スル所千馬力甲鉄艦ノ図アリ該国海軍執政ノ特ニ厚意ヲ以テ贈ルモノニ係ル 之ヲ騰写シ解釈ヲ附セシメントス 共ニ業成ルヲ待ツテ進呈スヘシ▽（兵制皇張ノ所見報告書）

△千八百七十四年二月十六日独逸ノ議院ニテ大元帥「グラーフ、モルトケ」氏兵事ヲ拳論セリ同氏其論ヲ吐露スルニ当リ満院ノ議員ハ勿論「ビスマルク侯モ亦著手スル所ノ事ヲ抛チ同氏ノ席ニ近ツキ耳ヲ傾ケ其盛論ヲ聞キタリ 其論ニ曰▽（モルトケ氏兵制ノ議）

(又) 博覧会部 上中下（合本二冊）

(上) 序1十博覧会報告上呈ノ申牒（佐野常民） 2+44丁、(中) 127丁、(下) 74丁

(上卷) ワクネル氏維納大博覧会総報告

浅見忠雅訳 R 4 | 52

ワクネル氏報告第一区鉱山及冶金術

富田淳久訳 R 4 | 87

(中卷) ワクネル氏報告第二区農林及山林

富田淳久訳 R 4 | 98

ワクネル氏報告第三区化学工業

富田淳久訳 R 4 | 164

ワクネル氏報告第四区製造上ノ食料

富田淳久訳 R 4 | 201

(下卷) 博覧会場建築比較論「エム、ダクビー、ワイアット」ノ澳国博覧会及従前博覧会場建築比

較論ノ抜訳ニ係ル

富田淳久訳

工術博物館裨益論抄訳〔ブライク大学校政事学教師ドクトル、カル、リシテル記〕

R 4 | 233
R 4 | 279

〔昨上ル所ノ農業報告書中ドクトル、ワグネル氏ノ維府博覧会報告書ヲ草スルヲ陳ス 今其稿ヲ脱シ訳ヲ了スル者三卷ヲ上ツル第一卷ハ其総報告ニシテ博覧会ノ大綱ニ就テ其要旨ヲ統論シ以下各区ニ就テ其細目ヲ分疏ス 其第一区鉱山冶金ノ部ハ第一卷ノ末ニ附在セリ 第二卷ハ農業山林ノ部ニ係リ第三卷ハ化学工業ノ部トナス〕(博覧会報告上呈ノ申牒)

(ル) 鑛路部

序1十鑛路布置ノ目的報告書(佐野常民) 6十64丁十付表4葉

R 4 | 309

鐵道説〔以国鐵路ノ事ニツキ佐野公使ウハレンチアニ氏ト對話ノ筆記〕

R 4 | 317

政府或ハ会社ニテ鐵路ヲ布クヘキノ利害論

R 4 | 327

以国鐵道記事〔鐵道ヲ建築開行スルニ付政府ヨリソノ營業者ヲ救護スル事〕

平山成一郎訳

R 4 | 336

澳国西北鑛道建築ノ始末及近状

平山成一郎訳

R 4 | 343

中央亜細亞鑛道ノ事〔仏「イリュストラーション」新聞抜訳〕

平山成一郎訳

R 4 | 380

(ヲ) 貿易部 上中・下(合本二冊)

(上) 序1十貿易通盛ノ要旨報告書(八年十月、佐野常民) 9丁、(中) 序1十97丁、(下) 序1十70丁

R 4 | 392

(中) 世界貿易

相原重政訳

R 4 | 404

澳國貿易工業事務局規則

相原重政記

R 4 | 483

(下) 澳洪産業進歩記事〔千八百六十五年以來澳洪兩國物産貿易ノ報告書及維府博覽會ニ依テ自

今同國ノ産業進歩ノ報告書、オーグスト、エッチ、モシレー記〕

富田淳久記

R 5 | 1

ホラーク氏養魚方〔千八百六十九年所著ニ係ル〕

緒方道平抄記

R 5 | 26

ウキツトマツリ氏漁業説

緒方道平記

R 5 | 52

(ウ) 風俗部 上下 (合本一冊)

(上) 序 (八年十月) 1 + 風俗制度ノ概要報告書 (佐野常民) 9 + 33 丁、(下) 序 1 + 53 丁

R 5 | 75

(上) 澳洪帝国民種説

平山成一郎記

R 5 | 86

澳國政体沿革説〔ダニエルレビー氏澳國記ノ摘訳〕

平山成一郎記

R 5 | 94

(下) 水渠記事

浅見忠雅記

R 5 | 121

新聞紙抜訳〔右ノ記事関連〕

東條一郎記

R 5 | 129

下澳地利州家屋建築条規〔一八六八年十二月二日施行州法〕

浅見忠雅記

R 5 | 133

(カ) 制度部 93 丁

賞牌紋章記原〔澳、フリードクツヒバイル、ホン、ローセンフヘント輯〕

東條一郎記

R 5 | 178

封建説 上下〔バロン、シーボルト輯〕

浅見忠雅記

R 5 | 186
228

(ク) 教法部 上中下

(上) 教法利害ノ沿革報告書 (佐野常民 R 6 546) 7 + 74 丁 + 正誤 3 葉、(中) 序 1 + 54 + 正誤 9

丁、(下) 序 1 + 46 丁 R 5 | 273 · R 6 | 646

(上) 独逸国開化戦クンチュル記 第一—三篇 (バロン、カーケルン輯) 東條一郎訳 R 5 | 274 | 295 | 326

(中) 独逸国政教紛諍ノ文簡 山崎直胤・東條一郎訳 R 5 | 357

澳国政府教会沿革略 東條一郎訳 R 5 | 375

(下) 耶蘇教社ゼスイトノ説 [耶蘇教社斥非説] (バロン、シーボルト述) 浅見忠雅訳 R 6 | 556

シーボルトより佐野常民への「書束」、付ベチーチアンより巴里ニアル外国伝教学校長への

信書 浅見忠雅訳 R 6 | 590

モンテスキュー氏法律精義抜訳 [第二四篇、第二五篇] R 6 | 599

「教法利害ノ沿革報告書」および (下) は国立公文書館蔵本による。

△臣謹テ按スルニ教法ハ情ニ基クモノニシテ其人心ニ入ルノ深キニ及ンテヤ能ク信者ヲシテ艱苦

ヲ歴テ屈セス 水火ヲ踏ンテ避ケサラシム 是故ニ其正理ニ合シ国俗ニ適スル者ハ能ク人心ヲ正

シク風俗ヲ厚クシ政刑ト並ヒ行レテ大ニ之カ及ハサルヲ補フニ足レリ 苟モ然ラサレハ倫理地ニ

委シ法禁行ハレス兵革相繼クノ禍アリ 其治乱ニ干渉スル実ニ宵少ナラス 是自古明主賢相毎ニ

善ク教法ヲ処スルノ道ヲ求メサルナキ所以ナリ (「教法利害ノ沿革報告書」)

△現今独逸ニ於テハ嚴法酷律ヲ設ケ四僧縛ニツキ澳地利ニ於テハ所謂教会「コンフェシヨ、子ル

レ」ノ憲法ヲ改メ敵シク教会ノ權ヲ抑ヘ今般ノ會議ノ如キ主トシテ之ヲ討論セリ 其他ノ國ニ於テモ皆政教兩際ノ難事アリテ治乱盛衰ノ機之ニ干セザルハナシ 此ニ因テ澳國教部御「ストレン、マイル」氏ノ草案ニ係ル教会法律原論ヲ根幹トナシ旁ラ技葉ヲ諾書ニ索メテ其概略ヲ輯訳ス」(「澳國政府教会沿革略」例言)

(中)「正誤」は、礼法部、博物館部、蚕業部、教育部、兵制部、博覽會部、鑛路部、教法部、貿易部、風俗部、制度部、山林部、農業部の報告書の正誤

(タ) 国勢学論 62丁

相原重政訳

R 6-1

(リ) 国勢部 上下

(上) 凡例3+56丁、(下) 序1+国勢表紀ノ施設報告書(佐野常民) 5+59丁

相原重政訳

R 6-72
138

(ロ) 工業伝播報告書

序1+工業伝播ノ報告書(明治八年十二月、佐野常民) 13丁

R 6-198

△万今我国ノ勢必スヤ政府自ラ手ヲ下スニ非スンバ工業ノ興ルヲ期スベカラズ 論者或ハ云ハン政府府庫ノ富此經費ヲ給メルニ足ラサルベシト 是或ハ然リト雖モ工業ヲ盛ンニスルハ富國ノ源ナリ 其ノ源ヲ弁テ、國ノ富強ヲ待ツモ得ベカラズ 故ニ已ムナクンバ國債ヲ増スアルノミ澳ノ國債多キハ人ノ知ル所ナリ」(工業伝播ノ報告書)

(ツ) 航海造船報告書

序1 + 航海造船報告書(明治八年十一月、佐野常民) 6 + 9 + 跋(近藤真琴) 1丁

R 6-215

古船吟味心得

松尾信太郎著 近藤真琴閱

R 6-224

△松尾信太郎造船伝習として奥国トリエストにありし時日々其教師シュンク氏と通ひ船に乗りて造船所に往来す▽ (跋)

(ネ) 奥国博覧会布告文 91丁

〔訳者不記〕

R 6-237

④ 奥国博覧会参同記要 田中芳男・平山成信編輯 明治三十年八月 東京 森山春雅発行(非売品)

活版 21 cm 肖像(大隈重信、佐野常民) 2 + 序(佐野) 7 + 凡例 3 + 目錄 7 + 上篇(事務所弁) 70 + 中篇(報告書通達) 92 + 下篇(技術伝習) 215 + 附録 72 + 図版 5葉 + 跋(田中) 10 p

R 7-15198220

△本書ハ我邦奥国博覧会へ参同セシ記事報告書進達歐洲技術ノ伝習及爾後ノ経歴等ヲ略記シ以テ現今世上ニ伝播シ一般ニ利用スル物品改良進歩ノ起源ヲ知ラシメ殖産工業ニ奮起進修セシムルヲ旨トス▽ (扉)

△奥国博覧会報告書ハ合計九十六卷 之ヲ十六部ニ分チ各部毎ニ前副総裁佐野常民君ノ意見書ヲ付シテ政府ニ進達シ又印刷ニ付シテ広ク之ヲ販売セシメタリ▽ (中篇)

(下編) 技術伝習一覽——養蚕法(佐々木長淳)、樹芸法(津田仙)、山林諸科(緒方道平)、園芸
築造(内山平右衛門・宮城忠左衛門)、活字製法・活字紙型製法・硝子製法・鉛筆製法(藤山種
広)、測量器製法・針盤製法(藤島常興)、時錶製造(田中精助)、造船術(松尾信太郎)、製糸
(圓中文助)、組織法(伊達彌助)、染法(中村喜一郎)、石腦油製法及洋蠟・「セメント」製法(伊
東信夫)、陶器・製陶・「ギプス」模型製法(納富介次郎・河原忠次郎・丹山陸郎)、製紙法(石
井範忠)、眼鏡製法(朝倉松五郎)、木器革類塗法及裝板細工(清野三治)、卷烟草製法(竹内毅)、
建築術(松尾伊兵衛)、石版・画術・地図製法(岩橋教章)、工作図学(平山英三)、蒸餅製法(山
田藤三郎)、写真術(モゾロ)

(下篇) 技術伝習経歴狀況——本邦石膏模型製法ノ濫觴(竹本要斎)、陶器画真着色發明後応用ノ
経歴(服部杏圃)、錦様磁器製造所瓢池園之沿革(河原徳立)、澳国博覧会後油漆髹ノ実況(清野
三治)、澳国博覧会後本邦卷烟草ノ原始(石川治平)、澳国博覧会後建築術ノ経歴(山添喜三郎)、
澳国博覧会後本邦統計事業ノ形況(相原重政)、澳国博覧会後服飾品等輸出ノ現況(椎野正兵衛)、
澳国博覧会絹織物ノ実見及爾後輸出品ノ現況(椎野賢三)、澳国博覧会後本邦輸出品ノ狀況(松尾
儀助)、澳国博覧会後ニ於ケル本邦ノ水産業(関沢明清)、澳国博覧会染色ノ伝習及爾後ノ経歴
(中村喜一郎)

(付録) 博覧会渡航者事務分担・派遣員職務分担・随行御雇外国人職務分担ほか、事務局編纂図

書目録附渡航者著者目録、明治六年英国經常博覧会参同ノ顛末（西山淳久）、ゴットフリイド、ワグ子ル君伝

なお、ウィーン万国博覧会の見聞記の公的なものとして、別に久米邦武編『特命全權大使米欧回覽実記』（明治十一年十月、博聞社刊行）がある。その第五編第八十二卷・八十三卷が「維納万国博覧会見聞ノ記」にあてられている。宗高書房より復刻版（一九七五―七六年）が刊行され、翻刻（田中彰校注）は岩波書店にて行われている。

メルボルン博覧会（一八七五年）

⑤ 赴豪洲咩厘呷府博覧会紀行 橋本正人録 明治九年六月 勸業寮

上下二冊 活版 23 cm 緒言（勸業寮） 1 + 64丁、（下） 127丁

△豪洲維的里亞国。ヒェグトリヤ咩厘呷府。メルボルン博覧会ノ興行アルヤ。彼政府ヨリ書ヲ寄セ。我国天造人作ノ諸物

品ヲ装載シ。其会場ノ覽観ニ充ントラ懇請シ官議シテ之ヲ許ス。是ヲ我国維的里亞国ト修交ノ始トス。是ニ於テ勸業寮七等出仕橋本正人ヲシテ事務官ニ任シ並ニ委員三名ヲ派遣シ。我明治八年六月一日ヲ以テ出発九年二月八日其事ヲ畢テ皈朝シ。其手録スル所ノ紀事二冊ヲ上ル。其一卷ハ会場ノ景況。及ヒ諸官員ニ応接スル所ノ事件ニ係リ。第二卷ハ。該国ノ「ニウサウスフェールス」ヨリ分離セシ来由。及ヒ全国物産歳出入輸出入其他諸件ヲ記載セリ（緒言）

△坂田春雄^{勲業寮九}等出仕ヲ以テ同員ニ充テ更ニ農事講究ノ為メ舟木真^{同十二}飯田孝次^{同十三}等ヲ派遣セラ
ル 復タ在京英人「ロベルトベーヂ」ナル者ヲ傭ヒ此行ノ補員トナス▽(本文)

A M

米国独立百年記念フィラデルフィア万国博覧会 (一八七六年)

⑥ 米国博覧会報告書 米国博覧会事務局編 明治九年三月(首言)

五册活版21 cm 首言5 + 費拉特費博覧会事務局準備管理ノ略説4 + 日本国工業及ヒ農業ノ略説3 +

233 p + 正誤1葉、(二) 正誤表6 + 281 p、(三) 正誤表5 + 110 p、(四) 正誤表4 + 序言・凡例4

+ 目次5 + 198 p、(五) 正誤表10 + 167 p

R 8 - 1 130 285 347 457

(一) 米国博覧会日本出品解説(ワグネル編輯 浅見忠雅訳 大森惟中校 高鋭一閱)

R 8 - 10

(二) 日本出品区分目録(緒言、委員人名表、出品職工人名表、渡航人名表、平面図3枚、日本

出品区分目録、出品原価表、出品売高一覧表、日本出品審査一覧表、賞牌受領人名表、賞

牌ノ図1枚、米国百年博覧会事務局賞牌授付ノ辞令書式)

日本出品賞牌授付ノ辞令中審査官薦告ノ評語

橋口宗儀訳

大森惟中訂

R 8 - 263

(三) 日本陶器審査報告書

鈴木省八・吉田喜聞抄訳

大森惟中校

R 8 - 289

日本陶器審査報告付論

納富介次郎述

R 8 - 313

(四) 列品部 卷一(第一類 採礦冶金術)

浅見忠雅輯述

大森惟中校

R 8 - 356

(五) 列品部 卷二(第二類 燒窯術 玻璃 煉化石)

大森惟中輯述 R 8 463

卷八(第八類 綿布麻布 第九類 毛織絹帛)

大森惟中輯述 R 8 497

卷十四(第十七類 馬車運賃車 十八類 鐵道汽車)

大森惟中輯述 R 8 537

△夫レ博覧ノ会タル知識ヲ拡メ聞見ヲ博クスルニ在リト雖トモ其要スル所ハ工業術芸ヲ改良シ天
産人造ノ品物ヲ繁殖セシムルニ外ナラス 而シテ五大州中ノ製品ヲ挙ケテ之ヲ一場ニ通觀シ互ニ
其精粗便否ヲ考較スルコトヲ得ヘシ 故ニ博覧会ノ報告ナル者ハ務メテ此意ヲ体察シ之ヲ自国ニ
開申シ以テ天産人造工業術芸ノ道ヲシテ振起隆興シ其秀美ヲ以テ文明各国ト比肩セント欲スルニ
在リ 若シ然ラスシテ徒ニ彼ノ美ニ耽リテ彼ノ巧ヲ説カハ架空憑虚其皮相ヲ觀ルニ過キス 又何
ソ实用ニ益アラシヤ(首言)

I

(四) の目次によると、列品部は卷二十まで予定されている。——卷三(三 化学上製造物)、卷
四(四 動植物ノ産品)、卷五(五 魚類ノ養方)、卷六(六 樹林ノ産物)、卷七(七 家具及
ヒ木製具)、卷九(十 衣服裝飾、十一 宝玉銀銅器等)、卷十(十二 革及ヒ革製品)、卷十一
(十三 紙文具印刷)、卷十二(十四 温煖浴饌ノ装置)、卷十三(十五 工匠利器)、卷十五(十
九 運輸ノ装置)、卷十六(二十 水学気学ノ装置)、卷十七(二十一 金木石工ノ機械)、卷十
八(二十二 裁縫機械)、卷十九(二十三 農業機器園芸)、卷二十(二十五 知学理学用ノ機
具、二十七 美術)。「但左ノ四類ハ陸軍文部工部派出ノ委員ニ譲ル」として、十六類 海陸軍

器、二十四類 医療、二十六類 建築土功、二十八類 教育 を掲ぐ

⑦ 一千八百七十六年 費府博覧会分類略表 米國博覧会事務局

一帖 銅版14cm (9折丁)

第一区 礦業及ヒ冶金術、第二区 製造物、第三区 教育及ヒ知学、第四区 美術、第五区 機械、第六区 農業、第七区 園芸

F T

パリ万国博覧会 (一八七八年)

⑧ 明治十一年 仏國博覧会出品目錄 仏國博覧会事務局蔵版 明治十三年二月印行

21 cm 90 p

R 9-12

B

⑨ 仏蘭西巴里府万国大覽覽会報告書 仏國博覧会事務局蔵版 明治十三年二月印行 (二)三月

二冊活版 20 cm 正誤1 + 復命書4 + 凡例4 + 目次4 + 第一編 (博覧会総論) 63 + 正誤2 + 第二編 (日本部) 77 + 正誤1 + 第三編 (外国部) 161 p、仏蘭西農商務省職制一班114 + 附仏蘭西農商務省定額金決算表35 p + 附図4葉

R 9-61 226

△臣正義非才ノ身ヲ以テ事務副総裁ノ任ヲ辱ナクセシハ明治十年八月二十三日ニ在リ 幾ハクモ無クシテ又派出ノ命ヲ奉シ越二十一年二月十一日属員若干名ヲ随カヘ東京ヲ発シ三月二十九日巴里府ニ著セリ 爾後事務官等ト相謀リ凡ソ博覧会ニ関スル大小ノ事務便宜処分シ我国公私出品ノ

多キコト数千個ナルモ五月一日開場ノ期ニ至リテハ業已ニ整頓スルヲ得タリ 本会ハ十一月十日ヲ以テ閉ツ日ヲ積ムコト一百九十其間毫モ声価ヲ損セス終始賞讃ヲ得タリシハ豈ニ邦家ノ慶事ト言ハサル可ケンヤ 抑モ我国維新以降万国博覧会ニ参預セシコト前後既ニ三回ナリ(復命書)

シドニー万国博覧会(一八七九年)

B

⑩ 豪洲悉德尼^{シドニー}府万国博覧会報告書 坂田春雄著 明治十四年八月序

二冊活版 20 cm 復命書 3 + 凡例 3 + 目次 3 + 84 p、(下) 174 p

R 9 321

△不肖春雄豪洲悉德尼万国博覧会事務官ノ命ヲ辱フシ越ニ明治十二年五月二十五日随行村上要信渡辺洵一郎等ト共ニ出品人ヲ引キテ横浜ヲ発シ路ヲ印度洋ニ取り錫蘭ヨリ南折シテ豪洲ノ西南ヲ突シ其南海ヲ繞リ七月十七日ヲ以テ悉德ニ達セリ 出品ハ前ニ新嘉坡ヨリ直ニ「トーレス」峽ヲ経テ会場ニ搬致シタリ……今爰ニ本会顛末ヲ挙ケテ報告書ヲ製シ以テ復命ス 此書ヤ分テ上下ニ款トナス 上款ハ博覧会ノ結構我事務処理ノ始末内外出品ノ評論等ヲ約記シ下款ハ豪洲各国風土物産ノ概況ヲ抄録セリ 別ニ出品人代浅見忠雅氏ノ筆記ヲ以テ予ニ付スルモノアリ 博覧会事務総裁松方正義殿(復命書)

A

メルボルン万国博覧会(一八八〇年)

⑪ メルボルン万国博覧会報告 河瀬秀治著 明治十五年九月序

活版20cm 目的1十緒言3十100p 折込2葉

R 9 | 463

A

ニュールンベルグ金工万国博覧会（一八八五年）

⑫ 金工万国博覧会報告 山本五郎著 明治二十年十二月叙

活版21cm 叙2十会場図1葉十注意1十199p

R 10 | 1

〔独逸国聯邦「バイエルン」国「ニュールンベルグ」府ニ於テ明治十八年即チ西曆一千八百八十五年六月十五日ヨリ九月三十日迄開設スル金工万国博覧会ハ「バイエルン」工業博物館ノ企画ニ出デ国王「ルドウィック」二世陛下ノ保護ニ成リシモノナリ 其出品ハ金銀細工、飾品、銅製美術品、銅七宝、青銅製黄銅製ノ美術品、青銅器ニ摸シタル錫製亜鉛製ノ美術品、電鍍美術品及ヒ此等物品製造用ノ材料器具機械等ニシテ其目的ハ現今各国ニ於ケル金属製品及ヒ合金製品等ノ情況ヲ表明シ其製造ノ工技芸術ノ進歩ニ注意シ出品者ヲシテ販売ノ区域ヲ拡張セシメ且最新ノ機械器具材料等ヲ顕呈シテ競走ノ念ヲ奮起セシムルニ在リ〕（本文）
〔本報通計二十回第一回ヨリ第十三回迄ハ余ガ欧土ヨリ郵寄セシ所ニシテ第十四回以下ハ帰朝ノ後続編セシ所ナリ〕（注意）

A

バルセロナ万国博覧会（一八八七年）

- ⑬ 西国バルスローヌ府万国博覧会報告書 大塚琢造著 明治二十四年一月序

活版22 cm 正誤表4 + 緒言（農商務省総務局第四課）3 + 目次4 + 起立工商会社長山崎楽復命書
9 + 大塚琢造復命書2 + 報告170 p

△西曆一千八百八十七年我明治二十年九月ニ起リ翌年二月或ハ六閱月若クハ八閱月間西班牙国バルスローヌ府ニ於テ万国博覧会開設ノ挙アリ……先其規則ヲ査閲スルニ出品ノ部門ヲ別チテ十トス 曰ク工業曰ク商業曰ク教育曰ク技術曰ク航海曰ク捕魚曰ク養漁曰ク美術曰ク電気曰ク「バル子ヲロジ」則チ是ナリ▽（緒言）

革命百年記念パリ万国博覧会（一八八九年）

- ⑭ 仏国百年祭万国大博覧会之記 宇賀壽訳・発行 明治二十三年四月出版

活版18 cm 自序2 + 47 + あとがき2 p

△此原稿ハ仏人加児段氏カエルダンのものせられて仏国公衆に報導せられし日記にて▽（あとがき）

- ⑮ 仏国巴里万国大博覧会報告 柳谷謙太郎著 明治二十三年九月序

活版22 cm 正誤表4 + 復命書1 + 目次2 + 凡例1 + 245 p + 会場図6枚

社会ノ進化ハ未タ曾テ其歩ヲ止メスシテ吾人々類ハ日夜新陳相代リ其精力既ニ尽キタルモノハ
 去リテ其神氣壯ナル者新ニ来ル學術即チ当世紀ノ無上ノ権力者タル學術ハ其戦征ノ行路ヲ止メス
 シテ日々ニ自然界ノ秘密ヲ侵略シ蒸氣ト電氣トハ全世界ニ於テ經濟ノ秩序ヲ革新シタリ而シテ自
 今此二者カ更ニ吾人ト吾人ノ子孫トニ如何ナル變化ヲ示シ如何ナル驚駭ヲ生セシムルヤハ人固ヨ
 リ予メ測知スヘキニアラス（本文「博覽会総裁チラール氏ノ演説」）

コロンブス米大陸発見四百年記念シカゴ万国博覽会（一八九三年）

⑩ 閣龍世界博覽会記事 閣龍博覽会記事協会刊行 鈴木峯吉編輯 東京 木原寅吉発行

- 第一号 明治二十四年十月二十八日 62 p
- 第二号 明治二十四年十一月二十八日 54 p (51 52 P 欠)
- 第三号 明治二十四年十二月二十九日 50 p
- 第四号 明治二十五年一月三十日 58 p
- 第五号 明治二十五年二月二十九日 68 p
- 第六号 明治二十五年三月二十九日 52 p
- 第七号 明治二十五年四月二十九日 54 p + 口絵 2 枚
- 第八号 明治二十五年六月三十日 46 p + 口絵 1 枚

第十号 明治二十五年九月四日 52 p

发起人(イロハ順) 飯田新七、岩崎清次郎、浜田篤三郎、丹羽圭介、西村捨三、大倉喜八郎、綿野吉三、瀧藤万治郎、益田孝、阿部孝助、斎藤宇兵衛、森村市太郎、森下森八、森山芳平
賛成員——陸奥宗光、柳谷謙太郎、九鬼隆一、山高信離、斎藤修一郎、手嶋精一、蘆原清風、原敬、大谷嘉兵衛、箕田長二郎、椎野正兵衛、河瀬秀治

△一閣龍世界博覧会記事は明治二十六年五月一日より同十年三十日迄米国シカゴ府へ開設の閣龍博覧会へ我国出品の便を謀て物産の興起、貿易の繁盛に補益する所あらんこと期し内命評議員中其他の有志力を合せ公正の趣意を以て毎月発行の後も他日積んで其顛末録に換ふるを目的とす

一閣龍世界博覧会記事は博覧会地なるシカゴ府を始め米国諸州海外各国の閣龍世界博覧会に関する新聞雑誌の記事を訳出し并に内外の公報、諸説、問答、要件或は販売出品の通信其他主要の事項を網羅して記載するものなれば冀くば意見を投じ報告を与へ又は疑問を発せられんことを只管希望に堪へず(緒言)

⑰ 「コロンブス」世界博覧会出品者心得 臨事博覧会事務局編 明治二十五年三月出版

活版 23 cm 序 1 + 目次 2 + 62 p

⑱ 北米シカゴ府万国大博覧会記 田島常太郎発行 明治二十六年二月出版(非売品)

活版 18 cm 18 p (本文末尾に「閣龍世界博覧会記事抜萃」とあり)

△大博覧会事務ヲ左ノ十五部ニ區別ス (一) 農業、食物、食用生産品、耕作器具及ヒ応用品

(二) 園芸菓物培養 (三) 家畜及ヒ野獸 (四) 魚類、漁業、魚類生産物并ニ漁具 (五) 礦物、

礦業、冶金 (六) 器械 (七) 運送物 (鑛道、船舶、車) (八) 製造物 (九) 電気並ニ電気応

用品 (十) 美術 (絵画、模型及ヒ裝飾) (十一) 心芸、教育、工学、土木、建築、音楽、及ヒ

戯曲 (十二) 人種学、古生物学、労働並ニ発見ノ進歩 (十三) 山林並ニ山林生産物 (十四) 広

告並ニ奨励 (十五) 外国事務 (本文)

⑱

閣龍世界
博覧会

美術品画譜 久保田米僊著画 東京 大倉保五郎 (大倉書店) 発行

第一集 序1 + 絵15 + 博覧会開設の趣旨1 + 跋1丁 (明治二十六年十月発行)

第二集 画15丁 (明治二十六年十一月発行)

第三集 画15丁 (明治二十七年一月発行)

第四集 画15丁 (明治二十七年七月発行)

⑳

臨時博覧会事務局報告 臨時博覧会事務局編 明治二十七年一月、(三) 六月 (附) 二十八年五月

四冊活版23 cm (第一回) 緒言8 + 50 p、(第二回) 54 p [九月以前の報告]、(第三回) 30 p [会

場中の概況]、(附属図) 117枚 [17 × 26 cm]

△今茲ニ我政府カ明治二十六年 (千八百九十三年) 北米合衆国シカゴ市ニ於テ開設セラルヘキ

「コロンプス」世界博覧会ニ参同セルニ就キテハ事務ノ梗概ヲ略叙スルニ際シ別ニ一ニ記述シ置

R 11
431
462
491
509

R 11
411

R 11
391

R 11
371

R 11
348

A

A

カサルヘカラサルノ要アリ 而シテ本報ハ該博覧会当日前即チ明治二十六年四月三十日ヲ限り以テ第一回報告トシ五月一日以降ハ漸次報告ヲ発セントス 蓋シ閉会前ノ事務ハ多ク諸般ノ計画ニ属シ開会以後ハ事渾テ實際ノ施設ニ係ル 是レ報告ヲ開会前後ニ區別セル所以ナリ▽(緒言)

②1 臨時博覧会事務局報告 臨時博覧会事務局編 明治二十八年五月発行

活版23 cm 目次14 + 832 p

内容——総提、組織、出品経過、会場、各館出品、審査、儀式、會計、附録

R 12
1

A

②2 閣龍世界博覧会本県出品ニ関スル報告 山形県庁(丸山孝一郎)著

活版18 cm 序1 + 出品物・褒賞・博覧会概評30 p

△本編ハ明治二十六年中北亞米利加合衆国イリノイ州シカゴ府ニ於テ開設セル閣龍世界博覧会ヘ出品シタル本県出品物ニ関スル事項ノ要領并ニ該博覧会実況調査ノ囑托ヲ受ケ渡航シタル丸山孝一郎ノ復命書ヲ記載セルモノニシテ今之ヲ印刷ニ付シ以テ本県出品物ニ関スル概況ヲ報告シ併セテ当業上ノ参照ニ資セントス▽(序)

A

R 12
438

山形県出品物——米、薄荷腦、薄荷油、生糸、羽二重、絹織物

Ⅱ 農業編

農業一般

【明治3年】

②③ 泰西農学 英フレツチエル著 緒方儀一訳 柳河春蔭閱 市川清流校 (二月) 大学南校刊

七冊木版 23 cm 初篇基礎理論(上) 序4 + 凡例3 + 緒言3 + 目次3 + 25丁、(下) 25丁、二篇

肥料論(上) 目次6 + 39丁、(下) 69丁、三篇畜産論(上) 目次4 + 42丁、(下) 32 + 附言3 + 跋

(源夢永) 3丁、附録農具論蔬菜論(上) 目次3 + 举例1 + 37丁 [附録下卷欠] R 13 - 1 43 71 119 191 240 281

△原本ハ英国ノ農用雜質化学家「ゾーマス、シ、フレツチエル」氏カ著ス所ニシテ今訳スル所ノ者ハ彼邦紀元千八百六十七年ノ刊行ニ係ル▽(凡例)

△蓋シ食貨ノ先ニセザル可カラザルヲ思ヘハナリ 而レトモ只是此等ノ書豈国家ノ急務ニ充ルト謂ハンヤ▽(緒言)

附録にロウトン、スチーブンス、チャンブル、エツプレヘムの『博学字彙』等より図を掲ぐ。

【明治6年】

- ②4 生産初歩 米ゼンス著 山崎為徳・松村元児・市原武正訳 (夏) 熊本 白川県洋学校蔵版 東京

岡田屋嘉七官許

木版 23 cm 自序(ゼンス) 2 + 29丁

△余此書ヲ著スハ肥後人民耕作ノ進歩ニ良全ノ教導ヲ示シ傍ラ国人許多ノ疑問ニ答フルニアリ
 ……此書ハ予カ職務ノ余暇ヲ以テ著ス所ニシテ以テ熊本学校演習ノ一課ニ施シ初年生徒ニ命シ訳
 述セシメ以テ国人ニ播告スト云▽ (自序)

【明治7年】

- ②5 農業提要 初編 独レーベ著 杉山親・吉見義次訳 (三月) 静岡 晚翠閣発兌

二冊木版 23 cm (上) 序(大沼枕山) 2 + 緒言 1 + 目錄 1 + 31丁、(下) 目錄 1 + 30 + 後序(柏
 原学而) 1丁

R 13
360
399

△戊辰の年、余駿河に遷りし以来、専ら心を農学に潜め、牧牛、牧羊、養蚕、養蜂等の書数卷を
 訳述せり、然れども、所謂^フ学^ヲ泳^ク於^ニ陸^地者^ノの流にして、未だ之を实地に施す事態はず、後居を
 郊外に移すに及んで、後圃頗る広濶なれば、独逸国の学士レーベ氏の農学全書に就き、五穀、菜
 蔬を培養せんと欲し、且読み且耕し、序を追て、是を試験せしに、一として妙ならざるはなし、
 皆老農の未だ曾て知らざる所なり▽ (緒言、杉山)

R 13
325

②6 農学新論 初輯 仏ヨング著 菊野七郎訳 横山精編 (五月) 鼓缶社蔵版 東京 和泉屋壯造

発行

二冊活版 23 cm (一) 序3 + 緒言2 + 総目録1 + 目次2 + 28丁、(二) 36丁

R 13
434
474

△法国「ヨング」氏ノ編撰スル農学論ヲ得タリ 因テ之ヲ熟読スルニ其文簡ニシテ明其事新ニテ
精能ク農業ノ要領ヲ尽ス 宿心之カ為メニ感動シテ止ス 曾横山氏余ヲ訪フテ其翻訳を慫慂ス▽
(緒言)

E F

全九編 (一) 土性土質論、二 培養肥養論、三 開墾耕業論、四 種芸育養論、五 護成長養論、六 穡收貯
蔵論、七 家獸牧畜論、八 農政經濟論、九 農業沿革論) のうち、卷一に第一・二編、卷二に第三編
収録。内務省『図書課書目』(十九年九月) には卷一、卷二のみ記載。

②7 農業三事 津田仙撰 (五月) 大阪 前川善兵衛・東京 青山清吉発兌

二冊木版 23 cm (上) 叙(中村正直) 3 + 上書3 + 例言1 + 23丁、(下) 22丁

R 14
1
34

△本年第一月。仙辱ク澳国維納府。博覧会差遣セラレ。彼国ニ於テ。万国審査官ノ列ニ挙ラレ。
其際澳国。有名ノ農学師。荷衣伯連氏ヘイイブルンクニ親炙シ。同氏近時。発明ノ三大法。仙幸ニ、其大略ヲ領
スルノ機会ヲ得タリ▽ (上書)

△是書ハ。仙澳邦ニ在テ晨夕荷氏ニ親炙シ。口授ヲ受ケ且ツ自ラ試験セシ条件ヲ筆録シ。傍ラ和
蘭ノ宰相ロシウサン氏ノ。同ク荷氏ニ得タル者ヲ著述セシ書。及荷氏自著ノ書等ニ参シテ述ル者

ナリ(例言)

欧文タイトル Daniel Hooibrenk's Method of Cultivation, explained by three different processes. 奥付に『農業三事附録』(一冊) 近刻とあり。

C

⑳ 土着提要 近藤圭造・神田豊訳 (十月序) 東京 博聞本社発行

二冊木版 23 cm (一) 埼玉県章印1枚+題字1+序2+目次3+50丁、(二) 45丁

R 14-60 121

目次には全四冊、第一卷(総論之部畜産之部)、第二卷(植物之部)、第三卷(礦物之部)、第四卷(葡萄酒製造方)とあり。

C F G

【明治8年】

㉑ 商家必携 米ブララン著 久保扶桑訳 菅原龍吉校 (三月) 東京 和泉屋金右衛門

二冊木版 23 cm (上) 序(前島密) 3+緒言1+目録7+22丁、(下) 34丁

R 14-169 206

△原本は洋暦一千八百七十一年アメリカ出版マニユールラフ、コンメルスと題する書にて同国ブララン氏の著述なり▽ (緒言)

A C O ◎

目録には全二十一編巻十まで掲載。第一編(運送鉄道郵便伝信機等について)、第二編(穀物果実等)、第三編(肉牛酪魚類等)、第四編(塩砂糖胡椒丁子等)、等五編(茶珈琲酒等)、以下、皮、絹、陶器、木材、金銀、石炭、紙、火薬、油、時計、煙草等について。上は第一編、下は第二編収載。

③〇 学業捷徑 初編 仏ベレエズ著 田中芳男・成島謙吉訳 (三月) 田中氏蔵版 東京 雁金屋清

吉発兌

二冊木版 23 cm (上) 緒言2十目次3十43丁、(下) 45丁

R 14
243
299

〔此書ハ法国巴里府ノ学士ベレエズ氏ノ著ス所ナリ 此人曾テ学校ニアリシ時中小学校ノ生徒既ニ卒業ニ至リテ尚學術ノ基原、創製、發明及ヒ農工商業ノ事ニ暗クシテ麵包、葡萄酒、砂糖、油、塩、石鹼、革、布、陶磁、玻璃ソノ外今日人世ニ必需ナル諸物ノ如キモ如何シテ製造スルヤヲ知ラザルコトヲ歎シ、此ニ於テ簡易ナル書ヲ編選シ……全編ヲ分チテ五部トス 即チ 第一部 農業農法農産 第二部工業工法工産 第三部創製發明 第四部学芸美術 第五部救恤場 今農業ノ部ヨリ五十章ニ至ルヲ以テ初編トシ 工業ノ部ヨリ第一章ニ至ルヲ以テ二編トシ 其以下ヲ以テ三編トス 此書ハ紀元一千八百五十四年ノ選ニシテ〕(緒言)

③① 独逸農事図解 蘭カステール訳 平野栄・鳴門義民校閲 (九月序) 内務省蔵版 東京 穴山篤太郎

発売

31枚 銅版 54×71 cm

R 14
348

一果樹栽培法 (R 14 | 348、以下齣ナンバーのみ記載)、二葡萄栽培法 (355)、三葡萄管理法 (362)、四糞培法 (369)、五退水法 (376)、六牧場灌水法 (383)、七蜜蜂養法 (390)、八蔬菜類耕種法 (397)、九葎草培養法 (404)、一〇養蚕法 (411)、一一魚類蕃殖法 (418)、一二樹林栽植法 (425)、一三林木

伐採法 (432)、一四田圃耕作法 (439)、一五牧牛法 (446)、一六牧牛利用説 (453)、一七果樹施工法 (460)、一八煙草種芸法 (467)、一九亜麻種収法 (474)、二〇甜菜培養法 (481)、二一阿利襪栽培法 (488)、二二庖厨料理法 (495)、二三牧馬法 (上) (502)、二四同 (下) (509)、二五養豚法 (516)、二六家禽養法 (上) (523)、二七同 (下) (530)、二八牧羊法 (537)、二九耕作林木利害諸鳥説 (上) (544)、三〇同 (下) (551)、附録接木法並器具 (558)

△此図解の原版ハ田中芳男が嚮に澳國博覧會より齎らし歸りて我勸業寮に納めたるものにして蓋獨國農業の要大抵載て漏すことなく其説明確用意周密殊に画図の精巧完備なるに至てハ大に看者の想像を切実ならしむ故に各般の事業も容易くこれを實地に施すことを得べし……官因て急に刊布を謀り蘭人ファンカステールをしてこれを訳せしむ (序)

C F Q

③2

氏斯 農業問答 英ステフェン著 後藤達三訳 田中芳男考閱 平野栄校 (十一月序) 勸業寮蔵版

東京 北畠茂兵衛発兌

三冊木版 23 cm (一) 序 (岩山敬義) 3 + 原序 3 + 凡例 2 + 目錄 4 + 39 丁、(二) 春季の部 夏季の部 48 丁、(三) 秋季の部 42 丁

R 15-1 56 107

△此原書ハ「カテチスム、オフ、プラクチカール、アグリカルチュール」実地農業問答と題して西曆紀元

千八百七十年 我明治三年 英国の依陣堡及倫敦の兩府に於て刊行せし賢理斯的墳ヘネリスステフェンという農学者の著述せ

る小農書なり 此書英国農事の実況要領を簡易に説述し我國の民間に裨益あるをもて今次本寮に

於て刊行の挙あり▽（凡例）

③③ 農学簡明 英ジョンソン著 志賀雷山訳・蔵版（前編十二月版權免許、後編十二年五月、附録七月）後編・附録 朽木 篠崎儀一郎（金泉堂）出版 東京 山中市兵衛発兌

五冊木版 22 cm 前編（乾）序（志賀天民） 2 + 自叙 2 + 凡例 2 + 目次 4 + 35丁、（坤） 35丁、

後編（上）序（広田恒） 2 + 目次 1 + 42丁、（下）目次 1 + 42丁、附録 目次 3 + 34丁

R 15
152
201
239
288
334

C F G Q

△原書ハ英国ノ「ジェームス。ジョンソン」名ナル者彼ノ紀元一千八百六十六年ニ於テ著ス所ニシテ、同国大学校ノ農業舎密上ノ学師「カーガスタス。ブルクル氏之ヲ閲シ以テ校正スル所ノ者ナリ 書名ヲ「カテチスム。ヲブ。アグリコルチュラル。ケミストリー。エンド。ジラロジ」ト曰フ、其書中生徒問ヲ設ル四百二十一題ニシテ教師之ニ対フルニ農家舎密ノ法及ヒ土質ノ論ヲ以テシ、専ラ方今耕作ノ方法ヲ主張シ、旁ラ牧畜ノ法ヲ記載ス▽（凡例）

A I

③④ 斯氏農書 英ステフェン著（卷一～四九）岡田好樹訳 長川新吾校（卷五〇～六四）明石春作訳

岡田好樹閱 長川新吾校（十二月序）卷一～二四内務省勸業寮蔵版、卷二五～四五内務省蔵版、卷四六～四九内務省勸農局蔵版、卷五〇～五三（十五年刊行）農商務省蔵版、卷五四～六四（十六年刊行）農商務省蔵版 東京 山中市兵衛・北島茂兵衛発兌、後篇卷四六より 穴山篤太郎発兌に加わる

R 16
16
22

- 六四冊木版 26 cm (一) 勸業局印1+序(大久保利通) 3+原序(一八七二年一月) 5+凡例2
 +目次3+38丁(齣ナンバーR 16-1、以下同)、(二) 51丁(57)、(三) 50丁(111)、(四) 50丁
 (164)、(五) 56丁(218)、(六) 53丁(277)、(七) 70丁(333)、(八) 53丁(406)、(九) 47丁(463)、
 (一〇) 50丁(513)、(一一) 51丁(R 17-1)、(一二) 53丁(56)、(一三) 51丁(113)、(一四) 48
 丁(167)、(一五) 47丁(218)、(一六) 43丁(268)、(一七) 49丁(314)、(一八) 57丁(366)、(一九)
 61丁(427)、(二〇) 47丁(R 18-1)、(二一) 45丁(52)、(二二) 59丁(100)、(二三) 54丁(162)、
 (二四) 46丁(219)、(二五) 57丁(268)、(二六) 50丁(329)、(二七) 52丁(382)、(二八) 51丁
 (437)、(二九) 43丁(R 19-1)、(三〇) 47丁(48)、(三一) 53丁(98)、(三二) 40丁(154)、
 (三三) 後篇目次6+47丁(197)、(三四) 53丁(253)、(三五) 49丁(309)、(三六) 42丁(360)、
 (三七) 42丁+表1枚(405)、(三八) 49丁(457)、(三九) 62丁(503)、(四〇) 52丁(R 20-1)、
 (四一) 48丁(57)、(四二) 51丁(108)、(四三) 47丁(162)、(四四) 48丁(213)、(四五) 41丁
 (264)、(四六) 47丁(308)、(四七) 47丁(359)、(四八) 42丁(409)、(四九) 61丁(454)、(五〇)
 65丁(R 21-1)、(五一) 67丁(70)、(五二) 71丁(140)、(五三) 65丁(214)、(五四) 71丁(282)、
 (五五) 68丁(357)、(五六) 50丁(428)、(五七) 63丁(R 22-1)、(五八) 63丁(67)、(五九)
 (56丁(134)、(六〇) 54丁(193)、(六一) 42+函版5丁(250)、(六二) 50丁(302)、(六三) 55丁
 (355)、(六四) 65丁(413)

緒言(卷一)、実務・冬ノ部(卷一〜二二)、春ノ部(卷二三〜三二)、夏ノ部(卷三三〜四八)、秋ノ部(卷四八〜五三)、起業ノ部(卷五四〜六四)

勸業寮(七年一月、大蔵省より内務省に移管)、勸農局(十年一月設置、十四年四月農商務省へ移管) Henry Stephan, Book of form. 1871.

【明治9年】

③⑤ 農業会講義 (『農業会記』第一冊所収) 米ウキード稿 田代俊二編輯 (四月) 京都府牧畜場蔵版

木版22cm 緒言(田代俊二) 6+農業会記(安田源右衛門) 3+農業会講義16+合衆国農業会社規則4丁

△明治八年十一月二十二日。京都府管内山城国紀伊郡第一区上鳥羽村小学校ニ於テ。穀菜品評農業会ヲ開設セリ……勸業分局牧畜場ニハ。数年前ヨリ。米国人ウキートヲ雇ヒアリ。農牧学事ヲ講習ス。本日教師該会ニ蒞ミ。当時皇国農事ノ急務。及ヒ米国農業会社ノ概略ヲ講述ス。後文ハ其ノ講録原稿ヲ訳述シタルナリ。余モ亦タ小麦種培ノ事ヲ講セリ√(緒言)

③⑥ 百科全書 総目録を『果園篇』所載総目録にて示す(「」内は『菜園篇』による)

星学〔天文学〕、地質学、氣中現象学、理科地理学〔地文学〕、植物生理学、植物綱目、動物及人身生理、動物綱目、物理学、重学及器械、静学水学及氣学、光学及音楽、電氣及磁石、時学附時計〔時学及時刻学〕、化学、百工応用化学、織工、礦物学、陶磁製造、金属篇附冶金術〔金類及

冶金術)、蒸氣機編〔蒸氣学)、土工術、陸運、水運、建築学、暖室附通風透光〔温室通風点光)、給水篇附浴治水方〔給水浴澡掘渠)、農学、菜園、花園、果園、養樹、馬、家畜篇附乳牛採法〔牛及採乳方)、羊山羊及白露羊、豚兔食用鳥籠鳥、蜜蜂、犬及狩獵、釣魚、魚獵、養生、食物、食物製法、医学、衣服及服式、人種說、言語、交際及政体、法律沿革事体、太古史、希臘史、羅馬史、中古史、英国史、英国制度国資、海陸軍制、歐羅巴地誌、英倫及威勒斯地誌、蘇格蘭地誌、愛倫地誌、亜細亞及東印度地誌、亜非利加及大洋群島地誌、北亞米利加地誌、南亞米利及西印度地誌、人心論、骨相說、明理学、造化妙用及人道学、西洋教典緣起附基督教說〔經典史及基督教)、洋学宗派、回教及印度教仏教、蘇干地那威神学、歲時記、修身論、接物論、經濟論、貿易及貨幣銀行、戸籍篇附救貧法〔人口窮救及保險)、百工儉約訓、国民統計学、教導說〔教育論)、英吉利文法、算術及代数学、幾何学、画学及彫像、体操及戸外嬉戲方、戸内遊戯方、古物学、修辞学、印刷及石板術、彫刻及捉影術、家事儉約訓、計九十二

『文部省出版書目』によると、明治六年七月に『百工化学編』(工業編所収)が最初に出版され、『果園篇』『養樹篇』が九年十月、『菜園篇』が十一年一月、『農学』が十四年三月に刊行とある。

William Chambers, Robert Chambers, Informaton for the people. 1833. 翻訳底本は第五版か。福謙達夫『明治初期百科全書の研究』参照。

(イ) **百科全書 農学** (アグリカルチュール。カルチュール、オフ、ウォスト、ランド。スペード、ハズバ

ンドリー) 松浦謙吉訳 木村一步訂 明治十六年七月 文部省印行

活版 18 cm 目録 3 + 有屋農場平方図 1 + 250 + 正誤 1 p、図 1 枚

R 23-33

(四) 菜園篇 (ゼ、キッチン、ガーデン) 木村一步訳 榊原芳野校 「明治十一年一月二十日文部省交付」印

I

活版 18 cm 目録 2 + 153 + 正誤 2 + 百科全書総目録 4 p

R 23-165

(ハ) 果園篇 (ゼ、フリット、ガーデン) 柴田桂承訳 平田宗敬校 榊原芳野重校 「明治九年十月十八日交付」印

I

活版 18 cm 目録 1 + 140 + 正誤 2 + 百科全書篇名 3 p

R 23-249

(ニ) 養樹篇 (アルポリカルチュール) 坪井為春訳 久保吉人校 「明治九年十月十八日交付」印

I

活版 18 cm 目録 2 + 86 + 百科全書篇名 3 p

R 23-325

【明治十一年】

③⑦ 英国農業編 英ウキルソン著 岡田好樹訳 長川新吾校 (三月) 勸農局蔵版 東京 穴山篤太郎

発売

三冊木版 23 cm (一) 勸農局印 1 + 序 (松方正義) 3 + 例言 2 + 目次 5 + 66 丁 + 挿画 2 枚、

(二) 71 丁、(三) 42 丁

R 24-184-158

△原書ハ「ブリチシ、ファーマーミン」ト題シ蘇格蘭ベルウキッキ シャイルノ農学家ジョン、ウキ

ルソン氏ノ原撰ニシテ彼紀一千八百六十二年ノ刊行ニ係リ最モ民用ニ切ナリ 同氏ハ固ヨリ此学ニ該博ナルノミナラス一々之ヲ実試セル人ニテ學術兼備ト云ヘシ 近來訂正ノ英国百智全書中ニ載スル農業、乳酸、利水三篇ノ如キハ則チ同氏ノ著撰スル所ナリ▽△原書中本邦ノ農事ニ適切ナラサルモノハ之ヲ節略シテ訳セズ 但シ勸農局農学教師英人デヨン、カスタンズ氏ノ取捨スル所ニ係ル▽(例言)

目次によれば、全十五編附録一(十二冊)。卷一(第一編農業機械及機具ヲ論ス)、二(一、二土地耕耨ノ準備ヲ論ス)、三(三耕作事務ヲ論ス、四耕種交代ノ法ヲ論ス)、四(五肥料ヲ論ス)、五(六、七、八、九耕種物ヲ論ス)、十(十家畜ヲ論ス)、九(十一、十二、十三、十四家畜ヲ論ス)、十一(十五荒地開拓法ヲ論ス)、附録(農場ノ資本、農者ノ教育)

③⑧ 西洋農家訓 仏バロー及ヒューセ著 神田豊訳述 (五月) 静岡 大森弘三郎藏版

二冊木版 25 cm (上) 序(霞巖) 2十凡例2十目錄2十13丁、(下) 27丁

△此書ハ仏郎西人バロー及ヒューセ兩氏ノ合著ナリ バロー氏農学ニ志アリ 之ヲ研究スルコト既ニ久シ 抑モ農学ハ彼ノ千八百五十年ノ頃始テ一枝ノ学科ニ分カレ専ラ村落ニ施スコトヲ得タリ 夫レ文運ノ開ルヤ彼千八百七十年ヲ以テ漸々盛ンニシテ更ニ教部省ノ命ヲ奉シ教授ノ方法ヲ設立シ之ヲ導クコト又他ノ學問ニ異ナラズ 當時ウーセ氏ハバロー氏ニ敬從シ須臾モ忽ニス可ラザルノ学タルヲ知り其日夜研究スル処ニ依リ此一巻著述ノ挙アレバ世間其発兌ヲ待テ其門ニ入ル

モノハ必ラス此書ヲ携ヘザルハナシ▽（凡例）

【明治14年】

③⑨ 農業新書 米ジッケルマン及アーレンス著 津田仙訳述 十文字信介編纂（一月、（三）四六月）

東京 学農社蔵版

五冊活版 19 cm（一）自序4＋凡例2＋目錄6＋35 p「耕地之部」、（二）38 p「埋渠之部」、

（三）42 p「糞培之部」、（四上）42 p「農具之部」、（四下）48 p「農具之部」 R 25-1 29 53 78 102

△是ノ書ハ米国ジッケルマン氏所著「ハームルス、ブック」及び米国アーレンス氏所著「ニーハーム、ブック」等の農書を原として之を訳述したりと雖も間々類に触れて此他の欧米農書中よりも抄出し又親自ら実験せし説をも加へ本邦農家に適當すべき者を選び農家の子弟をして早く農業改良の捷路に即き以て其方法に従事するの便を得せしめん事を主とす▽（凡例）

△是ノ書分て三編とし其第一編にハ専ら耕地、肥料、農具等を論し其第二編にハ穀菜の耕作、菓実の栽培、及び六畜の飼育を説き其第三編にハ農場の設立、農家の経済、及び食料の製法等総て民家に必要なる事を記す▽（凡例）

『農業三事』の広告に「農業新書 十二部 近刻」とあり

【明治15年】

④⑩ 乙独 農務觀察記 松原新之助著 黒田直夫校（一月）農商務省農務局刊行

II 農業編

活版 21 cm 復命書 2 + 目次 6 + 上 53 + 中 42 + 中附録 45 + 下 78 p 表 4 枚

R 25—130
163
192
215

△新之助曩ニ独国伯林府万国漁業博覧会理事官トシテ該地出張ノ命アルヤ松方勸業局長特ニ命スルニ該国ノ水産及農学等ノ現況ヲ視察スヘキノ旨ヲ以テス……觀察記分テ三篇トナシ上編ハ水産中篇ハ農学下篇ハ農務省処務トス……農商務卿河野敏鎌殿▽(復命書)

B

④1

摘 哥氏田圃虫書 英コルチス著 鳴門義民訳 衣笠豪谷校訂 (十二月) 農商務省農務局蔵版 東

京 穴山篤太郎(有隣堂) 発兌

活版 22 cm 引 3 + 表目 3 + 132 + 正誤 1 p 彩色挿画 15 枚〔26 p 110 p が挿図と癒着〕

R 25—259

△此書ハ英人戒哥爾質ジョンコルチス氏著セル虫書ノ摘訳ニシテ凡虫多ノ变化部類ノ區別穀蔬被害ノ景況駆除予防ノ方法等各図表ニ就テ解説ヲ加ヘタルモノナリ▽(引)

A

【明治17年】

④2

農理学初歩 米ラットン著 久原躬弦訳 宮崎蘇菴校 (一月) 文部省編輯局蔵版

活版 20 cm 例言 2 + 原序 4 + 目次 2 + 232 + 正誤表 2 p

R 25—346

△原書ハ題シテ「ゼ、エレメンタリー、プリンシプル、オフ、サイエンチフィック、アグリカルチュル」(The Elementary Principles of Scientific Agriculture) ト云ヒ、米國テン子ッシイ州ナスヴィル府「ヴァンデルビルト」大学校教授エヌ、テイ、ラットン(N. T. Lupton) 氏ノ著述ニシテ、一千八百八十年ノ発行ニ係ル、而シテ此編ノ主旨ハ専ラ化学上ノ理ニ由リテ農学ノ一

斑ヲ簡短ニ説明シ、以テ初学ノ輩ヲシテ其理ヲ曉リ易カラシムルニ在リ、故ニ之ヲ訳シテ農理学
初歩ト名ク▽（例言）

④③ 農学 チャンバー著 玉利喜造訳（十月）東京 丸家善七出版

活版 26 cm 例言1十目錄2十74 p

△此書ハ英国人チャンバー氏著ニ係ル一千八百八十一年第五版百^{インホルマイシヨ、ホルルゼ、ビーブル}科 全 書中ノ一部ニ
属ス今殊ニ之ヲ分テ分冊ト為スハ此科専門家ノ采覧ニ供ス▽（例言）

④④ 通俗農家必携 独シュリップ著 関澄蔵著 安威信閔（十二月、一）十八年五月、（三）十一月、（四）十

九年四月）農商務省庶務局蔵版 東京 穴山篤太郎（有隣堂）発兌

十二卷四冊 活版 21 cm 題字（西郷従道）5十序（品川彌二郎）4十叙（宮島信吉）4十凡例

2十目次42十（一）158 190 181 p、（二）180 186 178 p、（三）173 157 185 p、（四）186 174 163十物質一覽表36十

跋（平田東助）2 p十正誤表1枚

R 26-1 111 206 · R 27-1 93 186 277 366 445 · R 28-1 96 183

△此書原名をポプラーレス。ハンドブック、デル、ランドウケルトシャフトと言ひ独逸人シュリ
ップ氏の著作にして褒賞の特典を得たるものなり 而して原本ハ千八百八十年伯林刊行第九版の
ものに係る▽（凡例）

（一）耕作、土質、改墾改良、農具、肥苴、稼穡、稼穡各論、（二）貿易雑用植物類、秣場耕作
法、葡萄樹栽培法、（三）果樹栽培法、農具の組織、作物循環法、牧畜法、牧牛法、（四）牧羊

法、牧馬法、養豕法、蜜蜂使用法、養魚法

△明治十五年、余從伊藤大使航歐洲、當時見此書于独逸国伯林府、其論委曲而不煩、正確而得要、故歐洲農家、概奉以取則、余以為、訳而公之、必有益於本邦農事、帰朝之際、携一本而帰、爾後示之品川農商務大輔、品川大輔甚愛此書、速命訳之、今全篇訳成▽（跋）

【明治18年】

④5

普^{フリドリヒ}布利特隣大王農政要略 スターデルマン著 和田維四郎訳述（二月）東京 氏家禎介出版

活版 23 cm 序（品川弥二郎）1 + 例言2 + 目次4 + 182 + 独逸学協会出版書目3 p

△本書ハ普国農務官^{語原}「エコノミーラート」「ドクトル」、スターデルマン氏官ノ允許ヲ得官府ノ秘書庫ニ保蔵スル公文書ヲ査覈シ之ヲ補フニ博ク諸家ノ説ヲ採リテ編述セシモノニシテ其成ルヤ特ニ之ヲ独逸国皇太子フリードリヒ、ウキルヘルム殿下ニ献シタルモノナリ 其刊行ハ千八百七十六年ニ在リ 此書ヲ訳述セシ主意ハ普国ノフリードリヒ大王時代ノ農況タル大ニ我邦ノ今日ニ類以スルモノアリ 其農政上施行シタル事業及其処分ハ我邦ノ模範トナルヘキモノ少カラサルヲ以テ当局者ノ参考ニ供セント欲スルニ在リ▽（例言）

原著名「フレドリッキ、デル、グロスセ、イン、セーネル、タチグケイト、ヒウル、デン、ランドホウプレウセンス」（未定稿による）

【明治19年】

④6 酪農堤要 英ユーアット著 知識四郎訳述 押川則吉校閲 (十二月) 東京 前田喜代松(北辰社)

出版 有隣堂・丸善発売

活版 22 cm 題字・序(品川弥二郎) 5十跋(岩山敬義) 2十例言2十目錄2十154 p

△酪農ノ事タル上古ニ始マル 山城ノ地ニ醍醐アリ 醍醐ハ即チ酪乳ナリ……余嘗テ二三ノ泰西農学書ヲ閱スルニ英国ノ大家ウケルリアム、ユーアット氏ノ著述ニ係ル牧畜全書中酪農ノ一篇ハ上梓稍古クシテ学理ニ乏シク完全ト称スルニ足ラスト雖モ其所説皆実験ニ基キ簡ニ失セス煩ニ過キス該業ノ実務ヲ知悉スルニ頗ル適當ナルカ如ク是ニ於テ之ヲ抄訳シ題シテ酪農提要ト曰フ▽
△原書ハ初刊以來数次改訂増補シテ刊行セシモノナリ 余ノ抄訳シタルモノハ即チ西曆一千六百六十四年ノ上梓ナリ▽(例言)

【明治20年】

④7 農場整備論 英モルトン著 今外三郎訳補 (八月) 信州上田 伊藤甲造(汲古堂) 出版

活版 21 cm 例言2十原序2十目次1十総論3十314十正誤1 p

△「ダブリュー、ハル子ス」氏ハ農具ノ章句及附録ヲ記述シ所有地整備ノ章句ハ主トシテ「ギルバルト」「ムーレー」氏之レカ任ニ当レリ▽(原序)

△原書ハ一千八百八十四年ヂェー、シー、モルトン氏ノ刊行ニ係ル農家必携ノ第六卷ニシテエク

II 農業編

四九

R 29
194

A 内

R 29
106

キップメント、ヲフ、ゼ、ファームト題セル農場及所有地ノ整備ニ関シテ論シタル書√(例言)
 目次——一農場農具論、二農場整備論、三農場資本論、四農場道路論、五垣墻論、六水備論、七
 農場宅地論、八地主資本論

A

④8

農理原論 米ノルトン著 永田健助訳述・出版 後藤達三校閲 (九月) 東京 思誠館藏版

六冊木版 23 cm (一) 緒言3十原序3十度量1十目次5十38丁、(二) 58丁、(三) 55丁、(四)

55丁、(五) 68丁、(六) 33丁

R 30 | 1 55 116 174 232 303

△本編ハマサチーセツツ洲「エ、ル」専門学校ノ農学科教授ジョン、ノルトン氏ノ原撰ニ係リ近
 時米国紐約克府ニ於テ刊行スル所ナリ、原名ヲ「イレメンツ、ヲフ、サインチフィック、アグリ
 カルチール」一名学理ト耕作ノ術トノ関係ト題ス、今之ヲ名ツケテ農理原論ト謂フ√(緒言)
 目次——一植物ノ有機元素・植物ノ無機部分、二植物ノ有機物養料ノ根元・植物ノ有機物質、三
 土性、四肥料・諸種ノ作物ノ化合物、五飼料ニ作物ヲ用フル事・牛乳並ニ乳室ノ各産物、六化学
 的分析ノ素性

A

【明治21年】

④9

日本農業及北海道殖民論 独フェスカ 中根重一訳 (四月) 外務省

活版 24 cm 目次1十142十地図1葉十正誤2 p

R 30 | 340

△本書ノ起草者ハ客歲八月井上伯閣下ノ命ニ依リ北海道ヲ巡廻シ親シク目撃スル所ニ基キ該道ノ

殖民ニ関スル農業上ノ意見ヲ具申スヘキ榮譽ヲ得タリ 是ニ於テ余ハ同閣下ニ随行シテ北海道ノ巡廻ニ四週間ヲ費シ次ニ井上伯及山縣伯兩大臣ノ命ニ依リ陸路東京ヘ向ケテ帰途ニ就キ此便ヲ以テ(第一)青森(第二)岩手(第三)宮城(第四)福島(第五)茨城ノ諸県ヲ巡廻シタリ 此巡廻ニモ亦殆ント一月間ノ日子ヲ要シタリ 其他余カ日本帝國政府ノ職ヲ奉セシ以来今日ニ至ル迄四年間ニ政府ノ命ヲ奉シテ(第六)静岡(第七)山梨(第八)栃木(第九)神奈川(第十)埼玉(第十一)長野(第十二)千葉(第十三)群馬ノ諸県ヲ巡廻セシニ依リ其他ノ農業実況ヲモ多少研究スルノ機会ヲ得タリ 而シテ又余ハ余カ山梨(甲斐)ニ於テ調査シタル成績ニ基キ「甲州之農業」ト題スル一書ヲ著述シタルヲ以テ今其一部ヲ本意見書ニ添ヘテ閣下ニ捧呈シ高覽ヲ仰カン トス/余ハ閣下ニ奉呈スル本書ニ於テ北海道殖民ノ事ヲ述ルノ前先ツ日本内地農業ノ現況ヲ開陳スルヲ穩当ナリト信ス 何トナレハ日本内地ニ於ケル農業ノ有様ヲ正当ニ判断スルニ非レハ本書ノ主眼トスル北海道殖民事業ニ応用スヘキ方策ノ利害得失ヲ断スヘカラサレバナリ/余ノ随行員トシテ余ニ附屬セラレタル渡辺氏ハ旅行中余ヲ輔佐シタルハ勿論本書ノ起草ニ要シタル政府発行ノ統計書及其他ノ公文ヲ翻訳シ其功勞決シテ少カラサルニ因リ余ハ同氏ニ対シ深く鳴謝スルノ義務ヲ負ヘリ(本文)

⑤0 フェスカ氏ノ農業改良按 (十月) 農商務省

活版 18 cm 序1 + 井上農商務大臣ノ談話18 + 37 p

△井上農商務大臣ハ明治二十一年十月二十五日京都府ニ開設セル関西二府十五県聯合共進会褒賞授与式ニ臨マレ其翌日在府出品人ヲ智恩院ニ招キ農商工業ノ事ヲ談話セラレ又大臣ニ同行シタルプロフェスソルフエスカ氏モ農業改良案ヲ演説セリ▽（序）

⑤1

農学階梯 英タン子ル著 蘆葉六郎訳述 酒勾常明校閲 （三月）鴻巢 長島為一郎発行

活版 序（酒勾）2十原序1十緒言2十目次1十186 p

△本書ハ英国農学博士ヘンリー、タンネル氏ノ著ニ係リ原名ヲフォースト、プリンシプルズ、オフ、アグリカルチュールト題ス……余先年欧米各国周遊ノ際英京倫敦ニテ之ヲ得今回訳シテ農学階梯ト名ツク即チ西曆一千八百八十四年第五回印行ノ原著ニ拠ルモノナリ▽（緒言）

【明治23年】

⑤2

農業保險論 併貯金法、土地抵当貸付法及負債義務解放策 マイエット著 斎藤鐵太郎訳・発行 渡辺醇之助訳 松浦良春校

莊原和校 （二月）東京 喜多三郎発行

活版 21 cm 題字（山縣有朋）2十叙（野村靖）6十序（品川弥二郎）5十自序11十附録目次2十480十表19枚十目次44十引用書著者氏名3十外国新聞紙批評36十著書目録2 p

△本書農業保險論及附録ハ日本農民ノ窮況ヲ救済スルノ必要ヲ論シタル者ニシテ元ト通信次官子爵野村靖閣下并ニ内務大臣伯爵山縣有朋閣下ノ命ヲ奉シ千八百八十六年ノ初春始メテ之ヲ起草シ

タル者ナリ▽（自序）

目次——一保險原論、二救治法、三本案施行順序、附録一農業保險論後編（齋藤・渡辺訳、荏原校）、二土地抵当銀行説附北海道
殖民策（花房直三郎訳）、三地租輕減説（齋藤訳）、四日本備荒蓄法（齋藤訳）

【明治24年】

53 日本振農策 エッゲルト著、織田一・山本兼太郎訳（三月）東京 大橋新太郎（博文館）発行

活版 19 cm 序（加藤弘之）3 + 緒言3 + 原序4 + 目次4 + 290 p

R 32 | 1

△法科大学理財学教師ドクトル エッゲルト君曩ニ日本農業ノ振興策ニ付テ英文ニテ一書ヲ著セシヨリ吾カ国家学会ニ於テ之ヲ刊行セリ……是ニ於テ今般法学士織田一法科三年生山本兼太郎之ヲ邦語ニ訳シテ普ク世ニ示サント欲シ国家学会ニ乞ヒシカハ国家学会ハ喜テ之ヲ諾シテ遂ニ訳文
発刊ノ運ビニ至ルコトトハナレリ▽（序）

A

54 日本地産論 独フェスカ述（三月序、特編二十七年五月）農商務省地質調査所（特編）東京 金

田新太郎発行

活版 22 cm 序（地質調査所）1 + 緒言7 + 凡例1 + 目次1 + 476 p 挿図2葉、（特編）緒言2

十凡例1 + 目次3 + 506 p 表1 + 地図2葉

R 32 | 161 · R 33 | 1

△本所曩ニ傭外国人并各主任ノ技術官ヲシテ帝国地産及其生産ニ関スル諸般ノ事項ヲ調査セシメ
タリ 其成績ニ依リテ明治二十二年地産要覽図ヲ刊行セリ 今其説明書ノ地産論成ル▽（序）

△余ハ明治十五年（千八百八十二年）日本政府ノ招聘ニ応シ地質調査所土性調査事業監督ノ職ヲ奉シ農科大学教師ノ任ヲ兼タリ……余カ本論ヲ草スルニ当リ執レル所ノ主眼ハ直接ニ農民ニ資セントスルモノニアラズシテ現時日本ニ於ケル農業ノ改良計画奨励ノ局ニ当ル農務官ノ参考ニ供セントスルニ在リ▽（緒言）

△本書ハ余ノ曩ニ著述シタル日本地産論ノ続編ニシテ主トシテ日本ノ各耕作物ニ就キテ論述シタリ故ニ又一方ヨリシテ本邦農業ノ発達ヲ論シタルモノトモ謂フヘキナリ▽（特編緒言）

【明治26年】

⑤⑤ 日本農民ノ疲弊及其救治策 独マイエット著 斎藤鐵太郎・曲淵景章・藤井善衍・青山大太郎訳

（五月）東京 青山大太郎発行

活版 25 cm 自序3 + 目次15 + 140 + 正誤・マイエット著書目録1 p 表1葉

△本書載スル所ノ講義ハ余カ明治二十四年ニ有栖川熾仁親王殿下ノ御招待ヲ蒙リ同殿下、小松彰仁親王殿下、伏見貞愛親王殿下及北白川能久親王殿下ノ前ニ於テ演述シタルモノニシテ自序及緒言ハ後ニ至リテ草シタルモノトス……本書ハ余カ十七箇年来教師ト為リ大蔵省ノ顧問ト為リ太政官會計部ノ顧問ト為リ逓信省ノ御雇ト為リ農商務省ノ調役ト為リ或ハ自費ヲ以テ生活シ研究シ以テ聊カ微力ヲ致シタル此日本国ヲ去ルニ臨ミテノ告別ノ辞ニ外ナラザル▽（自序）

演述口訳は第一講齋藤、第二〜七講花房直三郎。

作物

【明治8年】

56 ブドウジュニサイバイシンホウ 葡萄樹栽培新方 米ジツケルメン及ビュール著 河出良二訳 横瀬文彦閲 (二月序) 三楽堂蔵

東京 大和屋源助・松本屋亀吉発兌

二冊合本木版 22 cm (上) 題詞2 + 緒言2 + 目次1 + 31丁、(下) 20丁

R 34-11

△先ヅ其栽培方ヲ訳出シ附スルニ醸造方ヲ以テス 其原籍ハ米人「ジツケルメン」氏并ニ「ビュール」氏等が著述セシ者ニシテ其栽培方実ニ至更巨利ノ者ト謂フ可シ▽(緒言)

C F

57 ヘンデル 薔薇培養法 水品梅處訳 織田樗堂閲 (七月) 開物社蔵 東京 大和屋喜兵衛発兌

木版 23 cm 序1 + 例言1 + 21丁

R 34-64

△予適米人ペートル、ヘンデルソン氏ノ養ブラクチカルフロリコルチュール 花 術ト題セル書中薔薇培植ノ条ヲ閲シテ目

C F T

58 薔薇栽培法 米パンソン著 安井真八郎訳解 (九月) 共由社蔵 東京 小幡正蔵出版

二冊活版 19 cm (上) 薔薇図4 + 目錄3 + 小引2 + 38丁、(下) 45丁

R 34-91 142

△古昔ヨリ文明ノ国開化ノ民ハ薔薇ノ窈窕タルヲ愛シ芬芳ニオヒ馥郁タルヲ賞セザルモノナシ……故ニ米国ノ治圃家「サミュール。パンソン」氏著ス処ノ薔薇栽培法ヲ抄訳シテ栽培家ノ為メニ参考

ニ供セントス▽（小引）

五六

【明治10年】

⑤9 茶務僉載 清国胡秉枢著 竹添光鴻訳（七月）内務省勸農局蔵版 東京 穴山篤太郎発売

木版 23 cm 緒言（織田完之） 2 + 叙 3 + 小引 1 + 目錄 2 + 52 丁

R 34 | 190

△胡氏自著ノ茶務僉載ヲ携帶シ来リ官ニ稟シテ曰ク貴国茶質ノ佳美ナル実ニ敝邦ノ及フ所ニアラズ 而シテ欧人嗜好ニ適セサルモノハ其製法ノ未ダ備ハラザルヲ以テナリ 願クハ貴邦ノ為ニ其製法ヲ伝ヘント」官其言ヲ納レ胡氏ヲヨシテ試製セシム 果シテ精良品ヲ得タリ」……官ノ特ニ此書ヲ刊行スル所以ナリト云爾▽（緒言）

C

⑥0 杞柳栽培製造法 こぶやなぎ 仏モアトリエー著 曲木高配訳 田中芳男閱（七月）内務省蔵版 東京 穴山

篤太郎発売

銅版 53 × 68 cm

R 34 | 255

△此書ハ仏国「モアトリエー」氏著ハす所にして杞柳を栽培し以て器具を製する法を示したる者なり▽（題言・両角寛）

A C

【明治11年】

⑥1 砂糖甜菜根耕作法 米グラント著 峯源次郎訳（九月序）大蔵省出版

三冊合本活版 18 cm 序 6 + 例言 2 + 目次 2 + 上 51 + 中 47 + 下 38 + 正誤表 1 p

R 34 | 262
294
318

C F T

△原書ハ米合衆国「マッサチュセツト」地方庁ノ書記局ニ於テ一千八百六十六年ノ国会条例ニ依リテ「イー、ビー、グラント」氏ノ著作セシ所ニ係ル（例言）

△柳々我政府大ニ農業ヲ励マシ物産ヲ起サント欲ス 地ニ遺利アリ国ニ游民アルベカラズ 参議大藏卿大隈公此ニ見ルアリ 夙ニ其貴重ナル植物ヲ洞察シ以為ラク現今内地ノ農産ヲ増産スルニハ復タ比物ヲ移植繁生セシムルニ及クハ莫シト 曩日来吉原大藏書記官ト謀リ洋書中其記述最モ詳備ナルモノヲ採ミ翻訳課員峯源次郎ヲシテ之ヲ邦訳セシム……併セテ勸農局出版ノ甜菜砂糖製造法ヲ参考セバ則チ思半ニ過キン（序・土山盛有）

⑥2

紅茶説 英モ子一著 多田元吉評註（十二月）勸農局蔵 東京 中溝熊象・星野松蔵発兌

四冊木版 23 cm（一）序（勸農局）2+43丁、（二）50丁、（三）39丁、（四）47丁

R 34
339
388
441
483

△評曰同氏此書ヲ著述セシハ今ヲ去ルコト四年（卷四評註）、哥羅尼爾、摩尼著

【明治14年】

⑥3

種麻要編 露ブサノフ著 小野寺魯一訳（七月版權届）開拓使蔵版 博聞社発売

6冊（卷一〜五、附録）合本 18 cm 目錄4+緒言3+例言3+286+正誤2 P

R 35
1

△原書ハ農学士彪沙諾布氏ノ編次スル所ニシテ一千八百七十年摸斯格都ニ於テ上鐫セリ 同氏親シク麻苴ノ培養ニ從事シ其良法ヲ覈究センコトヲ欲シテ反覆栽播ヲ試ムルコト数十年間ノ星霜ヲ経テ麻ハ則チ一種ノ特質ヲ固有スルコトヲ発明ス 是ニ於テ最モ適宜ノ培養法ヲ施行スルニ於テ

ハ其功益偉大ニ至ルベキヲ確認ス 故ニ今其実験ノ成跡ヲ列載シテ農家ノ参閱ニ裨セントス
 △本編ハ原書ノ体裁ニ從ヒ全部ヲ分テ種麻製麻ノ二編トス▽ (例言)

【明治17年】

64 米国植綿書 米ライマン著 藁品槍太郎訳 衣笠豪谷校 (六月版權届) 農商務省農務局蔵版 東

京 穴山篤太郎 (有隣堂) 発兌

二册合本 活版 21 cm 引 (農務局報告課) 1 + 凡例 1 + 目次 1 + 前編 74 + 目次 1 + 後編 146 p

合衆国産綿地ノ図 1 葉

△此書ハ米国人徐瑟甫、来曼著ス所ニシテ凡ソ草綿栽製者ノ考証ニ緊要ナル条件ヲ蒐輯シテ遺サ

ズ 即チ前編ニ載スル所ハ綿圃ノ整備播種栽培ヨリ摘収包装輸出ニ至リ其他綿業ノ器具雑務并ニ

植綿月令等トシ又後編ハ北米綿圃ノ広狭地質虫害綿種等ヨリ其商情統計ニ論究シ又後尾ニ附スル

ニ綿油及ヒ綿油渣餅ノ製造供給諸項ヲ以テセリ▽ (引)

65 製茶新説 英ランケステール著 高月団治朗訳・出版 (八月) 伊勢・津立町 木村光綱売捌

活版 19 cm 自序 8 + 纒絮蟀亭小伝 (噺東氏知識全書抄訳) 2 + 凡例 3 + 目錄 1 + 68 p

△原著ハ英国医学士イェド。ウエン。ランケステールノ著述ニシテ千八百六十二年ニロンドン府

刊行ノ者ナリ▽△原著ハラン、フードト題シテ食物論ノ積義ナリ 然レトモ原著ノ著者ハ則チ

医師ニシテ此書専ラ人民ノ飲食ノ原理ヲ講ズル者ナレバ是レ固ヨリ原書ハ此ノ意ヲ以テ読マザル

R 35
149
191

A

R 35
267

B

可カラズ▽(凡例)

【明治20年】

⑥⑥ 西洋野菜 甘藍栽培篇 米ジョールジソン口述 大町信筆記・出版 (十一月) 東京 穴山篤太郎発兌

活版 19 cm 印1枚+緒言3+70 p

△欧米諸国に於て常に栽培する野菜に珍重すべきもの多し されど其名さへ本邦人の耳に入らざるものあるハ実に遺憾に堪えざるなり▽(緒言)

チャールズ、シー、ジョールジソン (惹爾地遜) は東京農林学校御雇農学教師

【明治21年】

⑥⑦ 烟草種芸、製造、組成及審査法 フェスカ・今井秀之助著 (二月) 農商務省

活版 21 cm 目次2+121 p

△夫日本国ニテハ烟草ノ耕種未旺盛ヲ極ムルニ至ラスト雖已ニ国中一般ニ布及シ薩摩等ノ諸州ニ在テハ誠ニ主重農産物中ノ一ニ居レリ▽(本文)

⑥⑧ チャレス、シ、ジョールジソン氏復命書 烟草栽培 (二月) 農商務省

活版 20 cm 目次1+53 p

△余ハ今貴命ニ応シ烟草耕作ニ付謹ンデ此報告ヲ呈スルノ榮ヲ有スルナリノ烟草耕作ノ状況ヲ探求シ成ル可クハ其産出ノ方法ニ改良案ヲ提出スルノ目的ヲ以テ栃木府ニ出張スヘキ命ニ依リ沢

野、田中、岡田ノ三氏ト同伴シ三月二十二日東京ヲ発シ栃木県ニ向ヒ同夜深更宇都宮ニ達シ翌日人力車ニ乗り県下ニ於テ煙草耕作上最重要ニシテ且余等出張ノ目的地ナル那須郡大山田ニ達セリ▽(本文)

69 栽桑新説 独巴底^{バアテエ}著 和田義雄訳 練木喜三閱 松永伍作評註 (三月) 東京 穴山篤太郎(有隣堂)・小柳津要人発行

活版 18 cm 原序2 + 例言2 + 目次2 + 97 p

R 36-95

△此書ハ原名「マウルベエルbaumツフト」(Maulbeer baumzucht) ト命ケ西曆一千八百六十五年(我慶応元年) 出版独逸国伯林府シ、エーチ、パアテ^H氏 C. H. Pathe ノ著ス所ニ係リ桑樹ノ種類、栽培ノ方法ヨリ桑園ノ設置ニ至ルマテ経済ノ要点ヲ説明シ殆ト遺ス所ナシト云フヘシ然レトモ彼我天候、土質、地形ノ異ナル其所説稀ニハ我ニ適用スヘカラサルモノナキヲ免レス依テ書中間々評註ヲ附シテ以テ読者ノ参照ニ供ス▽ (例言)

【明治23年】

70 菓実栽培 米トーマス著 津田仙訳纂・発行 (三月序) (三)二十五年十二月) 東京 学農社発兌

活版 19 cm (一)採色口絵1葉十序6 + 目錄3 + 131 p (二)目錄4 + 115 p (三)目錄6 + 164 p

R 36-151-225-286

△米国アメルスト大学教頭博士クラルク氏曾て開會使の招聘に応じて初めて我邦に渡来するや余

直に氏を東京の旅館に訪ふ 当時余適ま博士に言て曰く今回君が我邦に齎されたる吾人を益する
の高見もあらば希くハ教を受けんと此時クラルク氏ハ其行李を開きトーマス氏所著の米国菓実
栽培書カルチユル一卷を把り出して曰く此書先年より米国に行ハる、所の好書にして米国に産する菓実を
網羅し貨殖の之源として菓実栽培の要旨を悉くせり……余ハ今般聊か世人の希望に応ぜんためト
ーマス氏最新版増補米国菓実書に就て先きに農業雑誌に出でたる訳文を補ひ尚ほ米国ウ井クソン
氏著「カリフォルニヤ、フルイツ」と題する書の最新版に係る者を摘訳して増補と為し更に我邦
在来の方法も加へて茲に菓実栽培三巻として発刊することと成れり▽（序）

【明治26年】

⑦1 墨国ニ於ケル咖啡栽培 墨テラー著 井上一男訳 (十二月) 東京 殖民協会・恒屋盛服発行

活版 24 cm 小引1十目次1十55 p

△此書ハ墨府商業雜誌記者ゼー、ピー、テラー氏ノ原著ニ係レリ 氏ハ咖啡栽培家ノ手引タル
ニ妥当ナル好書ノ無キヲ慨シ多種ノ書籍報告書等ヲ参酌シ且ツ自ズカラ諸耕場ニ臨ンデ觀察ノ上
起草セルコトナルヲ以テ元ヨリ称シテ完全ト為スニ足ラザル可シト雖トモ有志者が墨国咖啡事業
ノ大体ヲ知ラントスルニハ充分ノ価値アル者也ト云フ可シ▽（小引）

農業化学

六二

【明治8年】

⑦2 西洋農学日講随録 卷之一 米オーレン著 米ウキード講述 東五一通辨、田代俊二編輯 (四月)

京都府勸業場蔵版

木版 23 cm 緒言3十目次1十17十童仙山房紀行5丁

△此書ハ。京都府雇入レ農牧教師。米利堅^{メリケン}国ノ人。ゼームス、オースタイン、ウキード氏ノ講述ヲ随録シタルナリ。紀元千八百四十六年二上梓シタル。米利堅国農学士リチャールド、エル、オーレン氏ノ著ス新農学全書ヲ原本トシ。教師ノ実檢。或ハ目撃スル所ノ論說ヲ併セ記ス△昨明治七年甲戌四月十四日。業ヲ開キ。十二月二十二日。業ヲ休ム。其講述編輯スル所ノ目次左ノ如シ。第一編土質論附童仙山房紀行 第二編肥糞前論 第三編肥糞後論 第四編耕法機械論 第五編牧草前論 第六編牧草後論 第七編穀物論 以上七編草案既ニ成レリ。而シテ原書三分ノ一ナリ。今明治八年乙亥一月七日。復タ業ヲ始ム。日ニ講シ。月ニ輯メ。年ヲ加ヘスシテ全書ヲ卒業セント期ス△(緒言)

【明治9年】

⑦3 耕作必要 一名培料製造法 米ボンメル著 小倉勝全・小倉周蔵訳 大郷穆校訂・出版 (七月)

東京 敢為堂藏版

二冊木版 23 cm (一) 題字 (三村野人) 1 + 叙 (大郷) 2 + 例言 2 + 原著者緒言 2 + 目次 3 + 28 丁、(二) 26 丁

△茲編ハ米人「ボンネル」氏著ス所ノ培料製造法ニシテ今其要領ヲ抄訳シ農圃ノ看ニ便スルヲ以テ更ニ耕作必要ト名ク其化学ニ渉ル精細ノ論説ハ之ヲ副刻ニ讓ル▽ (例言)

【明治14年】

C F Q

⑦4 農事主訣 第一編 英モルトン著 寺師宗徳抄訳 (七月) 東京 丸屋善七ほか出版

活版 19 cm 題辭 (楽耕園主人) 2 + 序 3 + 例言 6 + 目錄 5 + 439 + 正誤 4 + 函 23 p

R 37 | 102

△原書一千八百七十五年英国龍動府出版ジョン、チャーメルス、モルトン氏著「サイコロ、ヘチヤ、ヲフ、アグリカルチュール」ト題シタル農科総論ニシテ其ノ論緒ニ就クヤ農科理論、農科技術、農科事業、ノ三項ニ分課シ其ノ小目ヲ掲グルヤ植物ノ名称、耕作ノ業程、農事ノ原理、農政ノ制令、農科ノ教育ニ至ル迄苟モ農事ニ関係アル条項ニ至テハ悉ク包羅シテ遺スコトナシ 而シテ其ノ篇二卷紙葉殆ト二千葉ニ及ビ……▽ (例言)

B

【明治17年】

⑦5 戎氏農業化学 英ジョンソン著 カメロン増補 片山遠平訳 (十二月) 文部省編輯局藏版

II 農業編

六三

二冊活版 19 cm (上) 凡例 2 + 第一回刻本ノ序 2 + 第十回刻本ノ序 2 + 第十二回刻本ノ序 2 + 第十二回刻本ヲ進呈スル書 1 + 目録 7 + 395 [225 ~ 256 欠] + 正誤表 2 p、(下) 目録 8 + 446 + 正誤 1 p

R 38 - 1 196

△本書ハ一千八百七十九年、倫敦府及ヒ依陣堡府ノ刊行ニ係ル、戒斯頓氏 (J. F. W. Johnson) ノ著述ヲ加墨倫氏 (C. A. Cameron) ノ増補シタル第十二回刻本ノ農業化学及ヒ地質学入門 (Elements of Agricultural Chemistry and Geology.) ト称スル英書ヲ翻訳セシモノナリ、今之ヲ省約シテ、戒氏農業化学ト略記セリ (凡例)

A

【明治18年】

⑦⑥ 化学肥料説 仏ブアル著 新保磐次重訳 (十二月再版、初版五月) 東京 大日本農会出版

活版 22 cm 緒言 2 + 目次 1 + 32 p

R 38 428

△此書ハ仏人ゼオルヂ、ブアル氏ノ原著ニシテ専ラ化学肥料ノ性質適用等ニツキ其経験ヲ記載セル農業上無比ノ良書ナリ 各国相伝ヘテ訳行ス 余ハ英訳ノ書ヲ得テ之ヲ重訳セリ……此書ヲ訳述スルコトハ元ト中川謙二郎君ノ発意ニ出テ巻首兩三章ハ君ノ訳ニ係ル (緒言)

A 内

【明治19年】

⑦⑦ 勸業叢書 農場化学 英ワリントン著 森要太郎訳 (九月) 東京 穴山篤太郎 (有隣堂) 出版

活版 19 cm 緒言 2 + 目録 1 + 190 p 付表 1 葉

R 38 450

△ 輓近英国倫敦ニ於テジェー、チャルマース、モルトン氏（ハインドフック、オフ、ゼ、フアーム、セリス）家 必 携ト題スル一良農
書ヲ出版ス 此書分テ数篇トス 農（ゼ、ケミストリー、オフ、ゼ、フアーム）場 化 学ハ則チ其一篇ニシテ アール、ワリントン
氏ノ著述スル所ナリ 而シテ本篇ハ一千八百八十四年第三版ノ英書ヲ訳セシモノナリ……実ニ農
芸化学ハ未熟ノ科学ニシテ其発達ヲ見タルハ漸ク近來ノ事ナリ▽（緒言）

⑦⑧ 勸農 肥料篇 米ジョージ、ボムメル著 志賀雷山訳述（十二月）東京 穴山篤太郎 出版

18 cm 活版 版権捺印紙1葉十（一）56十（二）46十（三）44十正誤2 p R 39-1 32 55 A A

【明治20年】

⑦⑨ 正訂 農業 地質 化学 問答 英ジョンストン著 諏訪鹿三纂訳并註（十月改題訂正再版御届、原題名「和洋農業

教授書」）東京 山岸重（香松社）・柳沢里出版

三冊木版 23 cm（上）題字（日下部）1十序（巖谷修）2十例言2十目次2十46丁、（中）42丁、

（下）34丁 R 39-82 130 177

△ 此書ハ英国農業化学博士ジョンストン君著ス所ノ農用地質化学教授書ト余ガ札幌農学校ニ於テ
米國農学士ブルークス氏ニ從ヒ習得セシ実験上ノ諸説ヲ纂訳シ尚足ラサル所ニハ愚見ヲ附加セシ
モノニ係ル▽（例言）

⑧⑩ 勸農 肥料保護篇 米ワルレン著 戸井重平訳述（十一月）東京 穴山篤太郎（有隣堂）出版

活版 19 cm 有隣堂之印1葉十緒言2十目次2十51 p R 39-216

II 農業編

六五

AO◎

△本書ハ米国和爾連氏の著述に係る農業化学肥料部に就きて訳述せるものにして妄りに名けて肥料保護篇と言ふ 篇中肥料の費耗を防ぐを主旨とすればなり▽△余ハ此原書の全部を訳したきこと限りなけれども其浩瀚なると議論の高尚なると我邦の農家に適切ならざるもの多きを以て独り此一小部分を訳述せり▽

- ⑧1 こやしのはなし 肥培論 独フェスカ―演述 渡部朔訳述 (十二月) 千葉 早川重三出版 房総会発兌

活版 20 cm 序 (船越衛) 2 + 37 p

△本邦農ヲ以テ本トシ其實務ニ於テハ積年ノ実験ト練磨トニ由リ自カラ学理ニ適フモノナキニアラズト雖トモ之ヲ学理ニ求メ実地ニ応用スルモノ殆ント稀ナリ 是レ予カ常ニ憾ト為ス所ナリ 幸ニ農商務省御傭独逸国プロヘスソルドクトルマックスフェスカ―氏ハ固ヨリ学理ニ明カニ兼テ実験ニ富メル所ノ人ニシテ予ト相識ルヲ以テ曩ニ本会ニ招聘シ肥培論ノ講義ヲ求メ来会者ヲシテ之ヲ聴カシメタリ▽ (序)

【明治21年】

- ⑧2 勸農 土壤及肥料 英モルトン著 山口泰次郎訳 (一月) 東京 穴山篤太郎 (有隣堂) 出版

活版 18 cm 勸農叢書之章1枚十目次4 + 219 p

△此書ハ実ニ豊饒力ニ就テ論述スルモノナリ故ニ此小冊子中主トシテ関論スル所ハ土壤豊饒力ノ天然富源并ニ其豊饒力ノ人為耗竭、維持法及増多法ナリ▽

⑧3 実地 肥料新説 独ワグ子ル著 倉島義郎訳 酒匂常明校閲 (三月) 東京 穴山篤太郎発兌

活版 18 cm 版權所有之章1枚十緒言2十目次4十130 p

△原書ハ「オン、ゼ、サブゼクト、オフ、マニユア」と題シ有名ナル独乙農芸博士ワグ子ル氏カ
ダルムスタット試験場ニ於テ学理ト実験トニ徴シ肥料ニ就キ研究セル成績ヲ編述セルモノニシテ
……既ニ千八百八十五年第四版ヲ刊行スルニ至リシモノナリ▽(緒言)

【明治23年】

⑧4 米作肥料試験成績 独ケル子ル・古在由直・森要太郎・長岡宗好著 (二月) 農務局

活版 21 cm 序1十29十附録(ケルネル・吉井豊造) 3十図版4 p

△本書ハ明治二十三年東京農林学校ニ於テ施行セル米作肥料試験ノ成績ナリ 其掲クル所農家ノ
参考ニ裨補スルコト少シトセス 因テ本局ニ於テ之ヲ印行ス▽(序)

養 蚕

【明治2年】

⑧5 蚕種説 附刻蚕種商法 開物新書第一集 独カルマルス 柳河春三訳 (二月序) 吉田屋蔵版

木版 19 cm 開物叢書序2十凡例4十17丁

△此章は日耳曼人カルマルス氏の百工必読書より蚕并絹糸の条の首章を訳出して以て一編の冠と

II 農業編

六七

R 40
1

R 39
466

A

A

R 39
391

す▽(総括)

【明治7年】

⑧6 西説養蚕理解 第一輯 蘭ベムル遺伝 原田道義撰述 伊東祐敦補註 小久保章・秋山源内・江
 実驗 草善平参考 小久保孝作・金子真三郎校者 (六月序)

三冊活版 22 cm (一) 序1十題言3十凡例5十目錄2十15丁、(二) 目錄3十31丁、(三) 目錄
 3十32十報告1丁 R 40-28 58 95

△往時文政の末天保の始先師猪俣如蘭先生、肥前崎陽に在し時、来舶の「ホルランド」人「ヤン
 コッフ」及「ベムル」に就て、医学究理学分析学、其他諸学器械学、御馬法等をも習受せし
 わ、実に彼邦の紀元千八百三十年の頃なりき、一日「ベムル」氏と雑話の序、本邦養蚕の事に
 及べり▽(題言・原田)

△此書原本わ往年、欧羅巴波爾蘭土の人、晁謨児氏の伝なる口訣にして、先師如蘭翁の筆記なり、
 乃ち彼邦各地に行ふ養蚕の所措方を論じ、且其实理を解たる者▽(凡例)

△此書原本都て六冊、今其半を等く分て、第一輯とする者ハ発兌を急ぐを以て也……但し本編発
 行の期を、至急に促さるゝを以て、先活版として之を出す、続ひて木版に彫刻し、永く全国に拡
 充すべし▽(報告)

C E J

C E F

⑧7 養蚕説 独レーベ著 杉山親訳 (月不記) 玉山堂蔵版 東京 北畠茂兵衛・山中市兵衛 稲田佐

兵衛発兌

木版 23 cm 緒言1十目錄1十図3十36丁

R 40
133

△此書ハ彼一千八百六十六年独逸国の学士レーベ氏の著述せる「ブーフ、デル、ランドマン」と題せる農学書の中より養蚕の事を撮訳したる書なり▽（緒言）

E F

【明治10年】

88 養蚕適要 仏コイール口授 永井興撰輯（十二月）東京 稲田源吉（玉海堂）出版

三冊木版 23 cm （一）叙（伊地知貞馨）2十凡例3十目錄4十29丁、（二）32丁、（三）44丁 R 40
178
220
255

△予嘗テ養蚕製糸ノ両業ヲ学ント欲スルヤ上州富岡製糸場ニ抵リ通辨ヲ職スルコト久シ 故ニ傍ヲ養蚕製糸ノ両業ニ就ントス 然リト雖トモ其素志ヲ逐ル能ハズ 手ヲ空フシテ帰ル 予幸然茲ニ在工部省製糸場首長仏人コイール氏ニ会シ予ガ多年企望スルトコロノ養蚕製糸ノ両業ヲ受ク 然リ而テ同氏ノ教育諄々懇欵ナルヲ以テ大ニ該事業ニ開知スルトコロアリ 故ニ同氏ノ補助ニヨリ養蚕ノ諸術ヨリ歐洲ニ於テ製糸スル所ノ諸方法及ヒ機械其他本邦ノ蚕類ニ適當ナル製糸ノ方法及ビ機械等ノ詳説ニ至ル迄務テ簡約ニ綴続シ名ヲ養蚕適要ト称シ初学ノ読者ニ会得シ易キヲ主トシ 泛ク同好ノ諸君ニ伝布セントス▽（凡例）

C H

【明治19年】

89 蚕糸改良新説 仏マイヨー著 今西直次郎訳（四月）京都 八木半三郎出版

II 農業編

六九

四冊合本活版 19 cm 凡例7 + 第一編卷二凡例6 + 第二編卷一凡例11 + 第二編卷二凡例3 + 初編

卷一139 + 第一編卷二64 + 石版図24 + 第二編卷一205 + 第二編卷二116 p

R 40 | 302
389
434
538

マイヨ一は今西が「仏国ヨブナの生糸検査所に留学せし頃養蚕部長」。

A

【明治20年】

⑨⑩ 普通養蚕書 米バムフォルト著 志賀雷山訳 (八月) 東京 穴山篤太郎(有隣堂) 出版

活版 19 cm 版權所有印1枚 + 目錄2 + 58 p

R 41 | 1

A

⑨⑪ 養蚕論 独発襪陸蘭度著 小幡信篤訳・出版 (七月) 東京 穴山篤太郎出版

活版 22 cm 目次4 + 327 p 挿図7葉

R 41 | 38

A

原著書「デル、サイデンス、ピンネル」(未定稿による)

【明治21年】

⑨⑫ 蚕学全書 前編 仏マイヨ一著 原良彦・太田資時訳 (二月) 東京 内田正義(修静館) 出版

活版 19 cm 緒言3 + 度量衡2 + 標目5 + 149 p 挿図11葉

R 41 | 215

△方今我国養蚕ノ業寝々乎トシテ旺盛ノ域ニ進ミ将ニ国家ノ財源ヲ発達スルノ運ニ臻リタルハ抑
モ政府之ニ奨励ヲ加フルノ致ス所ナリト雖トモ民間有志者モ亦与テ力アリトセサルヲ得ンヤ 然
リト雖トモ翻テ本邦養蚕ノ方法ヲ熟察スルニ多クハ古来ノ習慣ヲ墨守シ之ヲ自然ニ放任シ以テ其
効績ヲ万一ニ賭スルモノ、如シ 而シテ未タ其学理ヲ説クノ良書ナキハ我養蚕家ヲシテ痛歎措ク

能ハサラシムル所ナリ 於是乎余儕仏国里昂ニ在ル其氏ニ托シテ同国ニ於テ最モ貴重サル、養蚕書ヲ撰撰セシメシニ今ヤ此書ヲ得タリノ是仏国大学院博士ウージェーヌ、マイヨー氏カモンペリエー農学校ノ教科書ニ充ツルタメ編述サレタルモノニシテ実ニ千八百八十五年(明治十八年)ノ刊行ナリ 今其要領ヲ挙クレハ蚕卵ノ生理、蚕児ノ解剖、機関ノ働、蚕病ノ原因、桑葉ノ分析等ニ至ル迄編ヲ逐テ詳論遺ス所ナシ(緒言)

原著名「ルツソン、シュール、ル、ヴェール、ア、ソワー、ヂュ、ミュリエー」(未定稿)

93 パスツール氏蚕病論 仏パスツール著 川上半吾訳 (四月) 東京 穴山篤太郎(有隣堂) 発行

二冊合本活版 22 cm (上) 緒言3十皇后陛下ニ奉ルノ書 (パスツール) 2十原序5十目錄5十310 p十(下) 166 p 挿図32葉

R 42-1 208

△本書は仏国の博士パスツール氏の原著にして原名を「エチウード、シウル、ラ、マルヂー、デ、ヴェール、ザ、ソワー」と題し千八百七十年仏国巴理刊行に係るものなり 書中蚕児に発生する微粒子病其他凡て蚕病の起因より其予防撲滅の方法を列挙し仏国皇后陛下の勅覧に供へたる名著なり(緒言)

A

【明治26年】

94 生糸検査要論 附各国繭生糸鑑定及器械試験成績 仏ペルソー著 今西直次郎・出版(一月) 東京

活版 19 cm 自序7十目次3十185 p 挿図11葉

R 42-309

II 農業編

七一

△余曾て仏国生糸検査所に在りて親しく其業務に執筆し間接に生糸検査の当業上に効益あるを信するや深し 而して本邦製糸業の形勢の該検査所の設置を促すもの亦久矣 然らば則ち今の時に当りて本書を著訳し敢て之を世に公にする所以のもの豈無用の書と謂はんやV(序)

A

- 95) ボルレー氏蚕児飼育法 塙ボルレー著 佐々木忠二郎訳・蔵版 (三月) 東京 日本蚕業雜誌社・丸善商社発兌

活版 22 cm 目次 1 + 35 p

R 42 | 423

ヨハン、ボルレーは塙国ゲルツ町養蚕試験場長。

畜産

【明治4年】

- 96) 養豚説略 米ハリス著 日新社中訳 (二月、(二)五年一月) 日新社発行 東京 大和屋喜兵衛発兌

二冊木版 18 cm (一) 序(杉田源晋) 1 + 凡例 1 + 目錄・図解 目錄 6 + (1号) 7 + (2号)

6丁、(二)(3号) 5 + (4号) 7 + (5号) 6 + (6号) 8丁

R 43 | 125

△此書は合衆国飼豚結社中の人ハリスの著す所にして養豚の試験研究頗る其論説を殫せりV(序)

△全部捲て二十六篇あり 追々上梓するに第幾篇と記さずして第幾号とするは原書の論説急要ならぬ所を除けば全くの一篇を尽さず 且其題目の順序を次ずして其要用なる篇を先にすればな

り▽△全編訳し了れば又速に養豚全書と題し原書の論説は毫も除かずして具に上るものを発梓す▽（凡例）

C D E F

『養豚成効詳説』（ハリス著、井関十二郎訳）一冊（大槻如電著『日本洋学編年史』による）

【明治7年】

⑨7

羊病治療新書

蘭紐満著

恩及堂主人訳

（三月）

開拓使蔵版

活版

24 cm

目次2 + 緒言2 + （上）15 + （下）35 + 要器略図1丁

R 43 | 54 72

△余嚮ニ紐満氏ノ家畜医書ニ就テ豚病篇ヲ抄訳セシニ牧畜家大ニ其有益ヲ称セリ 於是乎羊病篇ヲ訳セントス▽（緒言）

C E

『豚病治療篇』明治六年八月刊（特37 | 684）

【明治12年】

⑨8

牧畜必携

仏散孫著

荒井宗懿訳・出版

（六月）

庸謹齋蔵版

東京

稲田佐兵衛発兌

活版

19 cm

原序7 + 総目13 + 仏国度量衡2 + 正誤1 + 247 p

R 43 | 110

△予が此小冊子ヲ著ハセシ主趣ハ……凡テ獣医ノ術ヲ知ラサル人ヲシテ病獸ヲ治セシムルノ法ヲ教ユルニアリ▽

A B

【明治15年】

⑨9

牧羊説

独レーベ著

杉山親訳

（六月）

東京

木平愛二（有終堂）

穴山篤太郎（有隣堂）

発兌

七三

II 農業編

七三

二冊合本木版 (上) 序 (柏原) 1 + 緒言 1 + 目錄 1 + 29 丁、(下) 25 丁

R 43
253
289

△予多年西洋農学ニ志アリテ。嚮ニ牧牛説ヲ訳シテ世ニ公ニシ。今亦友人某ノ慫慂ニ任セテ。此書ヲ訳述セリ。原本ハ独逸国ノ学士レーベ氏ノ一千八百六十三年第六月来責^{ライプチヒ}ニ於テ著述シ。後四年ヲ歴テ。同所ニ於テ。出版スル所ノ「ブッフ、デル、ランドマン」と題セル農学書ヨリ撮訳シタルモノナリ。其書巻帙浩翰ナラス簡易ノ書ナリト雖モ。素ヨリ經濟書ノ一ニシテ。農事ニ於テ必ラス欠ク可カラザルが書ナリ。其足ラサル所ノ箇条ハ、エンクラール氏ノ農学書中牧羊ノ条ヲ鈔訳シテ以テ、是ヲ補ヘリ▽ (緒言)

【明治17年】

⑩ 牧羊篇 英チャンバー著 勝島仙之助訳述 (十月) 東京 丸屋善七出版

活版 26 cm 例言 1 + 目錄 2 + 27 p

R 43
317

△此書ハ英人チャンバー氏著ニ係ル百^{インホルメーション、ホール、ゼ、ビーブル}科 全 書ト題シ一千八百八十一年第五版英国出版ノ原著中「ゼ、シープ、ゴート、アルパカ」と題スル部ヲ訳セシ者ニシテ今称シテ牧羊篇ト名ツク▽ (例言)

【明治19年】

⑪ 農用家畜論 英モルトン編 大内健・今井秀之助訳 高橋磯八郎校 (四月) 文部省編輯局蔵版

活版 20 cm 例言 1 + 原序 2 + 目次 1 + 320 + 正誤表 1 p

R 44
1

△此書原名ヲ「ゼ、ライヴストック、オヴ、ゼ、ファーム」と曰ヒ、カリントン、ギルバート、モルトン、ムレー、スペンサー、ウォルトレー、アックス六氏ノ合著ニシテ英國人モルトン氏ノ刊行セル農用袖珍ノ一部ニ係ル農用袖珍ハ氏ガ特ニ教員生徒ノ為メニ撰ブ所ニシテ農場化学論、作物論、農用家畜論、圃土論、農場整備論、製酪場論、作物生活論ノ七冊子ヨリ成リ互ニ相須テ完璧ヲ為スモノナリ 今西曆一千八百八十二年ノ原本ニ就テ之ヲ翻訳ス（例言）

【明治20年】

A内

⑩② 実用家禽書 米レウイス著 高橋昌訳 (四月) 農商務省農務局蔵版 大日本農會發兌

活版 22 cm 蔵版印1葉十緒言4十目次25十309十附録(テゼット、メイア氏家禽書抄録) 111 p

R 44-170

A

⑩③ 馬匹改良説 澳シーポルト著 松見斧次郎訳 (四月) 農商務省農務局蔵版 大日本農會發兌

活版 22 cm 蔵版印1葉十159 p

R 45-1

A内

⑩④ 畜産蕃殖法 米邁爾^{マイルス}著 村上要信訳 (六月) 農商務省農務局蔵版 大日本農會發兌

活版 22 cm 蔵版印1葉十題字(敬義) 2十序(垣田彌) 2十緒言1十総論2十目次2十315

330 p欠損) + 附録15 + 小引16 + 引用書10 + 正誤9 p

R 45-87

△此書ハ米國農學博士邁爾氏ノ原著ニシテ汎ク畜産ノ蕃殖ヲ論シタルモノナリ 氏曾テ米國紐育府ノ農業大學校ニ在テ牧畜医等ノ諸書ヲ著述セシカ其書大ニ欧米濠洲ノ諸國ニ行レテ頗ル名譽ヲ

得タリ▽△此書ハ西曆一千八百七十九年我明治十二年紐育ニ於テ刊行セシモノナリ 予曾テ濠洲諸国ヲ

遊曆スルノ日之ヲ友人ノ手ニ獲タリ▽（緒言） ↓ ⑩

⑩ 家畜原論 米アーレン著 日山豊次郎訳・出版（十一月）東京 青野友三郎（天章閣）・穴山篤太郎（有隣堂）発兌

活版 18 cm 題字（浜本章太郎）5 + 例言2 + 目次10 + 122 p

R 45 | 347

△此書ハ米国学士アーレン氏ノ原著ヲ翻訳シタル者ニシテ加フルニ訳者ノ卑見ヲ以テセリ▽

△此書ハ家畜飼養ノ目的ヨリ性格撰択繁殖食物ニ至リ専ラ其原理ヲ攻究シ之ヲ整然タル順序ニ結構シ相互ノ関係ヲ曉明セリ▽（例言）

A

⑪ 牧畜全書 英ユアット著 押川則吉・井原百介・勝島仙之介・紫藤章訳（十二月）農商務省農務局蔵版 東京 穴山篤太郎発兌

二冊活版 19 cm（上）蔵版印1葉+例言2 + 目次5 + 692 p、（下）目次4 + 659 p

R 46 | R 47

△此書ハ牧畜家其人アリト知ラレタル英国「ローヤル」農業協会々員ウキルリアム、ユアット氏ノ原著ニシテ原名ヲ「コムプリート、グレーシア」ト云ヒ今訳シテ牧畜全書ト称ス 一千八百七十七年スコットボールン氏ノ出版スル処ナリ……出版スルコト茲ニ十有二回毎回多少ノ増補訂正ヲ加ヘ以テ今日ニ至レリ 蓋シ農ノ業タル日進月歩ノ者タレバナリ▽（例言）

A

⑩7 採卵
需肉養鶏新法 米ストッタアド著 永井要一郎訳 (六月) 東京 穴山篤太郎(有隣堂) 発行

活版 18 cm 目次 6 + 124 p

R 48
1

△現時我邦に在て殖産興業の勉むべきもの改良進歩の図るべきもの頗る多しと雖も就中吾人が最も急務となすべきの業は即ち牧畜なり……依て現今泰西諸国就中米国に専ら行はるゝストッタアド氏採卵養鶏書及其他の養鶏の諸法と従来我国の実験家が認めて以て善とする処の飼養方法とを併せ更に予が数年来実地経験する処とに就き……実業に最も適切なる産卵肉用鶏飼育の良法のみを網羅し順序を逐て編輯し普く家禽の繁殖を図り以て獣肉の欠乏を補助し且養鶏家に裨益あらしめんとす 之れ即ち此書を編纂抄訳せる要旨なり▽(総論)

【明治23年】

A

⑩8 養兔全書 英テラマ著 本間小左衛門訳述 (七月) 東京 穴山篤太郎(有隣堂) 発行

活版 18 cm 序 2 + 目録 3 + 154 p

R 48
78

G

【明治26年】

⑩9 富国全書
实用養鶏法 英ライト著 森内富司訳述 岡田鴻三郎校閲 (五月) 大阪 青木恒三郎発行

活版 19 cm 題字(棚橋衝平) 3 + 目次 2 + 第二十刊原序(一八八五年) 3 + 自序 2 + 緒言 2 +

218 p 挿図 3 葉

R 48
162

△本原ハ英国有名ノ養禽家エル、ライト氏ノ原著「ジ、プラクチカル、ポールトライ、キーパ

「」ヲ訳セシモノニシテ仮リニ之ヲ实用養鶏法ト名ク▽
 △余ハ此書ヲ訳スルニ当リ専ラ同氏ノ著、家禽図説（原名「ジ、イルスレーテッド、ブック、オフ、ポールトライ」）ヲ参考トセリ▽
 （緒言）

⑩ 牧馬報告書 仏リシヤール著 陸軍乗馬学校翻訳（九月）東京 柴田源三郎発行

活版 19 cm 序1 + 目次5 + 392 p 表2葉

△本原書ハ仏国ニ於テ有名ナル農事家リシヤール氏ノ著述ニシテ陸軍騎兵少佐秋山好吉ノ所蔵ナリ 今之ヲ翻訳シテ馬事ニ従事スルモノ、参考ニ供スト云爾▽（序）

林業

【明治11年】

⑪ 樹芸簡要 仏ヴィダル著 小出拙蔵訳（十二月序）

銅版 19 cm 凡例2 + 緒言・目次6 + 57 p

△此書、仏国官林大監守ヴィダル氏ノ著ニシテ千八百六十一年ノ刊行原名「アグリキュルチュル、ホレスチェル」ト題スル書ヲ訳スル者ナリ▽（凡例）

【明治12年】

⑫ 一国山林経済学 独フイッシュェバフ著 首藤諒訳（七月）山林局蔵 東京 中溝熊象（圭文堂）発兌

活版 18 cm 凡例 1 + 緒言 1 + 53 p

△此書ハ独乙山林学士「カル、フィッシュバフ」氏ノ原著ナル樹林学講義ノ附録ニシテ林政上必需ノ書籍ナルヲ以大分県土族首藤諒ヲシテ之ヲ訳セシム△此篇ノ三百三十一章ニ起ルモノハ本篇樹林学講義が章次ヲ継続スルヲ以ナリ▽(凡例) ↓ ⑪④

【明治14年】

⑪③ 森林保護要略 仏ウイダル著 和田順吉訳 (二月) 内務省山林局出版

活版 18 cm 凡例 1 + 原文緒言 2 + 小引 37 + 序文 4 + 目次 3 + 335 p

△此書ハ「ギード、プラチック、ア、リュザージュ、ガルド、フラレスチュー」ト題ス 因テ意訳シテ森林保護要略トス 即チ仏国旧森林監守長ウイダル氏ノ原撰ニシテ専ラ森林監守人ノ為メニ其識得ス可キ森林学ノ要旨ト其職務ノ概略トヲ挙ケタルモノナリ 其刊行ハ千八百六十一年ニ係レリ▽(凡例)

⑪④ 樹林学講義 独フィッシュバフ著 首藤諒訳述 (二月)十一月) 農商務省山林局出版〔卷一の扉は

内務省山林局出版〕 東京 穴山篤太郎(有隣堂) 発兌

六編十三冊合本二冊 活版 17 cm 第一編 (一) 凡例 1 + 目録 3 + 81 p、(二) 目録 4 + 78 + 正誤表 4 p、第二編 (一) 133 p、(二) 143 p、第三編 (一) 目録 4 + 訂正公告 1 + 訂正表 39 + 120 p (121 ~ 123 p 欠)、(二) 目録 2 + 65 p、第四編 (一) 目録 3 + 正誤表 4 + 44 p、(二) 目録 3 + 45

p、第五編(一) 目録2 + 49 p、(二) 目録5 + 165 p 表1葉、第六編(一) 目録3 + 63 p、(二) 目録3 + 70 p、(三) 目録1 + 30 p

R 50 1 48 91 158 230 315 352 379 404 430 519 553 590

△此書原名ハフォオルスト、ヴィシエンシヤフト、訳シテ樹林学講義ト云フ 独逸人フィシユバフ氏ノ著述ニシテ一千八百七十年代スチュットガルド、ニ於テ刊行スル所ナリ▽(凡例)

【明治16年】

115 山林実務要訣 仏クリノン及ウアスロー著 陸実訳 (六月) 農商務省庶務局蔵版 東京 穴山篤

太郎(有隣堂)発兌

活版 18 cm 原叙6 + 例言3 + 目次5 + 238 p

R 49 268

△是書ハ原ト仏蘭西「セイヌ、エ、ロアーズ」郡ノ山林監護者ナル「クリノン」氏ノ著ス所ニ係リ原書名ハ「フォレスチアン、プラチシアン」即チ実地山林家ト称スル者ナリ 書中説ク所ハ山林事業ニ関スル実務ノ要領ニシテ皆ナ同氏ノ親ラ経験シタル所ヲ簡易ニ述ヘタルナリ▽△原著ハ分テ上下二篇ト為シ其上篇ニハ即チ同氏ノ所見ヲ載セ下篇ハ山林法律ニ関スル事ヲ略述シタル者ニシテ仏国控訴裁判所ノ代言師タル「ウアスロー」氏ノ筆スル所ニ係ル故ニ之ヲ訳スルニ当リ 右両氏ノ合著ト為ス▽(例言)

【明治19年】

A

116 松脂採取法 仏デスノワイエー著 松本収訳 (二月) 大日本山林会蔵版 東京 宮島信吉出版

活版 20 cm 目録・序 (藤田克三) 4 + 凡例 1 + 目次 5 + 99 p

目録——仏国海岸松樹脂採収説 (仏エム、クロワゼット、デスノワイエー著・松本収訳)、仏国
松脂採収法 (仏ブーケ、ド、ラ、クリー著・松本収訳)、黒松樹脂採収法 (カール、フィフシュ
バッハ著・志賀泰山抄訳)、亭国檜樹脂採収法 (フィフシュバッハ著・志賀泰山抄訳)、松脂採収
実験概況 (松本収)、松脂採収法附録 (武井守正)

△近來工業ノ改良進歩スルニ随ヒ建築造船器具其他供用スル所年ヲ追テ益広シ 我武井山林局長
客歲歐洲ニ於テ採収供用ノ盛ナル実況ヲ目撃アリテ曰ク彼邦概子土地瘦悪氣候寒冷ナルモ尚年々
斯ク巨額ノ收獲アリ 若シ我邦ニ於テ採収方法其宜ヲ得テ之ヲ施サハ樹林ニ害ヲ与フルナクシテ
将来一大巨利ヲ興シ之ヲ海外ニ輸出スルニ至ルモ敢テ難キニ非ルベシト 因テ仏独諸氏ノ採脂及
効用ノ諸説ヲ抄訳シテ上梓セシメ松脂採収法ト名ク (序)

△予澳國維也納府に在し日森林試験場掛「カル、ペーメルン」氏の按内に依テ「ウイー子ル」
「エスタード」の松樹洗伐試験林に於テ目撃せる概況を左に陳せん (附録)

【明治21年】

⑩ 歐洲森林報告 武井守正著 [九月、農商務省山林局]

活版 19 cm 凡例 2 + 目次 1 + 第一回復命 (仏国) 1 + 22 + 第二回復命 (伊太利国) 1 + 92 + 第

三回復命 (巴威里国) 1 + 20 + 第四回復命 (澳國) 1 + 33 + 第五回復命 (匈牙利国) 1 + 14 + 第

六回復命（李魯西国） 1 + 33 + 第七回復命（薩克撒^{サクソン}国） 1 + 31 + 第八回復命（仏国・白耳義国）

1 + 23 + 第九回（命復匈牙利国） 1 + 122 + 第十回復命（蘇国高蘭森林紀行・独乙国森林巡回記事）

1 + 30 p 挿図12葉

R 51-60 75 121 132 150 158 176 193 206 268

△蘇国老丁堡府万国森林博覧会事務結了ノ后欧洲実視ノ為メ仏、伊、澳、独、巡回ノ下命ヲ奉シ即チ該会閉場後残務ヲ理シテ十一月初旬仏国巴里府ニ出テ夫ヨリモオールト県ナンシイ街森林高等学校及同所森林并ニボーシュ県ルミールモンノ山林ヲ巡覽セシ記事別冊欧洲巡回第一回報告トシ以テ之ヲ送呈ス▽（第一回復命、十七年十一月）

A

⑪⑩ 北米樹木誌略 独マイエル口授 田中壤筆記（月不記）大日本山林会報告附録

活版 21 cm 緒言2 + 46 p

R 51-299

△此書ハ現今東京農林学校教師ナル独逸バイエルン国ドクトル、ハインリヒ、マイエル氏明治十九年自国政府ノ命ニ依リ日本山林ヲ巡回セルニ際シ余農商務省ノ命ヲ奉シ同行セントキ同氏巡林ノ余暇米国サーヂェント氏著 The Woods of The United States 西曆一千八百八十五年紐育ニ於テ出版ト称スル書中ヨリ有名ナル樹林ヲ撰ヒ余ニ口授セシヲ筆記セシモノナリ 但本書題シテ北米樹木誌略ト称スレトモ主トシテ合衆国ノ地ニ繁生スル樹木ヲ掲載セリ▽（緒言）

A

Ⅲ 工業編

工業一般

【明治4年】

①19 英式運用全書 英子イル著 古川正雄訳 (春) 海軍兵学寮

十三冊木版 26 cm (一) 原序1 + 訳例1 + 目錄4 + 36丁、(二) 37丁、(三) 40丁、(四) 49丁、
(五) 44丁、(六) 41丁、(七) 30丁、(八) 41丁、(九) 43丁、(十) 68丁、(十一) 36丁、(十二)
38丁、(附図) 54丁

R 52 1 47 87 130 182 229 273 308 352 398 469 508 549

ハ夫レ軍艦尽ク蒸氣ノ力ヲ用ヒテ航海スレトモ運用術ノ用ハ少シモ衰フルコトナシ 然レトモ若
キ士官ノ実験ニ依テ博識ヲ得ヘキ好機會ハ大ニ失セタリ 此故ニ書上ニ於テ運用術ヲ学フコトハ
往日ヨリモ猶ホ肝要ナリ (原序)

C D E J

【明治5年】

①20 航海夜話 英ピッチングトン著 デルデン蘭訳 西江舎主人訳 (初秋) 東京 千山堂発兌

四冊木版 23 cm 初編(上) 原序2 + 凡例6 + 目録1 + 52丁、(下) 36丁、二編(上) 48丁、(下) 46丁

R 53-1 66 105 156

△原書ハ「ゲスプレッケン、ヤーフル、ヤルカー子ン」と名付け。「ヘンレイ、ピッツングトン」人「カルキユッタ」「ベンガラ」の一地英吉利私に属するものにおゐて。英吉利私語をもつて著ハシ。紀元千八百五十三
年和蘭におゐて。「ス、ハン、デルデン」人の訳する所にして。茲に重訳して航海夜話と題す▽

(凡例)

A C E F ©

【明治6年】

⑫① イリヤスオリカタ 織術工術 初編 米ビツキホード著 西村茂樹訳 (六月) 蜷川式胤蔵

活版 18 cm 叙(依田百川) 3 + 目録2 + 29丁

R 53 205

△洋製機器每一具副図解一冊而工人不通洋字故也 曾信州人石川康蕃来受工業常以為念頃者与中
村祐興蜷川式胤謀請西村庸斎訳以国字刻為二卷▽ (叙)

C E

⑫② 工作提要 初編 広瀬元周抄訳 (月不記) 京都府勸業場蔵版 京都 村上勘兵衛発兌
三冊 22 cm (一) 序(槇村正直) 2 + 弁言1 + 目次1 + 26丁、(二) 21丁、(三) 22丁

R 53 243 277 301

△此書原本ハ「テクノロジーセウォールデンプック」ト題ス 蓋シ百工技術製作韻譜ノ謂ナリ 其
載スル所ノ名称ABC二十六字ノ順序ヲ逐テ列次スト雖トモ之ニ係ハラズ今日工術製作ニ益アル

条下ニ就テ直ニ抄訳シ題シテ工作提要ト云フ(弁言)

【明治7年】

123 西洋免許法 一名發明者之遺杖 米ベイルド著 伊東祐愛訳述 (五月) 牧野吉兵衛(名山閣) 発佈

二冊木版 (上) 序(園田讓) 2十小引・凡例1十目錄5十39丁、(下) 31丁

△此書ハ紀元千八百六十年米國非拉特勒飛亞ノ顯利米拉士氏ノ著ハセシ者ナリ(凡例)

R 53
326
377
D F G

124 百工器械新書 英ホウエール著 宮崎柳條纂輯 (十一月) 東京 和泉屋善兵衛

二冊木版 (一) 例言2十目錄3十37丁、(二) 37丁

△英國人ホウエール氏ノ源著ニテ同國人カイゼヨセフ氏支那上海ニ於テ口訳セシ重字ト名ル書ヲ

本トシ其他数部ノ書ニ就テ切近有用ノ者ヲ纂輯シ題シテ百工器械新書ト名ケ以テ初学ノ便セント

欲ス(例言)

【明治9年】

125 西百工新書 宮崎柳條纂輯 (二月版權免許) 東京 牧野善兵衛版主

五冊木版 23 cm (前編) 跋1十目錄4十46丁、(後編) 目錄3十49丁、外編(一) 序例9十目錄

2十31丁、(二) 目錄2十37丁、(三) 目錄2十43丁

R 54
86
140
195
240
282

△夫泰西の学たるや、一も浮文浮華の事なく、皆世道に裨益ある事論を待ず 而して理、化二
学に於ては、素より其魁する者也、今や賢哲西書を翻訳し、亦た遠く教師を招待して以て此学を

講明し造化乃妙用をしる、晋く世人に知らしめ、以て知識を拓めんとす（跋）

⑫⑥ 百科全書 総目録は③⑥参照

『文部省出版書目』によると、『鉱物篇』明治九年十月、『給水浴深掘渠』九年十一月、『金類及鍊金術』九年十二月、『織工篇』十年二月、『蒸気機』『土工術』十年四月、『陶磁工篇』十一年一月、『陸運』十三年三月、『建築学』十四年三月刊行とあり。

(イ) 陶磁工篇（ピクタイル、マニユハクチュールス） 錦織精之進訳 久保吉人校

活版 18 cm 文部省印行印1枚＋目録2＋133＋正誤2＋百科全書篇名4 p

(ロ) 織工篇（テキスタイル、マニユハクチュールス） 梅浦精一訳 内村耿之介校

活版 18 cm 文部省印行印1枚＋目録2＋129＋百科全書篇名3 p

(ハ) 鉱物篇（ミーニング、ミネラルス） 鈴木良輔訳 清水世信校 「明治九年十月十八日文部省交

付」印

活版 18 cm 目録5＋148＋百科全書篇名3 p

(ニ) 金類及鍊金術（メタルス。メタルラルジー） 錦織精之進訳 清水世信校 「明治九年十二月二十

三日文部省交付」印

活版 18 cm 目録3＋138＋正誤2＋百科全書篇名3 p

(ホ) 蒸気篇（ゼ、スチームエンジン） 小林義直訳 内村耿之介・飯嶋半十郎校

R 55
154

R 55
73

R 55
1

R 54
330

I

I

活版 18 cm 目録1 + 101 + 正誤1 + 百科全書篇名3 p

R 55
231

(ハ) 土工術(シウヰル、インヂニールリグ) 大島貞益訳 内村耿之助・大井潤一校 「明治十年五月八日文部省交付」印

活版 18 cm 文部省印行印1枚 + 目録1 + 114 + 正誤1 + 百科全書篇名3 p

R 55
288

(ト) 陸運篇(インランド、コンベイランス) 塚本克己訳 飯嶋半十郎・百田重明校 「明治十三年十一月三日文部省交付」印

活版 18 cm 目録2 + 108 + 百科全書篇名3 p

R 55
352

(チ) 建築学(アーチテクシュール) 関藤成緒訳 秋月胤永校 「明治十六年五月十五日文部省交付」印

活版 18 cm 文部省印行印1枚 + 目録2 + 105 + 正誤1 + 百科全書総目録3 p

R 56
1

(リ) 給水浴澡掘渠篇(シャップレー、オフ、ウオートル。バス。ドレーネーヂ) 河村重固訳 清水世信校

活版 18 cm 文部省印行印1枚 + 目録2 + 114 p + 正誤1 + 百科全書篇名3 p

R 56
62

【明治10年】

⑫ 百工製作新書 宮崎柳條纂訳 (五月) 東京 牧野善兵衛出版 清風閣蔵版

三冊木版 23 cm (一) 序例3 + 標目1 + 42丁、(二) 目録1 + 13丁、(三) 目録・附言2 + 48丁

△予浅学寡分自ら揣ず。英人韋而□□□著の化学鑑原中。製作上裨益なる者を抄訳し。傍ら数部の理科書器械書中。物産工芸に関渉する者を抜萃登録し。此篇を纂輯し題して百工製作新書と名け。以て工匠家に便じ……▽（序例）

⑫8 日本油田地質測量書 米ライマン著（八月）工部省刊

活版 20 cm 79 + 附録 12 p

△地質学士兼鉦山士長辺、司、来曼氏日本油田地質測量第一年新抄報文 呈内務卿大久保利通閣下 一八七七年一月三十一日▽△附録 地質学士兼鉦山士長辺、司、来曼氏一千八百七十六年信濃越後之温泉鉦泉実験報文 呈工部卿伊藤博文閣下 一八七七年三月二十四日▽

⑫9 石田為武筆録 英国ドクトルドレッセル同行報告書 高銃一校定（十月）

活版 24 cm 首言 3 + 目錄 5 + 65 + 正誤表 1 丁

△英国倫敦府「ドクトル」「ドレッセル」氏ハ同国ソウスケンシングトン博物館長「フヒリップ」「ラーベン」氏ヨリ我博物館ニ寄贈スル所ノ物品ヲ携帯シ米國博覧会ニ至リ遂ニ東洋ヲ航シ初テ東京ニ来リ広ク日本内地ノ工場ヲ巡歴シ詳ニ該地物産ノ良否ヲ究メ及ヒ家屋建築ノ主要ヲ察セント欲シ之ヲ内務省ニ請願ス 同省依テ之ヲ許可セリ 然シテ雇員坂田春雄ハ往年英国博覧会ニ於テ同氏ト旧識アルヲ以テ之ニ通弁翻訳ノ事務ヲ命シ之ニ兼ヌルニ鄙生ハ内地物産ニ就テ同氏見ル

所ノ説ヲ伝ヘテ具サニ報告書ヲ作ル可キノ命ヲ蒙リタリ 故ニ同氏ノ巡廻ヲナスヤ毎ニ同行セリ
ノ「ドレッセル」氏ハ明治九年十二月ヲ以テ横浜ニ渡航シ今茲十年四月ヲ以テ帰途ニ就ク（首言）

【明治12年】

130

開拓使顧問ホラシ、ケプロン報文 外事課訳（二月）開拓使刊行

活版 19 cm 目次6 + 緒言6 + 本文一三四七十正誤7 p 表7枚

ハ余爰ニ恭シク下載ノ文書ヲ閣下「開拓長官黒田清隆」ノ参考ニ供ス 是則チ千八百七十一年余
ガ職ニ開拓使ニ就キシ以来本使ニ現出シタル事業ノ要略ヲ示スモノナリノ時々閣下ニ呈シタル報
文其他ノ書類ニハ往々大部ノモノモアリ 今悉ク之ヲ上梓スルニハ紙数限リアルヲ以テ不得巳唯
其中ノ至要ナルモノヲ取り尚ホ且多クハ摘要抜萃ヲ以テ之ヲ世ニ公ニセザル可ラザルニ至レリ
然レトモ世上ノ読者ヲシテ是迄ニ施行サレタル事業ノ確実ナル旨趣ヲ会得セシムル為メ本使挙措
ノ大体ト且其細目ノ要略ヲ示スニハ是ヲ以テ足レリトスヘキハ疑ヲ容レザル所ナリ（緒言）

○一八七一年十一月二十日 地質兼鉦山学師ウキルリアム、ピ、ブレーキ報文摘要

○一八七二年一月五日 蝦夷島内「騎馬」巡見見聞ニ付エ、ジ、ワルフヒールド報文

○一八七二年一月二日 北海道開拓及ビ移民ノ件ニ付ホラシ、ケプロン報文

○一八七二年及三年「ケプロン」書信ノ抄略

七二年七月八日 函館ヨリ黒田鎮台ニ呈セル書信ノ抄略「大野川通船ノ事ニ付テ」

R 57 | 1

K

R 57 | 9

R 57 | 28

R 57 | 48

R 57 | 61

七二年七月二十二日 札幌ヨリノ書信抄略〔風土ノ觀察ニ付テ〕

七三年七月十五日 前同〔道路・水路ニ付テ〕

七三年七月十八日 前同〔煤田ニ於ケルライマン氏ノ事業ニ付テ〕

七三年七月二十五日 前同〔近傍ノ耕作地ニ付テ〕

七三年八月六日 札幌ヨリ副鎮台田中君ニ差出シ書面ノ写

〔イ〕七月二十九日 木材ニ付テ 〔ロ〕七月三十日 食料等ノ高価ニ付テ 〔ハ〕八月一日 材木

經費ニ付テ 〔ニ〕八月二日 材木伐出ノ賃金ニ付テ〕

○一八七三年九月三日 〔北海道ノ礦山并ニ其開採ニ付テ〕

○一八七三年九月六日 〔来曼氏ト札幌ヲ発シ札幌管内ナル石狩川以北ヨリ西海岸ニ沿ヒ南岩内

ノ石炭坑ニ至ル巡回報告〔八月十八日〜三十一日〕〕

○一八七三年九月二十二日 〔北海道ノ食物及教育ニ付テ〕

○一八七三年八月十三日 〔移民ノ二大要件ニ付テ〕

○一八七三年十二月十三日 〔水運ニ付テ〕

○一八七三年十一月一日 〔北海道開拓事業ノ概要ノ提言ニ付テ〕

○一八七三年十二月二十五日 来曼氏地質測量初期報文

○一八七四年四月二十二日 〔地質兼鉦山士補助ヘンリー、エス〕モンロー氏北海道煤炭報文

R 57 | 160

R 57 | 117

R 57 | 106

R 57 | 101

R 57 | 96

R 57 | 92

R 57 | 88

R 57 | 85

R 57 | 74

R 57 | 71

R 57 | 69

R 57 | 65

R 57 | 62

○一八七四年四月二十一日 聯邦海軍大尉〔モルレー、エス〕デイ石狩川測量報文 R 57 191

○一八七四年三月三十日 〔開拓使測量長ゼームス、アル〕ワスソン北海道初期測量報文摘要 R 57 198

○七十四年通信〔黒田清隆、ケプロン往復通信〕 R 57 209

○一八七四年十二月十日 デイ北海道三角測量報文 R 57 254

○一八七四年十二月二十四日 ルイス、ベーマル氏北海道本草採集報文 R 57 270

○来曼氏北海道記事 R 57 296 314 · R 58 1 41

〔イ〕東京ヨリ函館及ヒ札幌ヲ經テ鴨居古丹ニ至ル (五月十八日〜七月十日) 〔ロ〕鴨居古丹ヨ

リ山越シ「オホツナイ」ニ至ル (七月十二日〜八月二日) 〔ハ〕オホツナイヨリ広尾及ヒ根

室ニ至ル (八月三日〜二十八日) 〔ニ〕根室ヨリ宗谷及ヒ函館通リ東京迄 (八月三十一日〜

十一月十四日)〕

○矯龍氏七十五年通信 (一月二十四日〜三月二十日、ケプロンより黒田鎮台へ四通) R 58 178

〔イ〕北海道漁業ノ見込 〔ロ〕北海道ノ鹿類保存蕃殖 〔ハ〕北海道ノ氣候及ヒ物産 〔ニ〕外国資本

及ヒ作為ヲ以テノ北地開拓〕

○一八七五年四月十七日 来曼氏北海道山越内石油地方略測報文 R 58 206

○一八七五年四月二十六日 来曼氏北海道泉沢石油地方略測報文 R 58 219

○一八七五年四月二十九日 来曼氏鷲ノ木石油地方略測報文 R 58 227

○一八七五年五月四日 来曼氏地質測量報文并殆ト成功セル製図ノ概略

○矯龍氏七十五年四月三十日通信

○一八七五年五月十日 モンロー著北海道金田地方報文

○御雇教師頭取「ケブロン」ノ跋文

○勅語

⑬① 日本鉱山編 独子ットウ著 今井巖・安東清人訳 寺内章明刪潤（十二月緒言）

活版 27 cm 彩色口絵〔鎌石・生野・佐渡・大葛・小坂・高島の鉱業地風景、石版〕1枚十度量

比例表1十目錄4十緒言2十95十図解5 p 図6葉

△此編元と独乙人建る所の東亜風土博物講究社にて余の演述せるものなるを同社尋て之を印刷公刊しけるが原文独乙語なるを以て広く世界に通ぜざるの不便あり 因て其由を東京大学三学部綜理加藤弘之君綜理補浜尾新君に申請せしに二君幸に余の素志を曠うせず丁寧意を加へて之を日本英吉利二国の語に翻訳せしむ 余の深く感荷する所なり▽（緒言）

『文部省出版書目』によれば「東京大学法理文学部 十三年七月刊」とあり

【明治13年】

⑬② 百工業新書 百工新書附録 宮崎柳條纂輯（三月）東京 牧野善兵衛出版

二冊木版 23 cm（一）序例5十目錄3十39丁、（二）目錄2十42丁

△嚮に百工新書製作新書等を著し。専ら工芸家。考案の資に供せり。今茲亦新に草を起し。西洋
晚今發明する所の簡易的切にして世用に至便なる諸法を拔萃し。昧者開知の一端に供し。題して
百科工業新書と云ふ▽(序)

【明治14年】

⑬③ 東京府下水試験説 英アトキンソン著 久原躬弦・宮崎道正訳 (七月贈付印)

活版 20 cm 脱正誤表 1枚 + 23 + 附表 4 p

△夫レ大都府ノ用水ニ於ケル人々ノ健康福祉ヲ全ウスルニ一大最要タルハ一般公衆ノ認ムル所ニ
シテ方今衛生ノ責任ニ居ル者ハ勿論其他ノ人民ニ在テモ孜孜々注意スル所ナリ 蓋シ人間百病ノ発
生スル所以多クハ飲料ノ汚水ニ根セサルナシ▽(本文)

Robert William Atkinson, *The Water Supply of Tokio.* (Transactions of the Asiatic Society
of Japan, Vol. 6, 1878). 『文部省出版書目』によると「東京大学法理文学部 十二年刊」

⑬④ 東京府下井水分析説 久原躬弦述 (七月贈付印)

活版 20 cm 10 + 附表 2 p

△理学部教授アトキンソン氏カ其生徒諸子ニ囑シ府下ノ用水ヲ分析精査セシメ之ニ化学衛生学ニ
関スル考按ヲ附シ其細表ヲ製シテ世ニ公ニシタルハ実ニ客年ニアリ 然レトモ該時ノ分析タル多
クハ神田玉川ノ両上水ニ係リ井水ニ於テハ僅々ニ過キス▽(本文)

『文部省出版書目』によれば「東京大学法理文学部 十二年刊」とあり

⑬ 広益農工全書 宮崎柳條編纂 (十一月序) 東京 牧野善兵衛出版

五冊木版 23 cm (一) 題字 (品川弥二郎) 2 + 序 (金子精一) 2 + 序例 3 + 目録 4 + 37 丁、(二)

58 丁、(三) 46 丁、(四) 56 丁、(五) 51 丁

R 59—188
240
301
350
409

卷一植液類 (漆、蠟、油)、卷二植液類 (砂糖)、卷三醸造類 (酒、醬油)・染料類、卷四澱粉類・

纖維類 (漉紙、織布)、卷五纖維類 (綿)

△情宇内ノ変革ヲ見ルニ往時専ラ他邦ヲ覬覦シ兵力干戈ヲ以テ鬪争奪掠ヲ事トス 現今即チ否ラズ陽ニ和親交際ヲ厚フシ陰ニ物産ヲ増殖シテ貿易ノ利権ヲ奪ヒ以テ他邦ヲ圧倒セントス 是ニ於テ欧米各国ノ人民専ラ力ヲ農工ノ業ニ尽シ化学ニ依テ法ヲ創メ器械ニ藉テ力ヲ省キ物貨ヲシテ至廉ナラシム 故ニ我固有ノ国産之ガ為ニ価格或ハ其権衝ヲ失ヒ逐日衰態ニ趣キ却テ給ヲ外入ニ仰グ者亦稀ナカラズ豈慨歎ニ堪ユベケンヤ 我政府夙ニ見ル所アツテ屢内国勸業博覧会及ビ各種ノ共進会ヲ設ケ専ラ農工ヲ將励シ以テ国産ヲ富シメ外入ニ対較セントス (序例)

【明治17年】

⑭ 涅氏冶金学 独子ト一口授 河野鯨雄・渡辺渡筆記 野呂景義校補 寺内章明校 (六月) 文部

省編輯局蔵板

二冊活版 19 cm (上) 緒言 (野呂景義) 2 + 目次 31 + 804 + 正誤 4 p、(附图) 145 p + 表 1 葉

△本書ハ東京大学教師独逸人クルット、子ットー氏ガ数年来其理学部採鉱冶金学科学生ニ講義スル所ノ者ヲ筆記セルニ係レリ 当初理学士渡辺渡、河野鯨雄、原田一三ノ専ラ従事セシ所ナリシモ稿未タ成ルニ及バズシテ河野岡田ノ両氏ハ職ヲ地方ニ奉ジ渡辺氏亦尋テ独逸国ニ留学シ余乃チ文部省ノ命ヲ奉ジ繼テ補校ニ着手シ拮据年ヲ踰エテ方ニ漸ク稿ヲ脱スルニ至レリ 只惜ラクハ三氏ノ初案或ハ余ト異ナル所アリテ余ノ補校スル所或ハ三氏ノ意ニ副ハザル所アランノ此書固ヨリ普通金属ノ冶金諸法ヲ論載シ就中我国産ニ係ル各金属ノ冶金法ハ詳備遺サズ 加フルニ内外各国冶金場ノ例ヲ挙ゲ附スルニ数多ノ図画ヲ以テスノ本書全部ヲ分チテ上下二冊トシ即上冊ハ普通冶金学並ニ鉛及銅ノ冶金法ヲ説キ下冊ハ其他ノ諸金属ノ冶金学ヲ論スル者ナリ▽(緒言)

【明治18年】

⑬⑦

解訓

電気論 仏ベレース及モンベル著 中神保鈔訳 (三月、初版四年初冬) 東京 丸家善七出版

木版 18 cm 凡例1十目錄1十31十広告1丁

△原書ハ仏蘭西板にして即ハちベレース氏及びブー、ド、モンベル氏の著したる何れも究理書ヨリ鈔訳せしなり▽(凡例)

△越歴久登里止低とは。希臘と云ふ国のエレクトロンと云ふ語より来たる物にて是を我國の語に訳せば。黄琥珀と云ふ。儀なり 素と此力を初て黄琥珀より。見出せし故に如此名つけしと見

ゆ 支那人是を自国語に訳して電気と云ふ▽(本文)

明治四年辛未年初冬、宝集堂主人識の広告「電気論続集」あり

【明治19年】

⑬⑧ 泰西理財精蘊 工業之部 仏ブロック著 岳総治訳述 久米邦武校補 (二月) 東京 松尾儀助出

版 博聞本社発売

活版 18 cm 序(久米邦武) 12 + 例言 5 + 目錄 10 + 520 + 正誤 4 p

△原書ハ、西曆一千八百七十五年刊行、仏国碩学「モーリス、ブロック」氏撰第二板統計書ニカ
 ル〔スタチスチック・ド・ラ・フランス・コンパレー・アベック・ジブエルペイ・ド・ルウロップ—
 編者〕、原書ハ、仏国ノ政治經濟全体ノ事項ヲ備挙シ、卷帙浩瀚ノ著作ナリ、今其中ヨリ工商農
 ノ三編ヲ訳ス▽△是書分ツテ上下二卷トシ、上卷ニ工業部一編ヲ載セ、下卷ニ商業部農業部ヲ
 載ス▽(例言)

△余此書ヲ訳スルニ臨ミ、久米邦武君ニ面晤ス、君往年全權大使ニ從フテ巴里ニ至リ、「ブロッ
 ク」氏ヲ訪フテ、其方ニ此書ヲ著スニ会シ、面前其談ヲ聴ケリ、因テ我為メニ校正ノ力ヲ添ソコ
 トヲ諾セラレ、共ニ拮据此業ヲ成スヲ得タリ▽(例言)

【明治20年】

⑬⑨ 智識 進歩 工芸技術全書 一名民間至宝 前川太郎編輯 大木月峰校閱 (二月再版、初版十九年十一月)

京都 大谷仁兵郎・山中勘次郎・清水幾之助出版

活版 19 cm 題字 (桜洲山人、習軒学人) 2 + 目次 23 + 143 p

『出版書目月報』108号に「ボック、ハイスティール、ランドルフ三氏原著」とあり

⑭ 米欧 發明製造全書 独ゾイベルト著 ドーマン・スチール訳 橋永定質抄訳 海老名文橋・川井栖壺

校閲 (五月) 京都 中村浅吉 (風祥堂)・河井卯之助 (文港堂) 出版

活版 19 cm 題字 (本郷準) 2 + 凡例 3 + 目錄 10 + 81 p

原著ハ独逸国カル、スルーへ府の百工学校理学部化学博士モーリツ、ゾイベルト氏著にして米
国ニユウヨルクチカゴにて刊行したる書にして輒近欧米各国ともに賞賛して大中学校に行はれ
たる「ノメンクラチュア」芸術全書をハ予輩が特に本書を訳刊し本邦の工芸技術家便を与へしと
企望する所以なり (凡例)

A Complete [Me……] of Natural Manufacture by Nomenclature.

⑮ 工作必要 第二・第三編片山新三郎抄訳兼出版 (十二月) 東京 松井忠兵衛発兌

活版 18 cm 目次 8 + 214 p (119 120 p 破損)

【明治21年】

⑯ 専売特許方針 英バーロー著 井上敏雄纂訳 (六月) 東京 長尾景弼発行 博聞社発兌

活版 19 cm 自序 6 + 緒言 (バーロー) 2 + 137 + 正誤表 1

Ⅲ 工業編

九七

R 61
320

A

R 62
1

A ㊦ 内

A

R 62
54

R 62
166

- ①43 工場用具論 英シェレー著 山田要吉訳 (七月) 文部省編輯局版權所有
- △抑原著ハ英人チャールズ、バーロー氏西曆一千八百六十九年ノ発兌ニ係ルハウ、ツー、メーク、モ子ー、バイ、パテント、ト題セル頗著名ノ良書ニシテ専売特許ノ功益ヲ論スル▽(自序)

活版 20 cm 原序5 + 細目4 + 322 + 正誤表・奥付3 p

R 62
244

A

△此工場要具論ハ、既ニ第六版マデ、広ク海ノ内外ニ行ハレ、今又、其改版ノ発兌ヲ望ムモノ、切ニ多キヲ加フルニ至リ、遂ニ著者ノ意ヲ促ガシテ、復ビ本書全篇ノ修改校訂ニ従事セシムルコトトハナリヌ▽(原序)

A

- ①44 ワグ子ルノ工業ノ方針 (十月) 農商務省出版

活版 18 cm 序1 + 井上農商務大臣ノ談話18 + 85 p

R 63
1

△井上農商務大臣ハ明治二十一年十月二十五日京都府ニ開設セル関西二府十五県聯合共進会褒賞授与式ニ臨マレ其翌日在府出品人ヲ智恩院ニ招キ農商工業ノ事ヲ談話セラレ又大臣ニ同行シタルドクトルワグ子ル氏モ工業ノ方針ヲ演説セリ 因テ当業者ノ参考ニ供スル所アラント欲シ之ヲ印刷シテ以テ騰写ノ勞ニ代フ▽(序、大臣随員)

A

【明治22年】

- ①45 電話必携 米ロックウード著 加藤木重教訳補 山川義太郎校閲 (五月) 東京 青山安保発行

活版 19 cm 図2葉 + 自叙3 + 目次2 + 98 + 附録「日本電話機の由来」21 + 正誤1 p

R 63
57

△余ヤ明治七年以来身ヲ電信事業ニ委ヌレトモ其理ノ深遠ナル其術ノ微妙ナル未タ悉ク其蘊奥ヲ
尽ス能ハス 蓋シ之ヲ考窮スルノ時機未タ到ラザリシニ由ルナリ 斯クテ月ヲ累子歳ヲ積ミ同十
六年ニ至リ始メテ文明ノ利器ニ接スルヲ得タリ 即チ電話機テレホン是レナリ 爾来今日ニ至ルマテ躬自
ラ東西ヲ奔走シテ広ク四方ニ散在スル数十百ノ電話機ヲ実檢シ以テ研究ノ材料ニ供セリ 然レト
モ猶且満足スル能ハスシテ常ニ西字學術新誌ヲ讀ミ探討ニ怠タラサリシモ其記スル所一トシテ完
全セルモノアルコトナク纔ニ其一斑ヲ窺フノミ 是ヲ以テ始終隔靴搔癢ノ感ナキ能ハス 其後世
ノ進歩ト共ニ益々電話機ノ必要ヲ来シ從テ改良スヘキモノ愈々其多キヲ加フニ因テ現ニ海外ニ留
学スルモノ或ハ既ニ帰朝セシモノニ就テ之ヲ質スモ専門ノ攻業者少ナク其報スル所概子唯タ耳目
ニ感スルモノニ止リ我企望ヲ達スル能ハス 疑團百結之ヲ解クニ苦ムノ際偶ロックウード氏著
(千八百八十六年) ス所ノ Practical Information for Telephonists ト題スル書ヲ獲タリ 開卷
一読殆ド身彼地ニ至リ実地家ニ質問スルノ思アリ√(自叙)

【明治23年】

⑭ 工手製作法 第一冊 英ホールツアプフェル著 山田要吉訳・発行 (十月)東京 丸善商社書店発売

活版 20 cm 凡例2十細目7十310 p十正誤表1葉

△本書ハ英人「チャーレス、ホールツアプフェル」氏ノ著ニ係ハル「タアーニング、エンド、メ
カニカル、マニピュレーション」(即ち轆轤細工及ヒ器機的手工ノ義ナリ) ト題スル書(全部六

大冊ヨリ成ル) 中専ラ手工ニ関スル部分即チ第一巻ヲ訳シタルモノナリ▽△今本書ニハ殊ニ世上ノ需望ニ從ヒ先ヅ金属ノ部ヨリ訳出シ夫レヨリ漸次ニ植物、動物、及ビ礦物篇ニ及ボシ以テ全部ヲ分チテ五冊トナス▽ (凡例)

【明治24年】

①47 ラムネンジンジャエール 製法図 英ブッシュ処方 川原田英太郎訳 (四月) 東京 長谷川武次郎 (長谷川商店) 発行

活版 19 cm 舌代3十附ブッシュ商会製造発売原料目録10 p

R 63-296

扉 (Recipes for the manufacture of Aerated Waters &c. by Baron de Bush, F. C. S., F. S.

S., &c. W. J. Bush & Co. London.)

A 内

①48 袖懷 技師必携 英モールスウォース著 高山義衛・梶田謹策訳・発行 (七月) 神戸 謹衛堂発行

活版 9×18 cm 自序(モールスウォース) 4十序(松田宗則) 1十緒言3十60 p

R 63-309

△此編原文ハ英国ギルフォード、エル、モールスウォース氏ノポケットブック、オフ、インジニ
ーリング、フォーミラート、名クル千八百八十九年ノ出版ニ係ル▽ (緒言)

N

①49 棉糸紡績全書 英マースデン著 宮川順蔵訳・発行 山辺丈夫関 (十月、(二)十二月、(三)二十五年

四月、(四)二十七年四月) 大阪 大日本棉糸紡績同業聯合会蔵版 大阪国文社・梅原亀七発売

四冊合本 活版 19 cm 序(岡田令高) 4十自序4十凡例2十目録7十173 p

R 63-349
394
427
444

△原著ハ英国蔓^{マンチエスター} 府発行の紡織^{テキスタイルマンウフ} 雜誌^{ジャーナル} 記者リツチャード、マースデン氏著 Cotton Spinning と題する千八百八十六年龍動府出版に係る者なり▽△本邦未だ曾て洋式紡績術を説く所の書あることなし 夙に英国に遊び専ら紡績術を研究し帰朝後大阪紡績会社に従事し今尚ほ工務責任者なる山辺丈夫氏ハ予に示すに此書の有要なるを以てす 恰も紡績月報発刊に際し之を翻訳して掲載せば本邦紡績業に従事して洋書を解説し能はざるものゝ便利なる可きを信じ▽（凡例）

△古人曰く尽ク書ヲ信スレハ書ナキニ如スト此言ヤ往昔東洋諸国ニ於テ空理ヲ説キ空論ヲ喜フノ時ニ在テハ或ハ然ラン 然レトモ世道漸ク開ケ事物成果ヲ期スルノ時ニ及テハ学理實際相俟サルヘカラス 私カニ案スルニ古来東西ノ学問ニ大別アリ 東洋ハ学者先ツ己レノ意思想像ヲ画キ之ヲ以テ世道人事ヲ支配セントスルカ如ク 西洋ハ事ニ触レ物ニ応シテ其理ヲ究メ経験ヲ記録シテ後人ノ便ニ供セントスルカ如シ 是レ東洋ノ学問ハ修身、政治、歴史等多クハ梗概雜駁ニシテ西洋ハ疏解精粹専門ノ学科アル所以ナラン 然リ而シテ西洋ノ諸学科ニ就キ猶細ニ其種類ヲ區別セシニ法政文哲ノ諸科ノ如キハ理ヨリ理ニ入り愈高遠ニ上テ際涯アルコトナカルヘシト雖トモ工理医化ノ如キ諸科ニ至テハ事ニ当テ其果ヲ主トスレハ特ニ学理ト経験トヲ一致ナラシメ其成蹟ヲ挙クルヲ目的トスルニ在ヘシ 輒近我カ日本ハ西洋ノ学問事物ヲ採用シ其進化ノ速ナル実ニ内外人ヲシテ驚歎セシムルニ足ル 就中綿糸紡績業ノ如キハ明治十三年ノ頃ニ於テハ僅ニ三万錘内外ナリシニ明治二十年前後ニ至リ新設増錘突如トシテ起リ数年間ヲ出スシテ十倍以上ノ錘数ニ達

スV(序)

【明治25年】

- ⑮ 実地石油編 上巻 米クリュー著 小村小一郎訳補・発行 下山順一郎閱 (八月) 長岡 覚張治
平発兌

活版 19 cm 緒言3十目次1十112 p 図4葉

R 64
1

△本書纂訳ノ所以ハ本邦ニハ各処ニ石油産出地アリ 又タ近来石油製造所ノ設立増々多シト雖モ未タ石油業者及ヒ製造家ノ進歩完タカサル如ク加之本邦之ニ関スルノ書籍甚タ乏シキヲ以テ其缺ノ幾分ヲ補ハン為メナリ 本書ハ千八百八十七年米国費府印行クリュー氏著ス「プラクチカル、トリーチス、オン、ペトロレユム」ヲ其本トシ其要ヲ抜キ猶ホ「ダナ氏地質学及ヒ礦物学アルレン氏商品化学分析法」「ワグネル氏工業化学其他二三ノ化学書及ヒ恩師下山氏講説ヲ参照シ殊ニ製造試験ノ条ニハ多少訳者カ実験上ノ意見ヲ加ヘ専ラ本邦現今ノ状況ニ適セシメンコトヲ務メタリノ本書上巻ニハ主トシテ石油発現採取等ノ状及ヒ石油ノ普通成分ヲ論シ後巻ニハ専ラ石油及ヒ副産諸物ノ実地製出法応用法燈用適否ノ試験法等ヲ詳細ニ記シ石油製造家及ヒ該業関係者等ノ実地指導ヲ旨トスレトモ又タ普ク世上ノ工芸家起業家ノ参考ニ供セントスV(緒言)

【明治26年】

- ⑯ 工場營業法 英スミス著 富森篤訳纂・発行 (九月) 東京 丸善株式会社書店・大阪 丸善書店

A

A

売捌

活版 23 cm 序 2 + 141 p

R 64-67

△本書ハ工場管理法ト題スル英人フヒリテリック、スミス氏ノ原著ニ係リ主トシテ工業場ノ管理
経済傭主職工ノ關係及其職分等ヲ記シ畢竟多年ノ実歴経験ニ徴シタル日常業務ノ方法ヲ示スニ過
キス▽(序)

【明治27年】

⑮

電気世界 一名日用電気使用法 米ブラケット他著 渋江保訳 (四月) 東京 野口竹次郎編集

兼発行 博文館發兌

活版 19 cm 通俗教育全書全部百卷完成之辞 1 + 小引 2 + 目次 5 + 203 + 百卷目錄 32 p

R 64-144

△本書は、西曆一千八百九十一年^{我が明治二十四年}合衆国新約克府の發兌に掛れる『日用電気』(Electricity
in Daily Life) 一名『電気応用法俗解』(A Popular Account of Electricity to Every Day
Uses) を翻訳したるものなり▽(小引)

△而シテ全卷を十章に分ち第一章『实用電気』はプリンストン大学の教授ブラケット氏の筆に
成り、第二章『起電気及び其応用』は電気学会の前会長ポー氏の筆に成り、第三章『今日の電
気鉄道』は新約克刊行『電気機』と題する雑誌の発行者ウェズラー氏ノ筆に成り、第四章『電
燈』は芸学会の会長モートン氏の筆に成り、第五章『今日の電信機』は西部電信会社の主事兼顧

III 工業編

1011

A

問バッキンガム氏の筆に成り、第六章『海底電線』は新約克なる中央電話会社の技師ウェブ氏の筆に成り、第七章『海軍用電気』は合衆国海軍中佐ヒュー氏の筆に成り、第八章『陸軍用電気』は合衆国工兵隊大佐ミリスの筆に成り、第九章『家内用電気』はエヂソン工作場の電気機械師ケ子リー氏の筆に成り、第十章『人身応用電気』は新約克なる内外科医学校神経病学教授スター氏の筆に成れり✓(小引)

「通信教育全書」全百巻中、渋江保の著訳書を目録より一覽する〔数字は全書の巻数〕。

- 21 初等教育 小論理書 22 初等教育 小心理書 23 初等教育 小天文学 25 初等教育 小倫理書 28 初等教育 小地質学 30 普通教育学 36 簡易体操法 39 代数一千題(英スミス著) 40 幾何一千題(英ウキルソン著) 47 簡易手工学 48 49 算術五千題 56 希臘羅馬文学史 57 独仏文学史 58 英国文学史 72 処生活法(英マツシユース著) 73 処世方針 幸福要訳(英ジョン、ラボック著) 74 福之神(英ブラット著) 78 通俗教育演説 81 雄辯法 89 社会学 91 哲学大意 95 96 歴史研究法(ヘーゲル著) 97 人類学(ウキルソン著) 100 電気世界 —— 以上、二十六冊。

△しかし最も大いに精力を費したものは、書肆博文館のためにする著作翻訳で、その刊行する所の書が、通計約百五十部の多きに至つてゐる。其書は随時世人を啓発した功はあるにしても、概皆時尚を追ふ書估の誅求に応じて筆を走らせたものである。保さんの精力は徒費せられたと謂わざることを得ない。そして保さんは自らこれを知つてゐる。畢竟文士と書估との関係はミュチュ

アリスムであるべきなのに、実はパラジチスムになつてゐる。保さんは生物学上の亭主役をしたのである。V(森鷗外著『渋江抽斎』その百十二)

【明治29年】

⑮ 工業進化論 英ダイヤー著 坪谷善四郎訳 (十一月) 東京 大橋新太郎(博文館) 発行

活版 23 cm 序(安藤太郎) 4 + 自叙3 + 原序8 + 凡例1 + 目次3 + 335 p

△本書原名を The Evolution of Industry と題し千八百九十五年(明治二十八年) ニューヨークに於て出版したるものなり。V(原著者ヘンリー、ダイヤー氏は明治六年より明治十五年まで十年間我日本に聘せられ工部大学に教頭として勤め、其功勞に由り勲三等に叙し旭日中授章を賜り、且工部大学名誉教頭に任せられたる人、方今氏はグラスゴー及び西部スコットランド工業大学校の修身総理たり。V(凡例)

△近時、我國の工業は、俄然長足の進歩を呈し、東西列国、環境の中に立ち、優に頭角を見はし、低廉の賃金と精巧の技術とに加へて、石炭産出の豊富なる、能く製造品の価格を廉にし、今は他の先進国と競走して、或は凌駕するあらんとす。V(自叙)

鐵道

【明治7年】

⑬④ 蒸気車鐵道之由来 瓜生政和編集 植村泰通校訂 (五月) 花街堂藏版 東京 福田兵四郎(老皂

館)・江藤喜兵衛(宝集堂) 発行

木版 18 cm 題詞・目録・鐵道上之表記 3 + 18丁

R 65-1

△蒸気車鐵道ハ西曆千八百十五年我文化十二年にして今より五十九年前に当り歐羅巴州内五大国の中英吉利にて始めて是を用ひ次て彼の各国及び北亞米理加州合衆国など大いに開け彼我の便利を尽すを以て即到我皇国に於ても大臣從五位大隈重信從五位伊東博文(イヅノ)の両士此事を奉り鐵道頭にハ井上勝同助に竹田春風の両士を命じゐひ英吉利の人「エトモント、モレル」を鐵道建築の主長とし同国の人「イングラント」を同副役の長としまた同国の人「チャレス。シヤ。ハルド」を同副役とし此諸雄の周旋勉強に因り明治三庚午年四月東京芝汐止より久良岐横浜まで七里十一町三十間の所へ鐵道の建築始まり丘を穿ち海を埋め土木の力を費すこと二十六ヶ月にて同五壬申年五月官費の金帛百八十六万三千四百十七円を以て……√(本文)

A C E ◎

【明治15年】

⑬⑤ 英国鐵道記略 英クラーク著 田口虎之助訳述 (一月) 東京 萩原庸介出版 山中市兵衛発行

活版 18 cm 題字(松平春嶽) 3 + 序(西周、春嶽) 9 + 凡例 3 + 度量比較表 1 + 地図 1 枚 + 目錄 2 + 79 p

R 65-26

△原書ハ、英国ノ博士キンニール、クラーク氏ノ著シタル鐵道書ニシテ、西曆一千八百七十六年

ニ成ル、今余之ヲ訳述シ、鐵道ノ沿革、線路ノ築造ヨリ、汽車ノ制、及ヒ諸經費、賃錢等ニ至ルマテ、全編ヲ記載シテ、且ク之カ名ヲ設ケ、以テ英國鐵道記略ト称シタルモノナリ▽（凡例）

△嘗聞西洋各国商業得鐵道而益盛 則吾邦鐵道之舉不可以一日緩也 今茲越前及加賀越中衆庶建議結社欲以起此業▽（序、春嶽）

①56 泰西運輸論 英ランドネル著 横尾平太訳・出版 南保閣（二月）東京 丸屋善七売捌

活版 18 cm 題字（副島種臣）5十例言2十權衡比較1十目錄6十付録7 p

R 65-88

△此編原書ハ、英國ノ物理学、星学博士「デオニシヤス、ランドネル」氏ノ著セシ學術叢誌
原名「ミュージャム、オフ、サ イエンス、アンド、アート」 中ノ「ロコモーション、アンド、トランスポルト」運輸論ト題スル者ニシ

テ、千八百五十五年英京倫敦ノ刊行ニ係レリ▽△曾々倫敦駐留ノ友人某、亞米利加年鑑原名「アメリカン、オ
ック」一部ヲ寄贈ス、之ヲ閱スルニ、五大洲中各国ノ鐵路ノ里数并ニ其築造ノ費ヲ記スル、極メテ詳細ニシテ一ノ遺スナシ 因テ訳シテ卷末ニ附シ、以テ本書ノ欠ヲ補フ▽（例言）

【明治18年】

B

①57 欧米鐵道經濟論 榊原浩逸著（二月）東京 原田庄左衛門（博文堂）出版

活版 20 cm 題字（岡部）5十自序6十凡例3十目次6十225 p

R 65 137

△明治十三年十一月余將サニ米國ニ遊ハントシ別ニ福沢先生ニ告ゲ且ツ教ヲ請フテ曰ク 方今天下多事學術技芸亦大ヒニ其面目ヲ一変ス 是真ニ壯士有為ノ秋ナリ 敢テ問フ 今日本邦ノ為メ

III 工業編

一〇七

A B

ニ最モ急務トスヘキモノハ何ヲ以テ先ト為スヤ……先生莞爾トシテ曰ク 鐵道ナル哉 夫レ鐵道ノ設ヤ本邦之レナキニアラス 開設以來既ニ七八星霜ヲ歴タリ 然レトモ官設ニ係リ官有ニ屬シ且ツ其進歩モ亦遅々ノ憾ナキニアラス 而シテ独リ米國ハ鐵道最モ其盛大ヲ極メ万邦無比加之其鐵道多クハ民有ニ屬シ結社及事務管理ノ方法亦歐洲ニ凌駕スルモノ多シト聞ク 故ニ米國ノ鐵道ノ実況ヲ究ムルコトヲ得ハ我國家ニ裨益アルコト少々ナラサルヘシ 今子幸ヒニ彼地ニ遊フ 鐵道ノ事業宜シク研究スヘキナリト▽(自序)

△附シテ云フ 本書ノ背部并ニ裏面ニ英語ニテ “Railway Economy of Europe and America”ト附記セルハ抑是レ何ノタメソ 我カ邦人ノタメニセルモノカ歐米鐵道經濟論ニテ十分事足レリ又異邦人ノタメニセルモノトセンカ本書ハ全ク我カ邦文ニ成レルヲ如何セン 若シ又本書ニシテ翻譯書タラシメハ或ハ原書ノ書名ヲ存シテ読者ノ便ヲ謀ルノ必要アルベシト雖モ本書ハ儼然タル著述ナレハ此ノ英文ノ題名ハ全ク蛇足ナルノミナラス却テ之カタメニ奇異ノ感想ヲ起サシムルノ憂アリ▽(『出版月評』第三号、明治二十年十月、浜田健次郎の書評より)

【明治27年】

⑮ 鐵道運輸論 米ハッドレー著 小松謙次郎訳述・発行 (四月) 東京

活版 20 cm 例言2十序3十目錄2十360 p

△本書ハ米國葉爾爾大學教授アーサー、ライー、ハッドレー氏ノ所著ニシテ其自序ニ示スカ如ク氏

カ大学ニ於テ講述セル鐵道經濟學ノ一部ナリ 從來鐵道ニ関スル論著其麗少カラスト雖モ多クハ皆部局ノ見ニ偏シ広ク理論ト實際トニ資リテ鐵道制度ノ全体ニ論及シタルコト未タ曾テ本書ノ如キモノアラス▽△本書ノ大綱四アリ 鐵道ト資本家トノ關係、鐵道ト公衆トノ關係、鑛道ト鐵道トノ關係及鐵道ト国家トノ關係是ナリ▽(例言)

⑮ 英國鐵道論 英フイन्दレイ著 速水太郎訳 牛場卓蔵・南清閱 (十月) 神戸 山陽鐵道株式會

社發行 東京 丸善株式會社書店発売

活版 19 cm 緒言2十著者ノ自序(一八八九) 4十第四版ノ序(一八九一) 2十目錄2十42十附

録(鐵道旅行ノ便利上近時ノ進歩) 34十廣告12 p 挿圖5葉

△本書ハ倫敦西北鐵道會社總支配人ジョージ、フイन्दレイ氏ノ原著ニシテ、同氏ハ三十五年ノ久シキ同鐵道ヲ統轄シ、其今日隆盛シタルハ、蓋シ同氏ノ功績ニ歸セスンハアラス▽

△本邦鐵道敷設ノ計画既ニ全土ニ及ヒ、其氣運大ニ熟スルニ関セス、之レヲ論スルノ書甚タ稀ナリ、輓近幸ニシテ二三ノ冊子ヲ見ルヲ得タリト雖モ、其所説多クハ鐵道制度ノ大局ニ止マリ、深ク其管理組織ニ進入シテ詳述シタルモノナシ、是レ事ニ鐵道ニ從フモノ、遺憾トスルトコロ、而シテ特ニ本書ヲ採択シタル所以ナリ▽(緒言)

広告ページにコロンブス世界博覧會へ出品し、優等ノ賞を得た 酒(鳥井合名會社)、黒鉛坩堝(大阪坩堝製造株式會社)、ビール(アサヒビール/大阪麥酒株式會社)の掲載あり。

土木建築

【明治4年】

⑩ 西洋水利新説 ラウトン著 若山儀一訳述 (上) 仲夏序、(附) 仲冬序) 時中齋藏梓 東京 椀

屋喜兵衛他発兌

三冊合本木版 23 cm (上) 序(市川清流) 2 + 凡例 1 + 目錄 3 + 29丁、(下) 25丁、(附録) 序(市川清流) 2 + 題字(碧山) 1 + 目次 2 + 32丁

R 67-1 40 67

△此書ハ羅當氏ラウトンカ農業集成字書ニ拠リ傍ラデムプシー、ウエーリングノ両氏ガ疏通新篇、同得失論ノ二書ヲ参訳シテ其不足ヲ補フモノナリ▽△原本素、疏通、堤防、引漑ノ三篇ニ分ツ今合シテ之ヲ水利新説ト名ク▽(凡例)

C D E

【明治5年】

⑪ 西洋家作ひながた雛形 英アルレン著 村田文夫・山田貢一郎訳 (晩秋) 東京 山城屋佐兵衛発兌

四冊木版 23 cm (一) 序 2 + 凡例 1 + 目次 2 + 29丁、(二) 28丁、(三) 34丁、(四) 28丁

R 67-1 108 146 177 214

△原本ハ英国大工頭シー、ブリュス、アルレン氏の著作にしてジョン、ウキール氏之を増補したる……此書一千八百七十年の鏤行に係り英国にて近来改正したる造家の方法を尽く図解せること

のにて宮殿楼台の如き大建物を除くの外尋常家宅の造法ハ悉く細記したる書なり▽（凡例）

Allen, C. B., Cottage Building and Hints for Improved dwellings of the Labouring Classes.

【明治6年】

①62 測地新法 米ジルレスピー著 岡本則録抄訳（十二月）大阪 梅原亀七（龍曦堂）発兌

二冊木版 19 cm（上）凡例2+10丁、（下）20丁

R 67-245-261

△原書ハ「レンド、ソルウイーイング」陸地測量法の義と題し亜国ジルレスピー氏の撰述にて千八百七

十一年の刊行なり 今之を根拠とし其要を摘み粹を抜き尚ほ英国ジャクソン氏及びメンデル氏の

「ミリタリー、ソルウイーイング」陸軍測量法の義の両書を援用し其欠を補ひ或ハ別に図解を副え識すに

野言俚語を黜いとはず務めて幼学に便ならしむるを意とす▽（凡例）〔①69参照〕

【明治7年】

①63 新路測量事宜 米ライマン及ケフロン及ワスソン建言（三月）開拓使蔵版

活版 13丁

R 67-284

○一八七三年十一月二十八日 ベンチャミン。スミス。ライマン建言△道路ヲ開通シ以テ北海道

ヲ開拓スル儀ニ付御談話申上候処右之趣書面ヲ以テ可申述旨御懇望ニ付左ニ陳述仕候▽

○一八七三年十二月十三日 ホーレシ。ケフロン建言△当夏中原野ニ於テ測量セル人々ノ略報ニ

抛リ石狩河ヲ以テ札幌及ヒ新ニ其河畔ニ於テ看出セル煤田ニ水運ノ便ヲ開良スル事ニ付有益ナ

III 工業編

一一一

E L

C E

ル報ヲ得タリ▽

○一八七三年十二月十六日 ゼームス。アル。ワスソン建言ハ札幌ヨリ石狩河畔「バラト」河口
又ハ其近傍ノ場所迄良巧ナル丁字形鉄ノ輪車路ヲ開クニ一マイルニ付凡ソ価何程相掛可申哉ノ
旨御問合ニ付左ニ申上候▽

【明治10年】

①64 北海道測量報文 米モルレー著 (十二月) 開拓使

活版 20 cm 46 + 附録138 + 北海道三角測量図ほか3葉 + 正誤1 p
○一八七六年三月二十七日 開拓使測量長モルレー、エス、デイハ別紙明治八年北海道測量事業
ノ報文ヲ謹呈ス▽

【明治13年】

①65 諸氏材力論 英諳^{アンデルソン}埜兒遜著 瓜生寅訳 (二月) 文部省

活版 19 cm 序1 + 緒言4 + 目錄7 + 525 + 正誤2 p

△此書原本ハ、英国ウールウィッチ陸軍大学校チェータム建築部局南ケンシントン造営学校講師
兵部器関局司長ジョン、アンデルソン氏ノ著述ニシテ其名ヲ Strength of Material and Structures
ト云ヒ構造物材及構造物ノ強弱ヲ論シタル書ナリ、西曆一千八百七十六年龍動ニ於テ第三
次刊行ノ原本ニ就キテ翻訳ス▽ (序)

R 73 | 111

R 67 | 301

C

C E

A B

①66 蘭均氏土木学 英ランキイン著 水野行敏訳 (上) 五月、(下) 十月) 文部省印行

活版 19 cm (上) 緒言1 + 原序 (第一版序、第十一版告白) 2 + 目錄 + 13 + 追加5 + 907 + 正誤
7 p、(下) 目錄11 + 760 + 正誤 4 p R 68-1・R 69-1

△此書ハ英国人井ルレム、ジョン、フッケオルン、ランキインノ著述ニシテ其名ヲ Manual of
Civil Engineering ト云フ、即土木学ノ義ナリ、今訳スル所ノ原本ハ、西曆一千八百七十五年英
国第十一版ニ係ル(緒言)

△本書ヲ頒チテ三篇トス 初編ハ土木諸術中幾何学ノ原理ニ関スル諸派即チ量地、水準測量及ヒ
工事ノ経始ヲ論シ之ヲ土木測量即チ野業ナル通名中ニ包含セリ 第二編ハ土石木鉄ノ如キ土木ノ
工事ニ用ウル物料ノ性質及ヒ鑿開、築隄、架橋等ノ如ク之ヲ編制シテ諸種ノ構造ト為スノ術ヲ論
シ 第三編ハ合併構造ノ題目ニテ第二編ニ分解セル構造ヲ合併シテ常道、鉄道、河川改良、水工、
運河、海岸保護、港口ノ如キ土木ノ大工事ヲ成スノ原則ヲ陳述セリ(第一版序)

【明治15年】

A B

①67 堰堤築法新按 米ゼイ、レッツフェル社刊行 大鳥圭介翻訳・出版 (四月) 東京 丸家善七出版

活版 22 cm 題字2 + 序 (伊藤博文、如楓散人) 6 + 目錄5 + 緒言3 + 原本緒言3 + 287 p 挿画
59 葉 R 70-1

△百工製作の術に於て最切要なるハ器械運転の原力はなり 其原力に数種あり 就中従来世上に

III 工業編

一一三

用ふるものハ人力畜力水力汽力なり……独水力の如きハ強力中庸を得て費用多からず 其大小の需用最便なるものとす (緒言)

【明治17年】

①68 造家法 チャンパー著 都筑直吉訳 大鳥圭介校閲 (十月) 東京 丸家善七出版

活版 26 cm 例言1 + 目録1 + 32 p

例言は④3『農学』と同じ。

【明治19年】

①69 測量教科書 米ギレスピー著 野村龍太郎・原龍太鈔訳 (一)四月、(二)八月、(三)二十年三月) 東京

近藤真琴 (攻玉社) 出版 共益商社・丸善商社発売 (二)東京 白井練一 (共益商社) 出版

三冊活版 19 cm (一)緒言1 + 原序4 + 目録1 + 112 + 正誤1 + 攻玉社出版書目録4 p、(二)目

録1 + 134 + 正誤1 + 出版書目録6 p、(三)目次2 + 108 + 正誤2 + 出版書目録6 p

R 70 | 242
309
386

△此書ノ原本ハ米国人ウキルリヤム、ミッチェル、ギレスピー氏ノ著述ニシテ其名ヲ Land Sur-

veying トニフ 陸地測量術ノ義ナリ 今務メテ其簡易ナランヲ欲シ原文中我邦ニ適切ナラザル

モノハ之ヲ省ケリ (緒言) (①62参照)

△此書元来著者ノ必要ヨリ成レリ 初メ土木工学ヲ学フノ楷梯トシテ測量術ヲ教授スルニ際シ適当ノ書ナキヲ以テ止ムヲ得ス其原理ヲ口授シ兼テ其応用ヲ例証セリ 其原稿漸次堆積シ殆ト本書

ノ体裁ニ整備セシヲ以テ一千八百五十一年ニ於テ始メテ教課用ノ為ニ其綱領ヲ出版セリ 爾來充
分ニ訂正改刪シ遂ニ此書ヲ成就スルニ至レリ(原序)

169 b

測量教科書続編 米ギレスピー著 倉田吉嗣抄訳 (二十年九月) 攻玉社蔵版 東京 白井練一

(共益商社書店) 出版

活版 19 cm 緒言1十目錄2十114十出版書目録6 p

△此書ノ原本ハ米國土木工師ドクトル、ヲフ、ロース、ウキルリヤム、ミツチェル、ギレスピー氏稿

同國土木工師、マストル、ヲフ、アルツ、カーデー、ステートレー氏校高等測量術 (Higher Sur-

veying) ナリ 今特ニ我國ノ事業ニ適切ナランコトヲ欲シ原文中或ハ省略或ハ増補スル所アリ▽

170

造家必携 英コンドル口述 松田周次・曾禰達蔵筆記 (六月) 東京 加藤良吉出版

活版 20 cm 題字(浩堂学人洪基) 2十序5十篇目1十120 p

【明治21年】

171

欧米築路法 英クラーク著 中井敬之助訳 渡瀬寅次郎・石橋絢彦校 (五月) 茨城県市野辺村

倉持茂三郎(勤行堂) 発行 同県下館柳村 八幡屋幸助・東京 山中孝之助発売

活版 20 cm 題字(茨城県知事安田定則・磯貝静蔵) 10十序(藤田健) 5十自序6十目次7十483

十跋7 p 挿画29葉

△知事安田公。奉使欧米日。獲書数十冊。每暇披閱。以資施政。此其一也▽(自序)

A 内

R 70
450

A 内

R 71
1

R 71
1
A

【明治23年】

①72 マハン氏土木学 大森俊次・原龍太共訳 (上) 四月、(下) (一)二十四年二月、(二)四月、(三)五月)

攻玉社蔵版 東京 白井練一 (共益商社書店) 発行

四冊活版 18 cm (上) 緒言 4 + 436 p (423) 426 p 欠)、(下) (一)目次 6 + 214 p、(二)目次 4 + 110 p、

(三) 131 p

R 72 - 1
1229
344
407

△原書ハ「エ、ツリーチス、オン、シヴキル、エンジニアリング」(土木学篇)ト題シ千八百八十六年米国ニウヨルク市ノ出版ニ係ル 該書ハ同地ウエスト、ポイント大学校土木学教師タリシデイー、エッチ、マハン氏ノ原著ニシテ夙ニ土木学ノ最良書トシテ世ニ名アリ……後マハン氏ハ前版ノ周密ナル訂正ヲ加フルコトヲ思ヒ立チ既ニ着手シタルニ不幸ニモ中途ニシテ歿シタルニ因リド、ヴォルソン、ウード氏其意志ヲ継キ増補訂正ノ業ヲ完成シテ之ヲ出版セリ (緒言)

【明治24年】

①73 鉄道及運河用 曲線測量法 工談会号外 米ツラウトワイン著 門田平三訳 (六月) 東京 北村則善 (工

談会) 発行

活版 13 cm 凡例 2 + 目次 5 + 略語約言表 1 + 52 p

R 73 - 1

△此書ハ米国ノ土木学者ジョン、シイ、ツラウトワイン氏著ストコロノ「テイ、フィールド、プラクチス、オフ、レイイニング、アウト、スアキュラル、カアウス、フオア、レイルローズ」ト題

セル小冊子ヲ翻訳シタルモノナリ√(凡例)

【明治25年】

①74 ^{ニカラガ}ニ加拉瓦運河開鑿要覽 英ウォール他著 (十二月) 水路部発行

活版 21 cm 小引1十目錄1十ニ加拉瓦運河沿革及所見(英ウォール) 16十ニ加拉瓦運河及貿易

(米ウォーナー、ミラー) 14十ニ加拉瓦運河政事上ノ關係(米ウィリアム、エル、メリー) 20十

ニ加拉瓦運河企画設計実施檢察報告書(米元老院) 74 p十地図1葉十運河断面図1葉

△中央亞米利加ヲ貫キテ東西兩大洋ヲ連接セントスルニ加拉瓦運河工事ノ成否ハ現下世界ノ一大

問題ニシテ海軍国殊ニ我國ニ在テハ軍事ト商事トヲ問ハス将来ニ至大ノ關係ヲ有スルヤ固ヨリ論

ヲ俟タサルナリ 今者英人ウォール氏ノ該運河ニ関スル沿革所見ト米國水路部ヨリ送付セル該河

ノ貿易上政事上及工事上ニ関スル詳密ノ書類トヲ得タルヲ以テ之ヲ一括シテニ加拉瓦運河開鑿要

覽ト名ツケ茲ニ訳刊シテ以テ我海軍一般ノ参照ニ供スト云爾√(小引)

化学

【明治5年】

①75 金銀精分 蘭ハラタマ口授 (二月序) 開成学校蔵版 浪花 秋田屋市兵衛・綿屋喜兵衛・伊丹屋

善兵衛発兌

Ⅲ 工業編

二冊木版 23 cm (上) 序2 + 33丁、(下) 27 + 附録(硝酸製法) 4丁

R 74 | 37

△此篇ハ蘭人「ハラタマ」氏ノ口授スル所ナリ 「ハラタマ」氏務メテ生徒ノ厚生利用ノ道ニ敏ナランコトヲ欲シ理化ニ学講習ノ余暇ヲ以テ西洋造幣局為ス所ノ金銀精分方ニ及ヒ且ツ驗シ且ツ説キ通常貨幣及ヒ金銀器械ノ真贋ヲ弁スルコトヲ知ラシム」(序)

C D E G

①76 開物叢説 家什第一 石鹼訳説 宇都宮義綱編輯 (春) 開拓使蔵版

二冊活版 19 cm 緒言3 + 総目錄3 + 家什類第一目次3 + 33丁、(二) 31丁

R 74 | 70 116

△国家ヲ富強ニセント欲セバ化学ニ従事シ造化ノ秘蘊ヲ探リ百工ノ利益ヲ興スヨリ他無シ……題シテ開物叢書ト曰フ 乃チ日用切近ノ製造品四十種ヲ扱ビ是ヲ初集ト名ク 而シテ西籍ヲ繙ク毎ニ其説ニ遭ヘハ輒チ訳シテ之ヲ輯ム 但シ篇中ノ序次少シク西人ノ區別ト異ナリ只今日ノ切ナルヲ主トシ且先ツ得ル者ヲ前ニス 仮リニ家什飲饌衣服藥劑ノ四類トナス〔総目錄は朴鉉の一類を加え、五類五十種とする〕▽ (緒言)

C D F

①77 火薬新論 石橋八郎訳 桂川甫策閱 (出版年月不記) 東京 一貫堂梓

二冊木版 19 cm (一) 58丁、(二) 43丁

R 74 | 150 211

【明治6年】

①78 化学 捷徑 酒水製造書 米カリーベールド著 小泉晴江訳 (仲春) 東京 文正堂発兌

木版 18 cm 序1 + 凡例1 + 目錄2 + 25丁

R 74 | 257

△原書ハ亜国製酒家ヘンリー カリーペールド氏の編集に成れる洋曆一千八百七十年我明治三年
刊行の書にして書名ハ「フラクチカールヂスチーレル」と題し即ち酒水製煉造釀の法なり▽（凡
例）

①79 百科全書 百工応用化学篇 牧山耕平訳 川本清一校（七月）文部省刊行

二冊木版 23 cm（上）44丁、（下）48丁

③6を参照

①80 西洋厚生一覽 卷之上 米マアケンヂー著 横山深介訳 箕作閔（秋）青藍舎蔵版

木版 23 cm 序・凡例2十目次3十31丁

△此書ハ米国摩マアケンヂー氏所者万物製造書中ヨリ緊要ニシテ且簡易ナルケ条ヲ抄訳シ以テ世ノ製造ニ
志アル者ノ助トナサントス▽（凡例）

△書類ノ垢付キタルトキハ之ヲ清ムルニハ多少ノ時間之ヲ格魯林瓦斯コロリンガスノ内ニ入レ置クトキハ充分
ニ其垢ヲ去リ得可シ 又書籍等ノ垢付キタルトキハ此瓦斯内ニテ一葉毎ニ晒ス可シ 又格魯林瓦
斯ナキトキハ格魯林水ヲ代用スルモ可ナリ▽（本文「書物類ノ汚点ヲ清ムル法」）

【明治7年】

①81 玻璃精造新法 独ロスコー他著 横地備吉郎訳（月不記）有斐学社蔵版 東京 山城屋佐兵衛発

行

活版 23 cm 序 (柳本直太郎) 3 + 跋 (戸田忠行) 2 + 序 1 + 目録 1 + 24 丁

R 75 - 1

△近頃新鑄スル所ノ字漏生人魯私孝氏及ヒ英吉利人霸爾涅耳氏等ノ化学書ヲ読ムニ頗ル新説アリ且ツ其玻璃ヲ解クノ条欵ニ至テハ其益最モ多シ 爰ニ於テ其編ヲ拔萃抄録シテ以テ一小冊子トナシ我社ノ幼童ニ頒ツ (序)

C

【明治10年】

①82 西洋染色法 英クルーク他著 齋藤実堯訳 (九月) 東京府勸業課蔵版 東京 吉川半七出版

上下合本活版 19 cm 東京府勸業課活版章 1 葉 + 凡例 2 + (上) 54 + (下) 50 + 附録 20 + 謬誤追

正 1 + 藥物名彙 3 p

R 75 - 35 66

△此書ハ英国出版谷禄鵠氏那皮兒氏米国出版羅氏斯密士氏等ノ染色書並ニ米国出版俞兒氏ノ工業書中ニ就テ良法ヲ訳出シタルモノニ係ル (凡例)

C

【明治13年】

①83 酒類防腐新説 独コンシエルト講述 下山順一郎口訳・出版 中村健蔵筆記 (十月) 大坂 田辺

五兵衛翻刻 → ①87 再版参照

B ©

活版 18 cm 30 p

R 75 - 107

【明治14年】

①84 西洋烟火之法 [英スポン著] 清水卯三郎訳述・発行 (十一月) 東京 瑞穂屋卯三郎蔵版・発行

活版 18 cm 凡例 2 + 112 p

△此ノ書英国千八百七十九年刊行セル「オエクシオップ」ト云フ書ヨリ、訳出シタルモノニシテ
烟火ノ大要ヲ挙クル者ナリ▽（凡例）

R 75 | 127

【明治15年】

185 工業化学 卷三、卷五 独コルセルト著 下山順一郎訳（七月）東京 吉田彦六郎出版

二冊活版 19 cm （三）序（品川弥二郎）2 + 目次 4 + 86 p、（五）序（品川）2 + 目次 2 + 112 +
図版 6 p + 表 1 葉

R 75 | 186
238

△烏斯喀兒、郭耳謝爾得氏者、独逸国之化学士也、頃者著工業化学二十余卷欲公諸世、初某氏之
来于我国也、首応文部省聘、奉東京大学医学部製薬学教授職、後転地質調査分析係長職、前後七
年其間致意於我工業▽（序）

A

卷三内容——合金属、鋳鋳術、鋳鋳事業ノ副生物。卷五内容——食塩製造編。

【明治15年】

186 仏国醸造方 ラック著 岩男三郎訳 高鋭一校（十一月）農商務省農務局蔵版 東京 穴山篤太

郎（有隣堂）発兌

活版 22 cm 緒言 1 + 凡例 1 + 目録 11 + 126 p 表一葉

R 75 | 310

△近時我邦人ニシテ葡萄酒ヲ製シ麦酒ヲ醸シテ飲料ニ充ル者少シトセス 然レトモ「ジン」「ラ

ム」等ノ品類ニ至リテハ未タ能ク之ヲ造ル者アルヲ聞カス 今此書ニ載スル所ノ者ハ専ラ仏国ノ醸造方ニシテ酒類ニ陳味ヲ帶ハシメ甘味ヲ含マシメ香氣ヲ有タシメテ其素質ヲ善美ナラシムル等我邦ニ取リテ製出スヘキ方法ヲ抄訳シタレハ實際施行ノ後世用ヲ資クルコトアラン▽（緒言）

【明治17年】

①87

酒類防腐新説 独コルシエルト講述 下山順一郎口訳・出版 大沢美太郎筆記（六月）東京

活版 18 cm 序1（大沢美太郎）+44 p

△本篇ハ農務商務省御雇独逸人オスカル、コルセルト氏ノ口述セルモノニシテ実ニ東京薬学雑誌ノ記載スル所ニ係ル 曩ニ第一版ヲ公刊シ期年ナラザルニ数千部ヲ販了セリ 今又茲ニ改正増補シテ「ザリチール」酸ノ奇効新説ヲ参酌折衷シ第二版ヲ印行スルニ至レリ▽（序）

【明治21年】

①88

仏国新法、烟火全書 仏ア、ド、ベルグノウド及ビ、ベルグノウド著 清水卯三郎訳述・発行

（一）七月、（二）二十一年十一月）東京

二冊活版 19 cm （一）小引3+凡例3+114 p、（二）90 p

△本編ハ仏国千八百七十八年、巴里府書肆ロレット氏の「アンシクロペヂエ、ロレット」といふ数十冊一部の、百工書の中、火術学校長ベルグノウド氏著、火術全書といふ一部にして、前編を「ピロテキニイ、ミリテエル」と云ふ、即軍陣火術と訳す、都て戦場に用ふる火術諸般の製造を

載す、後編を「ピロテクニイ、シビル」といふ、即泰平火術と訳す、且曰ふ「ヌーボウ、マニユール、コムプレイ、ド、ラ、アルテヒシエル」即新法烟火全書と題す、凡て烟火に關係はる火術を載する▽（凡例）

△此の烟火全書の原本ハ元一冊の合本なれども余り多くなる故分て三巻と為し先此の第一巻を発売し余の二巻ハ八、九の二箇月に全尾す 然る後三巻合本製調すべく先此の一卷ハ仮綴とし此に発売す▽（第一巻末「謹告」）

△余曾て仏国に在り、烟火を觀ること數回なり、驚歎の余り、其葯品數十種を購求めて歸る、途に桑港を過る、時に大統領改撰の日に當る、夜に入る街頭忽烟火を放つ、炮声轟々、火光焰々、巴里府の盛なるにハ及バすと雖も、亦壯觀と謂ふへし、已に歸る、戊辰の役に遭ふ、之を試むるに由なし、翌明治二年に至り、之を蠟燭の如く作り市中屋前に試む、火光灼爍として臙脂の如く、市街を映照すること、恰斜陽の西山に没せんとするに等し、市人ハ未だ此の異光を知らず、皆見て回祿の災を為し、急声火と呼ぶ、人集りて蜂群の如し▽（小引）

①89 鑑色法 英ハンメル著 山中重太郎訳（六月）京都 出雲寺文治郎發行

活版 18 cm 29 + 広告（実地染色術） 3 p

The Detection of Colours on Dyed Fabrics.

①90 職工必携 実地染色術 英ハンメル著 山中重太郎訳（六月）京都 出雲寺文治郎發行

二冊合本 活版 18 cm (上) 序2 + 例言2 + 目録5 + 102 p、(下) 例言1 + 251 p + 染色見本(実物貼付) 9葉

R 76
139
197

△本書ハ原と西曆千八百八十五年十月英国ヨークシール大学校染工部監督博士ハンメル氏ノ著述ニ係るものにして其目的ハ染工教師染工学生及ひ染工者の各自に應用して利益を得るを企画せしにありしなり▽ (序)

A

△本書は英国「ヨークシール」大学校染工部監督博士ゼ、ハンメル氏の著述に係るヂー、ダイイング、オフ、テキスチル、フェブリックス(織物用染色術と云ふの義)を訳述したるものにして訳者山中重太郎君が従来ノ經驗に徴し専ら実地應用を旨とし広く原著の大体に通じ骨子主眼を摘出し其説新奇其語平易に訳出したれバ方今我が日本染色術一大改良を施こさざるべからざるの際実に当業者の位地にありてハ珍珠名玉も帝ならざるの一大宝書なり▽ (『鑑色法』廣告)

①91 麦酒醸造全書 若井栄三郎訳纂 (十月) 東京 高崎修助発行

活版 18 cm 凡例2 + 目次3 + 95 + 醸酵業随伴(ワグネル著、若井訳) 17 p

R 76
338

△此書ハ麦酒醸造者ノ参考ニ供センガ為メ独逸各国ノ百工化学者著ス処ノ諸書ヨリ其理論ノ精確ナルモノト実地ノ應用ニ適スヘキモノヲ撰抜シ加フルニ予ノ東京大学医学部ニ於テノ実檢ヲモ記載セルモノナリ▽ (凡例)

A

【明治24年】

①92 独逸国フレドルバイエル会社アニリン及アリザリン染業製造所概況 織染研究会報告第十七号付録

堀越練三郎編輯 (七月) 足利 峰岸政逸 (織染研究会) 発行

活版 21 cm 16 p

R 76
400

Friedr. Bayer & Co., Elberteld. (Sole Agent for Japan, Carl Rohde & Co., Yokohama No. 70, Kobe No. 104.)

【明治28年】

A

①93 安全燐寸製造所 英国商業雑誌第一号付録 (九月) 東京 河手長平発行

活版 26 cm 図1葉+8 p

R 76
414

Published as A Supplement to Japanese Edition of The British Trade Journal, August

1895. 113 Cannon Street, London, E. C. and Yokohama.

独逸伯林ローラー氏機械工場 A. Roller, Engineering Works, Berlin, No. 20, Germany の工場

図と機械およびその工程説明。

機 械

【明治5年】

①94 蒸汽機械説 卷一 英ポロンアー及イーラツ編 近藤圭造刪録・蔵版 (出版年月不記) 中外堂

III 工業編

一三五

発売

活版 23 cm 総目 4 + 39 + 格齋鑲板書目 1丁

総目——第一（蒸汽機の公理上）、卷二（同下、蒸汽機の諸式）、卷三（自漲力を用るを論ず、蒸汽機的能力を論ず、鍋爐の尺寸を論ず、蒸汽機の尺寸上）、卷四（同下、蒸汽機の善式を論ず）、卷五（船体水を受るを論ず、船機の成式を論ず）、卷六（陸地の蒸気機、機を造ると機を司るを論ず）、附録一卷

格齋鑲板書目（近藤圭造刪録、近藤素平校合）——蒸汽機械説六冊附録一冊、石炭学三冊、颶風学二冊、金石学前後六冊、万象学前後六冊、刑法余響、人情世態、蒙訓天作人工、談何容易。

【明治10年】

CE◎

①95 船用汽機全書 英メイン及ブラウン著 山口良蔵訳 麻生武平閱（九月版權所有、(五) (九)十六年

七月版權所有）海軍兵学寮 (五) (九)海軍造船所

二冊活版 22 cm 緒言 2 + 原序 5 + 目錄 44 + 392 p、(五) (九) 515 p 表 2 葉 + 図 2 葉

R 77-44 274

△此書ハ英国ポートマス海軍兵学校ノ数学教官マストル、オフ、アート、トマス、メイン氏及ビ同国海軍機関監督トマス、ブラウン氏ノ著述ニシテ彼一千八百六十五年龍動府ニ於テ印行シ専ラ船用汽機ノ实用ニ関スル条款ヲ示シ特ニ同国海軍士官ノ所用ニ供セシモノナリ (緒言)

【明治12年】

①96 船 蒸気機関問答 小笠原賢蔵纂訳・出版 (二月凡例) 東京 丸屋善七・土屋忠兵衛 仁契堂発売

木版 22 cm 凡例 1 + 図 2 + 船舶蒸気機関略解 16 + 35 丁

△此書ハ英人著ス所ノ、機関手、試験問答ヲ基礎トシ、其他ノ書ヨリモ緊要ナル条欵ヲ拔萃シテ、増補セルモノナリ、船舶ノ機関手タラン者、此書ニ由テ裨益スル所アラバ、予ガ大幸之ニ若カンヤ▽ (凡例)

【明治14年】

①97 時計詳説 一名時計のわけ 三木福輔抄訳・出版 (二月) 東京 丸善商社発売

活版 19 cm 題字 (大鳥圭介) 4 + 序 (嘉禾義松石) 2 + 引 2 + 凡例 2 + 目錄 4 + 231 + 正誤 4 p

R 78
58

△此書ハ主に英国刊行の大英諸学韵府 ア、オフ、ユースフルマニユヘ ア、ブリタニカ 英人トムリンソン著述の百工製作字彙 ア、オフ、ユースフルマニユヘ ア、ブリタニカ 同氏の百科全書 ア、オフ、ユースフルマニユヘ ア、ブリタニカ を原クチュールス、エンド、アルヅ、チユムバース氏諸学韵府 ア、オフ、ユースフルマニユヘ ア、ブリタニカ 同氏の百科全書 ア、オフ、ユースフルマニユヘ ア、ブリタニカ を原本とし其中より時器寒暖計晴雨計等の要部を抄訳し且野生が見聞したる処をも加へ併せて偏成したるものなるが故に彼は錯雑するが如きハ請ふ看官之を恕せられよ▽ (凡例)

【明治15年】

①98 船 蒸気機関問答 初編 米エドワルツ撰 片山平三郎訳述・出版 小杉雅三校閲 (七月) 東京

松井忠兵衛出版

B

I

III 工業編

一三七

R 78
1

B

木版 22 cm 目録2 + 36丁

R 78 | 190

【明治18年】

①99 蘭均氏汽機学 英ランキン著 永井久一郎訳 原口要訂（七月、（下）九月）文部省編輯局

二冊活版 20 cm （上）緒言1 + 原序5 + 目録3 + 516 + 正誤2 p、（下）目録3 + 758 + 正誤2 p

R 78 | 233 · R 79 | 1

△此書ハ英国人ウキルリヤム、ヂヨン、マックオールン、ランキン氏ノ著述ニシテ其名ヲ Manual of Steam Engine ト云フ、即チ汽機学ノ義ナリ、今訳スル所ノ原本ハ西曆一千八百七十六年英国第八版ニ係ル〔バンベルによる改訂増補版〕（緒言）

A

【明治19年】

②00 船用汽機新書 英センネット著 小幡篤次郎訳（三）四鈴木光長訳 麻生武平校（一月）版權所有、

（三）二十四年八月、（四）十二月）横須賀海軍造船所蔵版（三）四東京 鈴木光長（水交社）発行

四冊活版 22 cm （一）自序3 + 目録4 + 249 p、（二）365 p、（三）502 p、（四）240 + 補遺（第二版

ニ於テ改正及追加セシ部）166 + 英和对訳引出目録63 p 挿図29葉 R 80 | 1149 · R 81 | 1260

△蒸汽ノ性質ヲ論スル篇ニ在テハ博士コットリル氏ノ貴重ナル蒸汽機関書ニ大助ヲ得タリ 又近世ノ蒸汽機関学ノ開祖ト称スヘキ故博士ランキン氏ノ記録中ヨリ大ニ引用スルコト無レハ此種類ノ書ヲ編纂スルコト能ハサルハ贅言ヲ待タザル所ナリ（自序、リチャード、ゼンネット）

A

【明治20年】

②01 珍袖 汽機配方便 英ボルフ著 若松常善訳・出版 (二月) 大阪

銅板 9 × 12 cm 若松蔵版印 1葉 + 凡例 1 + 目次 10 + 235 p

△此書の原本ハ英国の技師エヌ、ピー、ボルフ氏の著述にして西曆一千八百八十年第七版を刊行し専ら陸用及び船用の新制汽機及び汽罐の応用なる割合の規則并に算法等を記載せるものにて製造家ハ勿論汽機に従事せる者の所用に供する手録なり▽ (凡例)

【明治21年】

②02 汽蒸機関新書 英ソルン著 田岡虎豹太訳 奥山一郎校正 (九月) 大阪 梅原亀七発行

活版 19 cm 目録 1 + 98 p 挿図 4葉

【明治22年】

②03 リード機関書摘要 英ソルン著 田岡典章抄訳 (十一月) 大阪 瀬戸清次郎発行

活版 20 cm 緒言 2 + 目録 18 + 167 + 129 p

△此書ハ英国ソルン氏ノ原著ニシテ一千八百八十七年ニ印行シタル第十二板中ヨリ抄訳シタル者ナリ▽ (緒言)

②04 器械運動解説 米ブラウン著 麻生武平訳 (十一月) 東京 小柳津要人 (丸善商社書店) 発行

活版 19 cm 原序 3 + 序 2 + 例言 2 + 目次 28 + 299 p

R 82
1

N
内

A

R 82
130

R 82
195

A

R 83
1

△原書ハ「ファイフ、ハンドレッド、エンド、セーブン、メカニカル、モーブメント」ト題シ一
千八百八十六年第十四版印刷米国ヘンリー、チー、ブロン氏ノ纂輯シタルモノナリ▽△原書
ノ目次ABCの順次ヲ用キタリ 之ヲ訳載スレハ錯雜ニシテ搜索ニ不便ナルヲ以テ仮ニ力学、氣
学、水学、汽機学、輪学及ヒ聯動機、時刻学及ヒ雜器械ノ部門ヲ分チ目次ヲ掲ゲタリ▽（例言）
△此書ニ纂輯シタル器械運動ハ英国ジョンソン氏ウキルコック氏ウキルソン氏デニソン氏ノ原本
ヨリ選抜シ且ツ之ヲ補フニ数多ノ米国及ヒ外国ノ書ヲ以テス▽（原序）

【明治23年】

②05 汽罐取扱書 附革帯使用法 英ベール著 荒川新一郎訳述（五月）東京 穴山篤太郎発行

活版 22 cm 自叙2 + 41 p

△汽罐の本邦に行はるゝや日既に久し而して其使用法に於ける大率皆其偏習に止り未だ完正なる
規則以て之れが指導あんないを為すへきものあるを視ず豈に遺憾ならずや 余頃日英人ポウイス、ベール
氏の編纂に係る一小冊子を得て之を閲するに其編定する所の法則簡にして到れるが如し▽（自叙）

【明治26年】

②06 富国全書 機械学 英グーデーヴ著 波木居芳太郎纂訳（十一月）東京 青木恒三郎（嵩山堂）発行

活版 19 cm 序（南部芳樹）4 + 緒言1 + 目次4 + 251 p 図版24葉

△本書ハ英人グーデーヴノ著ス所機械学初歩ニ拠リ傍ラ ボール、マグナス等ノ著書ヲ参考シテ

補綴纂訳シタルモノナリ▽（緒言）

【明治27年】

㊦

汽鐘取扱要法 一名火夫の心得 瑞「ストックホルム」府工学士会出版原著 英ダアルストローム

英訳 今木七十郎和訳・発行 竹田関太郎・佐立二郎校閲（三月）東京 丸善株式会社書店発行

活版 18 cm 自序2十原序（ダアルストローム）2十原例言2十目次6十60 p

R 83-362

△汽鐘取扱要法は原瑞典国の最も経験ある工学士会（ククノログフアラニインゼン、チー、アイ、ストックホルム）に於て出版せしものにして汽鐘取扱人の怠慢又は其用方に不熟なる為め汽鐘を破裂せしむることあり 今此書を訳し斯の如き危害を防かんとするの意を以て世に公にす▽（原序）

△浪華の書肆丸善主管柴田氏は予郷友なり 一日予の寓居に來り英訳汽鐘取扱要法一本を示し予をして之を訳し世益を為さんことを勧む 予深く執業者を益する尠少からざるを知る 予頃日職事殊に鞅掌勿卒之を訳し將に世に公にせんとす▽（自序）

A

A

IV 産業史編

【明治5年】

②08 交易通史 蘭キイヒッツ著 杉亨二訳 (十月) 柳樊齋藏版 東京 三家村佐平発兌

四冊木版 23 cm (一) 題字1十凡例3十目錄3十42丁、(二) 31丁、(三上) 58丁、(三下) 76丁

R 86
1 54
89
151

△原書ハ、ゲキシードニス・ハン・コオプハンデル・エン・ゼーハアルト、ト題ス、商売ト航海ノ起原ト謂フ義ナリ、荷蘭ノ学士キイヒッツ氏ノ著述、俺特坦アムステルダムノ大教頭、ハン・オッテルロオ氏ノ増補改訂スル所ニシテ、彼一千八百六十二年即チ我ガ文久二年ノ刊行ニ係ル(凡例)

C E G

【明治12年】

②09 大英商業史 英レブイー著 田口卯吉訳(四～五編) 藤田静訳 (十月、第四編十四年二月緒言)

元老院藏版 (一) 東京 柳河梅治郎(中外堂) 発兌、(二～十) 東京 須原量坪(律書房) 発兌、

(十一～十三) 須原鉄二(畏三堂) 発兌、(十四～十七) 柳河梅治郎 発兌

十七冊木版 23 cm 第一篇(一) 蔵版印1葉十題字1十叙(田口卯吉) 2十例言四則2十原序4

十総目1 + 目次2 + 目録2 + 43丁、(二) 目次3 + 60丁、第二篇 (三) 蔵版印1葉 + 目次3 + 目録2 + 65丁、(四) 目次3 + 56丁、第三篇 (五) 蔵版印1葉 + 目次3 + 目録2 + 48丁、(六) 目次2 + 54丁、(7) 蔵版印1葉 + 目次2 + 40丁、(八) 目次3 + 本文54丁、第四篇 (九) 蔵版印1葉 + 緒言 (藤田静) 1 + 目次2 + 目録3 + 53丁、(十) 目次2 + 56丁、(十一) 蔵版印1葉 + 目次3 + 74丁、(十二) 目次2 + 34丁、(十三) 目次2 + 52丁、第五篇 (十四) 蔵版印1葉 + 目次2 + 目録3 + 30丁、(十五) 目次2 + 50丁、(十六) 目次2 + 36丁、(十七) 目次3 + 56丁

R 84-1 63 128 203 265 324 383 431 · R 85-1 66 127 209 248 305 345 400 441

△此書原名ヲヒストリー、オー、ブリッチス、コムメルス トス 即大英商業史ノ義ナリ 英国
 リンコロン、イン社ノ名 法学校 法学登科士ロンドン キングス、コルレーヂ名校ノ商業及商法博士 チ
 タービンゲン大学校経済学士、古物学社員、政表学社員レラン、レブイー氏ノ著作ニシテ千八百
 七十二年ロンドンノ刊行ニ係ル (例言)

【明治16年】

210 古代商業史 英ギルバルト著 金谷昭訳述 (九月跋) 東京 経済雜誌社発兌

活版 21 cm 目次1 + 正誤2 + 原序13 + 336 + 跋 (小池靖一) 6 p

R 86-1 230

△我が講習会客歳四月初テ会員ノ講述若クハ翻訳スル所ヲ編輯シテ毎月刊行シ名テ経済学講習会
 講義録ト云フ 其載スル所スペンセル氏ノ社会学マツクレオド氏ノ銀行論アダムスミス氏ノ富国

論ハ実ニ希世が大著作ニシテ論ズル所広クシテ以テ詳ニ大ニシテ且深シ 故ニ一年有半ヲ経ルト雖トモ未ダ其半ヲ講訳スルニ至ルコト能ハズ 独リ余ガ従事スル所ノ金融事情ハ既已ニ業ヲ卒ヘ金谷君ノ古代商業史モ亦本月ヲ以テ大尾ヲ告グ(跋)

A

△英国ゼームス、ウキリアム、ギルバート氏が愛爾蘭地方銀行の「オーターフオールド」支店の支配人たりし時「オーターフオールド」の文学会に臨みて講述せし者にして古代、埃及、希臘、タイル、カルセージ及び羅馬の商業を詳述せる書なり(『万国通商史』廣告)

211

ローヤール

ウエスト、インチャン

両郵便汽船会社歴史

英リンドセイ著

武藤常德訳

(九月) 東京

江口源治出版 中近堂発兌

活版 19 cm 99 p

R 86-1 414

A

【明治18年】

212

商業工芸史

英イーツ著

大島貞益訳

(五月、(下) 六月)

文部省編輯局蔵版

二冊活版 20 cm (上) 翻訳例言3 + 原叙3 + 目錄9 + 462 + 正誤1 p、(下) 目錄10 + 543 + 正誤1 p

R 87-1 246

△此書題シテ The Technical History of Commerce ; or, skilled Labour applied to Production, by John Yeats. ト曰ヒ、英人ジョン、イーツ氏ノ著ニシテ百科工芸ノ初起ヨリ今日ノ盛ヲ致スニ至ルマテノ沿革ヲ歴叙セリ、蓋シ一千八百八十一年頃ノ倫敦ノ原刊ナリ、是ヨリ先キイ

ツ氏又商業博物誌ノ著アリ、亦文部省ノ命ヲ以テ瓜生某之ヲ訳セリ、二書対看セバ乃チ全豹ト為ラン▽(例言)

②13 商業博物誌 英イーツ著 瓜生寅訳 (五月) 文部省編輯局蔵版

二冊活版 20 cm (上) 凡例2 + 正誤表2 + 原序4 + 小引6 + 目錄8 + 492 p、(下) 正誤1 + 目次16 + 510 p + 植物地界ノ図(彩色) 1葉

R 88-1 262

△此原本ハ英国法律博士ジョン、イーツ氏(John Yeats)ノ著述ニシテ其名ヲ Natural History of the Raw Materials of Commerce ト云ヒ博ク商用ノ物産ヲ論述シタル書ナリ 西曆千八百七十六年倫敦ニ於テ第二次刊行ノ原本ニ就テ翻訳ス▽(凡例)

②14 商業沿革史 英イーツ著 河上謹一訳 (十一月) 文部省編輯局蔵版

二冊活版 20 cm (上) 翻訳緒言2 + 原序3 + 目錄33 + 地図1葉 + 地図解説31 + 406 + 正誤1 p、

R 89-1 246

(下) 正誤1 + 目錄18 + 世界各国商業ノ盛衰一覽表1葉 + 沿革図解説42 + 461 p
△本書ハ英国博士ジョン、イーツ氏ノ著ス所ニ係リ原名ヲゼ、グロース、エンド、ウキシシチュード、オフ、コンマルス (The Growth and Vicissitudes of Commerce, by John Yeats.) ト云フ 即チ商業沿革ト云フ義ニシテ開明諸邦ノ工業及通商ノ本末ヲ細記セルモノナリ▽△本書ハ一千八百七十二年英国倫敦ニ於テ始テ出版セリ▽(緒言)

A 内

【明治20年】

②15 貌烈顛商業史 英レブキ一著 土子金四郎講述・出版 (五月) 東京 専修学校発兌

活版 18 cm 緒言 1 + 234 + 正誤 3 p 表 4 葉

R 90 | 1

△レブキ氏ノ貌烈顛商業史ハ千七百年代以降近年ニ至ルノ間専ラ英国商業ノ発達及ビ其国民理財
上進歩ノ事跡ヲ説クモノナレトモ其記ストコロ往々諸国ノ事ニ涉リ広ク政治ニ法律ニ財政ニ外交
ニ苟モ商業ニ関スルモノハ悉ク……千八百八十年再版シタル原書ニ拠テ之ヲ講述▽ (緒言)

A 内

【明治24年】

②16 万国商業史 実用 教育 商業全書第八編 伴山三郎訳述 (八月) 東京 大橋新太郎 (博文館) 発行

活版 19 cm 目次 4 + 232 p

R 90 | 132

【明治25年】

②17 万国商業歴史 英ギッピンス著 林曾登吉補訳 (十月) 東京 江草斧太郎 (有斐閣書房) 発行

活版 19 cm 読者に告ぐ 2 + 原叙 2 + 目次 3 + 452 p 地図 7 葉

R 90 | 256

△此の万国商業歴史の原書は欧洲商業歴史 (History of Commerce in Europe) と称して其述ぶ
る所は主として欧洲諸国の商業の沿革にあれども読者の便を計りて日本及び支那の商業の沿革を
も補述したるを以て欧洲商業歴史と称せずして万国商業歴史と名づけたり▽ (読者に告ぐ)

【明治28年】

②18 万国通商史 英ソーメルス著 経済雑誌社 (代表望月二郎) 訳・発行 (四月) 東京

活版 19 cm 緒言 1 + 目次 2 + 65 + 広告 24 p 地図 2 葉

△商業の学科には邦国貿易の源流沿革等に関する一科あり、然るに此種の著書今日世に乏しきは遺憾なりと謂ふべし、弊社曩きに千八百九十年紐育出版の学芸全書（デンサイクロペディア、ブリタニカ）を獲て、其の中、英人ロベルト、ソーメルス氏の著に係る通商篇を読むに、叙事簡明、古今各国通商の大勢自ら瞭然たり、其の初学に有益の書なるを知り、相共に謀りて之を訳す（緒言）

【明治29年】

219 洲欧 商業開化史 英ギッピン著 永田健助訳補・発行（五月）思誠館蔵版 東京 丸善株式商社書店発行

活版 19 cm 緒言 7 + 訳例 3 + 目録 3 + 454 + 問題 32 + 附録支那開国始末（永田健助述） 18 + 欧州諸国海外所領 9 p 地図 9 葉

△原著は千八百九十年英国倫敦の出版に係り原名を「ヒストリー、ヲフ、コンメルス、イン、ユロッパ」と云ふ 今之を訳して商業開化史と称するものは開卷先つ著者が商業歴史は即ち世の開化史なりと述べたるに拠る（訳例）

【明治34年】

220 独逸商工勃興史 仏ブロンデル著 辰巳小次郎訳 文部省実業学務局編纂（一月）東京 原亮一郎（金港堂書籍株式会社）発行

VI 産業史編

一三七

R 90
500

R 91
1

A

A

活版 19 cm 緒言 3 + 目次 5 + 476 + 付録 78 p

R 91 / 290

〔本書ハ仏国人「ブロンデル」氏カ輓近独逸ニ於ケル商工業ノ興隆ニ激励スル所アリテ大ニ其ノ国民ヲ覚醒センカ為ニ著述セシモノニシテ篇中独逸商工業発達ノ状況ヲ詳悉シテ余蘊ナク真ニ読者ヲシテ歴々目睹スルノ感アラシム 而シテ氏カ仏国民ニ対スルノ忠言ハ移シテ以テ我國民ニ対スル警告ノ声トシテ傾聴スヘキノ点鮮カラス〕(緒言、文部省実業学務局)

G

索引

凡例

- 一、本稿は「著者・翻訳者索引」と「刊行者索引」とする。
- 一、著者・翻訳者索引には、校閲者・校正者等も採録し、収める。
- 一、刊行者索引の「刊行者」とは、出版人・発行人および蔵版人とし、発兌人はこれを補うものとする。
- 一、明治期刊行図書には著者が出版人を兼ねているものも多いが、本稿では著者・翻訳者索引に収録するものは、刊行者索引では省く。
- 一、本稿は主に収録書の奥付から作成する。それ故、住所・寄留地は当該出版物刊行時のそれである。
- 一、地名表記は、大坂・大阪、朽木・榎木は記載通り示すが、東京・東京、京都・京都は東京、京都に統一する。
- 一、☆は住所不載の図書であることを示す。

著者・翻訳者索引

あ

相原重政 東京市麴町区準町十六番地 ④ ☆③④③①③

(フ)③(夕)③(レ)

青山大太郎 東京市本郷区森川町一番地 ⑤⑤

明石春作 ③④

秋月胤永 校⑫⑮(子)

秋山源内 参考⑧⑥

朝倉松五郎 ④

浅見忠雅(勸業寮九等出仕)福島県土族 ③(ハ)③(ヌ)③(ワ)③(カ)

③(ヨ)⑥

蘆葉六郎 東京牛込区上宮此町八番地 ⑤①

東 五一(京都府勸業課) ⑦②

麻生武平 東京市麻布区麻布今井町四十一番地 ②④ ☆閱

⑫校②⑩

荒川新一郎 東京麴町区飯田町四丁目二十二番地 ②⑥

荒井宗懿 千葉県土族 本郷区弓町二丁目二十八番地 ⑨⑧

安藤太郎 序⑮

安東清人 ⑮①

飯嶋半十郎 校⑫⑮⑯⑰

石井範忠 ④

石川治平(旧称巖) 東京市浅草区栄久町二十四番地 ④

石橋八郎 ①⑦⑦

石橋絢彦(通信省灯台局四等技師) 校①⑦

磯貝静蔵 題字①⑦

市川清流 校②③序①⑥⑩

伊地知貞馨(恒庵) 叙⑧⑧

伊東祐愛 ⑫③

伊東祐敦 ⑧⑥

伊東信夫 ④

伊藤博文 序①⑦

井上一男 在墨府 ⑦①

井上 毅(農商務大臣) ⑤⑩①④

井上敏雄(専売特許代願事務所) 麴町区飯田町一丁目八番

地 ①④②

井原百介 ①⑥

今井秀之助(農務省四等技手) ⑥⑦①①

今井 巖(東京大学理学部明治十三年卒業生、同教授)

⑬

今木七十郎 大阪市東区谷町一丁目百八十七番邸 ⑩

今西直次郎(京都府勸業課雇) 京都府平民 京都府下上京

区第七組北伊勢殿構町三十五番戸 ⑧ 東京神田錦

町三丁目三番地荒川竹方 ⑨

巖谷 修 序 ⑦

岩橋教章 幕臣 ④

岩山敬義(勸業寮権助従六位) 序 ② 跋 ④

宇賀 壽 高知県士族 東京麴町区一番町四十九番地寄留

牛場卓蔵(山陽鉄道株式会社総支配人) 閱 ⑬

瓜生 寅 ⑬

瓜生政和(梅亭金鷲) ⑮

梅浦精一 ⑫

宇都宮義綱(文部少教授) ⑰

内山平右衛門 ④

内村耿之助 校 ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

江草善平 武蔵国東方邑 参考 ⑥

海老名文橋 校 ⑭

大井潤一 校 ⑫ ⑬

大内 健 ⑩

大木月峰 校 ⑬

大久保利通 序 ④

大郷 穆 敦賀県士族 東京六大区六小区本所元町十三番

地寄留 ⑦

大沢美太郎 筆記 ⑩

大島貞益 ⑫ ⑬

太田資時(日本蚕事研究会員)東京府士族 東京浅草区北三

筋町六十番地 ⑨

大塚琢造(西班牙国バルスローヌ府万国博覧会出張員) ⑬

大鳥圭介 東京府士族 府下荏原郡白金村二百五十三番地

⑰ ☆校 ⑱ 題字 ⑲

大沼枕山 序 ⑮

大町 信 宮城県士族 牛込区神楽町二丁目二十一番地寄

留 ⑥ 大森惟中(勸業大属) 東京府士族 ⑥

大森俊次 東京麴町飯田町五丁目十二番地 ⑰

小笠原賢蔵 京桥区築地一丁目四番地 ⑱

緒方道平 福岡県福岡市洲崎土手町 ④ ☆③ ② ③ ④

⑤ ③ ④

緒方儀一 ⑮

岡田令高 序 ⑭

岡田好樹 長崎県平民 ④ ⑤

岡本則録 ⑯

奥山一郎 東京府平民 当時大阪府西区京町堀五丁目七十

四番屋敷寄留 校²⁰⁷

小倉勝全 新潟県士族 ⁷³

小倉周蔵 敦賀県士族 ⁷³

長川新吾 校³⁴ ³⁷

押川則吉 ¹⁰⁶ 校⁴⁶

織田完之 緒言⁵⁹

織田樗堂 閱⁵⁷

織田 一 ⁵³

小野寺魯一 ⁶³

小幡篤次郎 ²⁰⁰

小幡信篤 群馬県士族 東京本郷弓町一丁目十九番地 ⁹¹

恩及堂主人 ⁹⁷

アックス、ジェー・ウォルレー(英) ¹⁰¹

アトキンソン、アール・ダブリエ Robert William Atkin-

son(東京大学理学部教授)(英) ¹³³

アルチェル、トーマス・シー(蘇格蘭以下堡府學術博物館

総長) ³ ^ハ

アルレン、シー・ブリュス(英、大工頭) ¹⁶¹

アーレン(米) ³⁹ ¹⁰⁵

アンデルソン、ジョン(英、兵部器関局司長) ¹⁶⁵

イーラッツ(英) ¹⁹⁴

イーツ、ジメン John Yeats (英) ²¹² ²¹³ ²¹⁴

ウアスロー(仏) ¹¹⁵

ヴィダル Vidal(仏) ¹¹¹ ¹¹³

ウキツトマツリ ³ ^ヲ

ウキード、ゼームス・オースタイン(京都府雇)(米) ³⁵ ⁷²

ウキルソン、ジョン(英) ³⁷

ウエツズラー(米、雑誌「電気機」発行者) ¹³²

ウエプ(米、中央電話会社技師) ¹⁵²

ウォール(英) ¹⁷⁴

ウハレンチアニ(伊) ³ ^ル

エドワルツ(米) ¹⁹⁹

エッゲルト、ウドー Udo Eggert (帝国大学理財学及財政

学教授、大蔵省顧問、ゲッチンゲン大学教授) ⁵³

オーレン、リチャード・エル(米) ⁷²

か

垣田 彌(農務局畜産課長) 序¹⁰⁴

閣龍博覧会記事協会 東京京橋区南鍋町二丁目十二番地交

詢社内 ¹⁶

梶田謹策 岡山県平民 神戸市坂本村八十五番ノ内二十番

邸寄留 ¹⁴⁴

- 柏原学而 序 25
 桂川甫策 閱 177
 片山新三郎 長崎県平民 東京京橋区築地二丁目五番地 141
 片山遠平 75
 勝島仙之助 広島県平民 東京府下上目黒村駒場農学校内 100(106)
 加藤弘之 序 53
 加藤木重教 福島県士族 東京芝区浜松町一丁目十五番地 145
 門田平三 173
 金谷 昭 210
 金子真三郎 武蔵国横見郡小新井邑 校 86
 川井栖壺 校 140
 河上謹一 214
 川上半吾 93
 河瀬秀治(濠洲メルボルン府万国博覧会事務官長) 11
 河出良二 牛籠北山伏町十八番地 56
 河原忠次郎 4
 河原徳立 東京市深川区東元町十四番地 4
 川原田英太郎 東京京橋区日吉町十番地 147
 河村重固 126(1)
- 川本清一 校 179
 神田 豊 28(38)
 菊野七郎(加賀) 26
 衣笠豪谷 校 41(64)
 木村一步 36(口) 訂 36(イ)
 陸 実 115
 久原躬弦(東京大学理学部明治十年卒業生、同准教授) 42(134)134
 久保扶桑 29
 久保吉人 校 36(ニ)126(イ)
 久保田米儒 東京市芝区新桜田町十九番地 19
 久米邦武 校 138
 倉島義郎(東京農林学校) 茨城県平民 83
 黒田直夫 校 40
 經濟雜誌社(代表者社員望月二郎) 東京市京橋区弥左衛門町七番地 218
 小池靖一(将堂) 跋 210
 小泉晴江 178
 小出拙蔵 111
 高 鋭一(勸業寮九等出仕) 閱 6
 高 銃一 校 123
 高月团治朗 三重県士族 伊勢国安濃郡大門町居寓 65

浩堂学人洪基 題字 170

河野鯨雄 136

小久保 章 参考 86

小久保孝作 武蔵国榛沢郡瀬山邑 校 86

古在由直(東京農林学校教師) 84

後藤達三 32 閲 49

小林義直 126 (ホ)

小松謙次郎 東京市麴町区飯田町四丁目九番地 150

小村小一郎 新潟県古志郡長岡町表三ノ町第三十九番戸 150

今 外三郎 北海道庁土族 北海道石狩国札幌区大通西六

町目一番地 47

近藤真琴 3(ト) 3(ツ)

近藤圭造 28 104

カーケルン(独) 3(ヨ)

カスト、セット(独)、プロスカウ農業大学校長) 3(ニ)

カステール、ファン(蘭) 31

カメロン、チャールズ C.A. Cameron (英) 75

カリベールド、ヘンリー(米) 178

カリントン、ダブリュー・テイ(英) 101

カルダン(仏) 14

カルマルス(独) 85

キイヒッツ(蘭) 200

ギッピン(英) 217 219

ギルバルト、ゼームス・ウキリヤム(英、愛爾蘭地方銀行

オーターフオールド支店支配人) 210

ギルバート、ジオージ(英) 47 101

ギレスビー、ウキルリヤム・ミッチェル(米) 169 169 b

クルーク(英) 182

グーデーヴ(英) 206

クラーク、キンニール(英) 155 171

グラント、イー・ビー(米) 61

クリノン(仏) 115

グリーベン、ジー・エー 3(ホ) 3(ト)

クリュー、ベンシャミン(米、工芸化学家) 150

ケネリー(米、エヂソン工場電気機械師) 152

ケプロン、ホラシ Horace Capron (開拓使顧問) 130 163

ケル子ル、オー Oskar Kellner (東京農林学校教師) (独) 84

コイー(工部省製糸場首長) 88

コルチス、ジョン(英) 41

コンシュルト、オスカル Oscar Korschelt (独、農商務省

雇) 183 185 187

ランドル、ジョサイヤ Josiah Conder (英) ⑦⑩

さ

齋藤実堯 ⑩⑫

齋藤鐵太郎 佐賀県士族 東京神田区三崎町二丁目四番地

⑤② ⑤⑤

西郷従道 題字 ④④

榊原浩逸 大坂府士族(旧岸和田藩士) 下谷区池之端仲町

十七番地 ①⑦

榊原芳野 校 ③⑥(口) ③⑥(ハ)

坂田春雄(豪洲悉徳尼万国博覧会事務官) ⑩

酒匂常明 閱 ⑤① ⑧③

佐々木長淳 東京市麴町区隼町六番地 ④ ☆③(ト)

佐立二郎 閱 ②⑦

佐野常民 (弁理公使兼澳國博覧会事務副総裁) ③(イ) ③(ロ)

③(ハ) ③(ニ) ③(ホ) ③(ヘ) ③(ト) ③(チ) ③(リ) ③(ヌ) ③(ル) ③(ヲ) ③(ワ) ③(ヨ)

③(レ) ③(ソ) ③(ツ) 序 ④

椎野賢三 神奈川県横浜市本町一丁目十九番地 ④

椎野正兵衛 神奈川県横浜市本町二丁目 ④

志賀泰山 ①⑩

志賀天民(泰山、雷山の父) 序 ③③

志賀雷山 愛媛県士族 東京第五大区六小区七番町二番地

寄留 ③③ 伊予国宇和郡川中住/下野国都賀郡朽木

町寄留 ③③

志賀雷山 東京府平民 麴町区四番町六番地 ⑦⑧ ⑨⑩

紫藤 章 ⑩⑩

品川彌二郎(農商務大輔) 序 ④④ ④⑤ ④⑥ ⑤② ⑧⑤

柴田桂承 ③⑥(ハ)

波江 保 ①⑤②

清水卯三郎 東京府平民 日本橋区本町三丁目二十番地

⑧④ ⑧⑧

清水世信 校 ①②(ハ) ①②(ニ) ①②(リ)

下山順一郎 愛知県士族 浅草区北清島町七十八番地 ⑧⑤

⑧⑦ ⑧⑧ 東京麴町区下六番町十七番地 ⑧⑤

十文字信介 宮城県平民 編 ③⑨

莊原 和 校 ⑤②

新保磐次 新潟県士族 函館県函館区元町七十一番地寄留

⑦⑥ 菅原龍吉 校 ②⑨

杉 亨二 ②⑩

杉田源晋 序 ③⑥

杉山 親 静岡県士族 四ツ谷区四ツ谷須賀町二十八番地

⑨⑨ ☆②⑤ ⑧⑦

鈴木省八 鹿児島県士族 ⑥

鈴木峯吉 東京市麴町区有楽町一丁目五番地 ⑩

鈴木良輔 ⑫⑮⑰

首藤 諒 ⑪⑭

諏訪鹿三 東京府平民 日本橋区馬喰町二丁目十四番地山

岸重方同居 ⑦⑨

西江舎主人 ⑫⑰

清野三治(斎藤正三郎改、如眼) 東京府平民 東京市京橋

区新湊町四丁目一番地 ④

関 澄蔵 ④④

関沢明清 ④

関藤成緒 ⑫⑮⑰

副島種臣 題字 ⑮⑰

曾禰達蔵 佐賀県士族 芝区田村町五番地 ⑩⑰

園田 讓 序 ⑫⑰

サンソン(仏) ⑨⑩

シェレー(英) ⑭⑮

ジッケルマン(米) ③⑨⑮

シーボルト、ヘンリー・フォン Heinrich (Henry) Philipp

von Siebold (漢) ③④⑤⑮⑰

シュリップ(独) ④④

ジョールジソン、チャールス・シー(東京農林学校御雇)

(米) ⑥⑥⑧

ジョンソン、ジェームス J. F. W. Johnson (英) ③③⑦⑨

ジルレスピー(米) ⑮⑰

スター(米、内外科医学校神経病学教授) ⑮⑰

スターデルマン(独) ④⑤

ステフェン、ヘヌリー Henry Stephan ③②③④

ストッタアド(米) ⑩⑰

スペンサー、サンダルス(英) ⑩⑰

スポン(英) ⑮⑰

スミス、フヒリテリック(英) ⑮⑰

スミス(米) ⑮⑰

スチール、ドーマン(米) ⑭⑰

ゼイ、レッツフェル社 ⑮⑰

ゼンス、エル・エル(米、白川県洋学校教師) ②④

センネット、リチャード(英) ②⑰

ソルン(英) ⑮⑰ ②③

ゾイベルト、モーリツ(独) ⑭⑰

ソーメルス、ロベルト(英) ②⑰

た

田岡虎豹太(典章) 高知県士族 高知県土佐郡石井村二十

七番地 ⑮⑰ 当時大阪市西区靱南通五丁目二十五番

高橋磯八郎 校 100

高橋 昌 102

高山義衛 兵庫県土族 神戸市坂本村八十五番之内二十番

邸 140

田口卯吉 209

田口虎之助 福井県土族 東京牛込区若宮町三十九番地

155

岳 総治 東京府土族 府下芝区西ノ久保巴町二十五番地

130

武井守正(山林局長) 116 117

竹内 毅 4

竹添光鴻(肥後) 59

竹田関太郎 閱 207

竹本要齋 東京市下谷区桜木町二番地 4

田島常太郎 東京市神田区西小川町一丁目一番地 18

田代俊二(京都府勸業課) 35 72

多田元吉 62

辰巳小次郎 220

伊達彌助 4

田中 穰 110

田中精助 佐賀県土族 東京市芝区桜川町二番地 4

田中芳男 4 30 31 閱 32 60

棚橋衝平 題字 109

玉利喜造(東京府下上目黒村駒場農学校) 43

知識四郎 鹿児島県土族 鹿児島県鹿児島山下町百七十三

番地農事社 46

塚本克己 126 (ト)

土子金四郎 東京府土族 本郷区弓町一丁目二十六番地

215

津田 仙 東京府平民 東京市麻布区木村町二百十七番地

4 70 東京麻布区麻布新堀町八番地 39 ☆ 27

土山盛有(大蔵少書記官従六位) 序 61

都筑直吉 東京府平民 東京府下日本橋区檜物町十番地

168

坪井為春 36 (ニ)

坪谷善四郎 153

寺内章明 刪潤 131 校 136

寺師宗徳 鹿児島県土族 東京芝区愛宕町二丁目十二番地

74

戸井重平 徳島県平民 東京市神田区同朋町二十二番地寄留

80

東條一郎 3 (イ) 3 (ロ) 3 (ハ) 3 (ニ) 3 (ホ)

戸田忠行 跋 101

富田淳久 ③(ハ)③(ホ)③(ト)③(ヌ)③(ヲ) → 西山淳久

富森 篤 滋賀県甲賀郡水口村大字水口三百七十三番屋敷

⑮①

ダアルストローム、カール・ピー(英) ⑳⑦

ダイヤー、ヘンリー(英工部大学教頭) ⑮③

タンネル、ヘンリー(英) ⑤①

チ^(ト)エンバー William Chamber, Robert Chamber (英)

③⑥ ④③ ⑩⑩ ⑫⑥ ⑮⑥ ⑰⑦

チスラン(仏、農務事務省農務局長) ③(ニ)

ツッピンゲル(伊、ベルガモ府製糸場長) ③(ト)

ツラウトワイン、ジョン・シー(米) ⑰③

デイ、モルレー・エス Murray S. Day (開拓使測量)

⑮⑩ ⑮④

デスノワイエー、エム・クロワゼット(仏) ⑮⑥

テラー、ゼー・ピー(墨) ⑦①

テラマ、セバステーン(英) ⑩⑧

デルデン、ス・ハン(蘭) ⑮②

トーマス(米) ⑦⑦

トムリンソン(英) ⑰⑦

ドレッセル(英) ⑮④

な

中井敬之助 茨城県平民 茨城県常陸国鹿島郡息栖村 ⑰①

永井保興 静岡県土族 第三大区三小区下六番町二十五番

地寄留 ⑧⑧

永井要一郎 千葉県下総国千葉郡千葉旭町六百二十六番地

寄留 ⑩⑦

長岡宗好(東京農林学校教授) ⑧④

中神 保 ⑮⑦

中川謙二郎 ⑦⑥

永田健助 東京府土族 牛込区揚場町十八番地 ④⑧ 東

京市本郷区西片町十番地 ⑰⑨

中根重一(外務省翻訳官) ④⑨

中村喜一郎 東京府南多摩郡八王子町横山一丁目二十一番

地 ④

中村健蔵 筆記 ⑮③

中村正直 叙 ②⑦

成島謙吉 ③⑦

鳴門義民 ④① 閱 ③①

西 周 序 ⑮⑤

錦織精之進 ⑮⑥(イ)⑮⑥(ニ)

西村茂樹 ⑮①

西山淳久(旧称富田) 神奈川県横浜市戸村山王山官舎

④ ↓富田淳久

日新社 ⑨⑥

丹山陸郎 ④

如楓散人 序 ①⑦

練木喜三 閱 ⑥⑨

納富介次郎(肥前小城藩の皇学家柴田花守の第二子) ④⑥

野村 靖 叙 ⑤②

野村龍太郎 岐阜県士族 東京麴町区富士見町四丁目一番

地 ①⑥⑨

野呂景義 緒言 ①③⑥

ナピル(英) ①⑧②

ニューマン A. Numán (蘭) ⑨⑦

ネイル(英) ①①⑨

ネットウ、クルト Curt Netto (独、東京大学理学部教授)

①③① ①③⑥

ノルトン、ジョン・パイ(米) ④⑧

は

波木居芳太郎 ②①⑥

橋口宗儀(勸業寮雇) ⑥

橋永定質(案山子) 京都府平民 上京区第二十五組松本町

二番戸ノ内一番 ①④①

橋本正人(勸業寮七等出仕) 滋賀県士族 ⑤

服部杏圃 東京府平民 東京市浅草区元吉町十七番地 ④

花房直三郎 ⑤②

浜本章太郎 題字 ①⑥⑥

林 曾登吉 東京市麴町区三番町六番地 ②①⑦

速水太郎(山陽鉄道会社員) ①⑤①

原 良彦(日本蚕事研究会員) 東京府士族 東京神田区宮

本町十四番地 ⑨②

原 龍太 福島県士族 東京本所区中ノ郷竹町三十五番地

①⑥⑨ 東京麴町平川町五丁目十五番地 ①⑦②

原口 要 訂 ①⑨⑨

原田道義 ⑧⑥

伴 山三郎 ②①⑥

日山農次郎 石川県平民 東京々橋区南旗町十四番地寄留

①⑥⑤

平田東助 跋 ④④

平田宗敬 校 ③⑥(ハ)

平野 栄 閱 ③① ③②

平山英三 東京市麴町区元園町一丁目十一番地 ④

平山成一郎 ③(イ)③(ト)③(チ)③(リ)③(ル)③(ワ)

平山成信 ④

広瀬元周 ⑫

広田 恒 序 ③③

藤井善衍 ⑤⑤

藤島常興 山口県土族 山口県長門国豊浦郡長府村字総社

町 ④

藤田克三 序 ⑪⑥

藤田 健 序 ⑪⑦

藤田 静 ⑫⑨

藤山種廣(明治十九年没) ④

古川正雄 ⑪⑨

堀越練三郎 茨城県土族 栃木県下野国足利郡足利町大字

足利、足利織物講習所構内 ⑪⑨

本郷 準 題字 ⑭④

本間小左衛門(自動生) 新潟県平民 東京市芝区三田小山

町二番地寄留 ⑩⑧

パアテェ、シー・エーチ C. H. Pathe (独) ⑥⑨

ハイステール ⑬⑨

ハイメンダーへ(澳国博覧会第五区第四類審査官長) ③(ト)

パスツール(仏) ⑨③

パッキングム(米、西部電信会社主事兼顧問) ⑬②

ハッドレー、アーサー・ライー(米、葉爾大学教授) ⑮⑤

バビエール、エルネスト(澳国大博覧会審査官) ③(ト)

ハーベルランド(独) ⑨①

バムフォルト、シー・イー(米) ⑨⑨

ハラタマ、クーンラード・ウオルトル Koernrad Wolter

(Gratama (蘭) ⑮⑤)

ハリス(米、合衆国銅豚結社員) ⑨⑥

バル子ス、ダブリュー(英) ④⑦

バロー(仏) ③⑧

バーロー、チャールス(英) ⑭④

パンソン、サミュール(米) ⑤⑧

ハンメル、ゼ(英、ヨークシール大学校染工部監督博士)

⑩⑨ ⑩⑨

ピッキホード(米) ⑭①

ピツヂングトン、ヘンレイ(英) ⑭②

ビブラ(澳国陸軍士官) ③(リ)

ヒュー(米、合衆国海軍中佐) ⑮②

ヒューセ(仏) ③⑧

ビュール(米) ⑤⑥

ブアル、ゼオルヂ(仏) ⑦⑥

フィシユバフ、カルル(独) ⑪② ⑪④

フィンドレイ、ジョージ(英、倫敦西北鉄道会社総支配人)

①54 フェスカ、マックス Max Fesca (独、農商務省御雇地質局
土性試験場監督) ④9 ⑤0 ⑤4 ⑥7 ⑧1

ブサノフ(露) ⑥3

ブッシュ(英、ブッシュ商会) ①47

ブラケット(米、プリンストン大学教授) ①52

ブララン(米) ②9

ブルロトン ③(チ)

ブレイキ、ウキリアム・P. William P. Blake (開拓使雇)

①30

フレッチェル、ゾーマス、シ(英) ②3

ブラウン、トマス(英、海軍機関監督) ①95

ブロウン、ヘンリー・チー(米) ②04

ブロック、モーリス(仏) ①38

ブロンデル(仏) ②0

ベイルド、ヘンリー(米) ①24

ペーマル、ルイス(開拓使雇) ①30

ペール、ポウイス(英) ②65

ベルグノウド、ピ(仏、大砲隊騎兵長、火術学校長兼中央
海軍火術学校幹事) ①88

ベルグノウド、ア・ド(仏、大砲隊大佐、火術学校長) ①88

ベルソー(仏、パリ生糸検査所長) ②4

ベレエズ(仏) ③0 ①37

ヘンデルソン、ペートル(米) ①7

ベンムル(蘭) ⑧6

ホーイブレンク Daniel Hooibrenk ③(丁) ③(ホ) ②7

ホウエール(英) ①24

ボック ①39

ポーブ(米、電気学会前会長) ①52

ホラーク ③(フ)

ホールツアプフェル、チャールズ(英) ①46

ボルフ、エヌ・ピー(英) ②01

ボルレー、ヨハン(奥国ゲルトツ町養蚕試験場長) ②5

ポロンアー(英) ①94

ボンメル、ジョージ(米) ⑦3 ⑦8

ま

前川太郎 京都府平民 下京区第五組梅屋町二十一番戸

①39

前島 密 序 ②9

曲木高配 ⑥0

槇村正直(京都府参事) 序 ①27

牧山耕平 ①79

松浦謙吉 ③6(イ)

松浦良春 閱 52

松尾伊兵衛 ④

松尾儀助 東京市京橋区三十間堀一丁目六番地 ④

松尾信太郎 山口県長門国豊浦郡長府村 ④ ☆③⑵

松川正義(大蔵大輔兼勸農局長從四位) 序 37

松田周次 愛知県土族 愛知県下名古屋区袋町十五番地 170

松田宗則 序 140

松平慶永(春嶽) 序 155

松永伍作 福井県平民 東京府下北豊島郡西ヶ原村農務局

蚕業試験場内 評註 69

松原新之助(農商務省御用掛) ④0

松見斧次郎 ①03

松本 収 ①16

曲淵景章 ⑤5

圓中文助(横浜生糸検査所技師) ④

丸山孝一郎 22

三木福輔 大阪北浜五丁目三十五番地 ①97

水品梅處 ⑤7

水野行敏 ①66

南 清(山陽鉄道株式会社技士長) 閱 153

南 保 閱 153

峯 源次郎 ⑥1

三村野人 題字 73

宮川順藏 大阪府東成郡野田村三百九十二番 ①49

宮城忠左衛門 ④

宮崎蘇菴 校 42

宮崎道正(東京大学理学部明治十年卒業生) ①33

宮崎柳條 東京府平民 第一大区六小区本材木町一丁目二

十一番地 ①25 第一大区十五小区亀嶋町二丁目四番

地 ①27 芝区桜田町十九番地 ①32 ①35 ☆①24

宮島信吉(農商務権大書記庶務局長) 叙 44

武藤常德 京都府土族 神田区猿楽町二番地寄留 ②1

村上要信 ①04

村田文夫 ①61

百田重明 校 ①26(ト)

森 要太郎 岐阜県土族 美濃国安八郡高田村一番地 ①7

(東京農林学校教授) ⑧4

森内富司 大阪府下和泉国大鳥郡東陶器村大字福田百九十

三番屋敷 ①09

両角 寛 題言 ⑥0

マアケンヂー(米) ①00

マイエット、パウル Paul Mayet (前大蔵省顧問、太政官

会計部顧問、農商務省調役 (独) ⑤⑤

マイエル、ハインリヒ (独、東京農林学校教師) ①⑧

マイルス (米) ⑩④

マイヨ、ウージェーヌ (仏、モンペリエ養蚕学校長) ⑧⑨

⑨②

マースデン、リッチャード (英、紡織雑誌記者) ⑭④

マハン、ディー・エッチ (米、ウエスト・ポイント大学校

土木学教授) ⑰⑦

マルヘット、グスタブ (維納府近傍マリアブロン樹林大学

校教師) ⑳③

ミラー、ウォーナー (米) ⑰④

ミリス (米、合衆国工兵隊大佐) ⑮②

ムーレー、ギルバルト (英) ④⑦⑩⑪

メイア、テゼット (英) ⑩⑩

メイン、トーマス (英、ポートマス海軍兵学校数学教官)

⑲⑤

メリー、ウィリアム・エル (米) ⑰④

モアトリエー (仏) ⑥⑩

モシレー、オーグスト・エッチ (洪) ③④⑦

モゾロ ④④

モートン (米、芸学会会長) ⑮②

モネー、コロル (英) ⑥②

モールスウォース、ギルフォード・エル (英) ⑭④

モルトケ、グラーフ (独、大元帥) ③⑴⑴

モルトン (英) ⑧②

モルトン、ジョン・チャーメルス (英) ④⑦⑦④⑦⑦⑩⑩

モンテスキュー Montesquieu ③⑵⑵

モンベル、ブロード (仏) ⑮⑰

モンロー、ヘンリ・エス Henry Munroe (開拓使雇) ⑮⑰

や

安井真八郎 足柄県士族 (安井定保弟) 第四大区二小区中

猿楽町七番地寄留 ⑤⑧

安威 信 ④④

安田源右衛門 (京都府下紀伊郡第一区長) ③⑤

安田定則 (茨城県知事) 題字 ⑰⑰

柳河春蔭 ②③ → 柳川春三

柳河春三 ⑧⑤

柳谷謙太郎 (仏国巴里万国大博覧会事務官) ⑮⑤

柳本直太郎 (少督学) 序 ⑧①

山縣有朋 題字 ⑤②

山川義太郎 (工科大学助教授) 校 ⑭⑤

山口泰次郎 静岡県士族 越後国古志郡長岡殿町五番地

⑧②

山口良蔵 ⑨⑨

山添喜三郎 宮城県仙台市連防小路二十一番地 ④

山崎直胤 ③(ロ)③(ニ)③(ホ)③(ヨ)

山崎 楽(起立工商会社社長代理) ⑬

山田貢一郎 ⑩①

山田藤三郎 ④

山田要吉 東京市本郷駒込東片町百三十一番地 ⑭⑥ ☆

山中重太郎 滋賀県平民 上京区第三十一組恵比須町四十

五番戸寄留 ⑩⑨ ①⑩

山辺丈夫 ⑩⑨

山本五郎(金工万国博覧会事務官) ⑫

山本兼太郎 ⑤③

横尾平太 長野県土族 東京麴町区四番町四番地 ⑮

横瀬文彦 ⑤⑥

横地備吉郎 福岡 ⑩①

横山深介 出雲 ⑩⑩

横山 精 磐城 ②⑥

吉井豊造(元東京農林学校助教) ⑩④

吉田喜聞 茨城県土族 ⑥

吉見義次 ②⑤

依田百川 叙 ⑩①

ユーアット、ウキルリアム(英) ④⑥ ⑩⑥

ユプトネル、ハーンスリットルホン(澳)砲兵士官 ③(リ)

ユール(米) ⑩②

ヨング(仏) ②⑥

ら

楽耕園主人 題字 ⑦④

陸軍乗馬学校 ⑩⑩

ライト、エル(英) ⑩⑨

ライマン、ジョシップ(米) ⑥④

ライマン、ベンジャミン・スミス Benjamin Smith Lyman

(米、開拓使雇) ⑫② ⑬③ ⑩③

ラウトン ⑩①

ラットン、エヌ・ティ N. T. Lupton (米) ④②

ラック、ジョン(仏) ⑩⑥

ランキーン、キルリアム・ジョン・マックオールン Rankine

(英) ⑩⑥ ⑩⑨

ランケステール、イエド・ウエン(英) ⑥⑤

ランドネル、デオニシヤス(英) ⑩⑤

ランドルフ ⑩③

リシテル、カル(ブ)ラーク大学校教師 ③(ヌ)

リチャール(仏) ⑩

リンドセイ、ウキリアム・エス(英) ⑪

レウイス、ウイリアム・エム(米) ⑫

レーウエンタール ⑬

レビー、ダニエル ⑭

レブイー、レラン(英) ⑮

レーベ(独) ⑯

ロー(米) ⑰

ロスコー(独) ⑱

ロックウード、チャー・デー(アメリカン・ベル電話会社)

(米) ⑲

ローセンフヘント、フリードクッヒバイル(澳、軍務省大

尉) ⑳

ロッパ、ポラ ㉑

わ

若井栄三郎(東京大学医学部製薬学卒業生) 茨城県平民

茨城県下総国結城郡結城町二百四十一番地 ㉒

若松常善 愛媛県土族 大阪府下西区本田二番町十二番地

寄留 ㉓

若山儀一(満才思楼主人) ⑳

和田順吉 ㉔

和田義雄 ⑲

和田維四郎(独逸学協会会員) 福井県土族 赤坂区葵町三

番地 ⑳

渡部 朔 東京府土族 東京府牛込区白銀町二十九番地

㉕

(渡辺醇之助) ⑳

渡辺 渡 ㉖

渡瀬寅次郎(茨城県尋常中学校長) 校 ㉗

薬品槍太郎 ㉘

ワイアット、エム・デクビー ㉙

ワグネル、ルードルフ(独) ㉚

ワグネル(独) ㉛

ワグネル、ゴットフレット Gottfried Wagener(独) 勸業

寮雇) ㉜

ワスソン、ゼームス・アル James R. Wasson(開拓使測

量長) ㉝

ワリントン、アール(英) ㉞

ワルフヒールド A. G. Warfield(開拓使雇) ㉟

ワルレン(米) ㊱

刊行者索引

あ

青木恒三郎(嵩山堂) 大阪市南区安堂寺橋通四丁目二百四

十番屋敷 ⑩⑨ 東京市京橋区南伝馬町二丁目十四番地 ②⑥

青野友三郎(天章閣) 東京々橋区南槇町十四番地 ⑩⑤

青山清吉(雁金屋清吉) 東京小石川大門町 ③⑩ ☆②⑦

青山安保 東京府土族 東京京橋区八官町十五番地 ⑭⑤

秋田屋市兵衛 心齋橋南一丁目 ①⑤

穴山篤太郎(有隣堂) 東京京橋区(第一大区七小区)南伝馬

町二丁目十三番地 ③① ③④ ③⑦ ④① ④④ ⑤⑨ ⑥⑦ ⑥⑧ ⑥⑨ ⑦⑦ ⑦⑧ ⑧① ⑧② ⑧③

⑨① ⑨② ⑨③ ⑨④ ⑨⑤ ⑨⑥ ⑨⑦ ⑨⑧ ⑨⑨ ⑩① ⑩② ⑩③ ⑩④ ⑩⑤ ⑩⑥ ⑩⑦ ⑩⑧ ⑩⑨ ⑪① ⑪② ⑪③

和泉屋金右衛門 東京横山町三丁目 ②⑨

和泉屋壯造 日本橋釘町 ②⑥

出雲寺文治郎 京都府平民 下京区第四組栴屋町四番戸

⑩⑧ ⑩⑨ ⑪④ ⑪⑤ ⑪⑥ ⑪⑦ ⑪⑧ ⑪⑨ ⑫① ⑫② ⑫③ ⑫④ ⑫⑤ ⑫⑥ ⑫⑦ ⑫⑧ ⑫⑨ ⑬① ⑬② ⑬③ ⑬④ ⑬⑤ ⑬⑥ ⑬⑦ ⑬⑧ ⑬⑨ ⑭① ⑭② ⑭③ ⑭④ ⑭⑤ ⑭⑥ ⑭⑦ ⑭⑧ ⑭⑨ ⑮① ⑮② ⑮③ ⑮④ ⑮⑤ ⑮⑥ ⑮⑦ ⑮⑧ ⑮⑨ ⑯① ⑯② ⑯③ ⑯④ ⑯⑤ ⑯⑥ ⑯⑦ ⑯⑧ ⑯⑨ ⑰① ⑰② ⑰③ ⑰④ ⑰⑤ ⑰⑥ ⑰⑦ ⑰⑧ ⑰⑨ ⑱① ⑱② ⑱③ ⑱④ ⑱⑤ ⑱⑥ ⑱⑦ ⑱⑧ ⑱⑨ ⑲① ⑲② ⑲③ ⑲④ ⑲⑤ ⑲⑥ ⑲⑦ ⑲⑧ ⑲⑨ ⑳① ⑳② ⑳③ ⑳④ ⑳⑤ ⑳⑥ ⑳⑦ ⑳⑧ ⑳⑨ ㉑① ㉑② ㉑③ ㉑④ ㉑⑤ ㉑⑥ ㉑⑦ ㉑⑧ ㉑⑨ ㉒① ㉒② ㉒③ ㉒④ ㉒⑤ ㉒⑥ ㉒⑦ ㉒⑧ ㉒⑨ ㉓① ㉓② ㉓③ ㉓④ ㉓⑤ ㉓⑥ ㉓⑦ ㉓⑧ ㉓⑨ ㉔① ㉔② ㉔③ ㉔④ ㉔⑤ ㉔⑥ ㉔⑦ ㉔⑧ ㉔⑨ ㉕① ㉕② ㉕③ ㉕④ ㉕⑤ ㉕⑥ ㉕⑦ ㉕⑧ ㉕⑨ ㉖① ㉖② ㉖③ ㉖④ ㉖⑤ ㉖⑥ ㉖⑦ ㉖⑧ ㉖⑨ ㉗① ㉗② ㉗③ ㉗④ ㉗⑤ ㉗⑥ ㉗⑦ ㉗⑧ ㉗⑨ ㉘① ㉘② ㉘③ ㉘④ ㉘⑤ ㉘⑥ ㉘⑦ ㉘⑧ ㉘⑨ ㉙① ㉙② ㉙③ ㉙④ ㉙⑤ ㉙⑥ ㉙⑦ ㉙⑧ ㉙⑨ ㉚① ㉚② ㉚③ ㉚④ ㉚⑤ ㉚⑥ ㉚⑦ ㉚⑧ ㉚⑨ ㉛① ㉛② ㉛③ ㉛④ ㉛⑤ ㉛⑥ ㉛⑦ ㉛⑧ ㉛⑨ ㉜① ㉜② ㉜③ ㉜④ ㉜⑤ ㉜⑥ ㉜⑦ ㉜⑧ ㉜⑨ ㉝① ㉝② ㉝③ ㉝④ ㉝⑤ ㉝⑥ ㉝⑦ ㉝⑧ ㉝⑨ ㉞① ㉞② ㉞③ ㉞④ ㉞⑤ ㉞⑥ ㉞⑦ ㉞⑧ ㉞⑨ ㉟① ㉟② ㉟③ ㉟④ ㉟⑤ ㉟⑥ ㉟⑦ ㉟⑧ ㉟⑨ ㊱① ㊱② ㊱③ ㊱④ ㊱⑤ ㊱⑥ ㊱⑦ ㊱⑧ ㊱⑨ ㊲① ㊲② ㊲③ ㊲④ ㊲⑤ ㊲⑥ ㊲⑦ ㊲⑧ ㊲⑨ ㊳① ㊳② ㊳③ ㊳④ ㊳⑤ ㊳⑥ ㊳⑦ ㊳⑧ ㊳⑨ ㊴① ㊴② ㊴③ ㊴④ ㊴⑤ ㊴⑥ ㊴⑦ ㊴⑧ ㊴⑨ ㊵① ㊵② ㊵③ ㊵④ ㊵⑤ ㊵⑥ ㊵⑦ ㊵⑧ ㊵⑨ ㊶① ㊶② ㊶③ ㊶④ ㊶⑤ ㊶⑥ ㊶⑦ ㊶⑧ ㊶⑨ ㊷① ㊷② ㊷③ ㊷④ ㊷⑤ ㊷⑥ ㊷⑦ ㊷⑧ ㊷⑨ ㊸① ㊸② ㊸③ ㊸④ ㊸⑤ ㊸⑥ ㊸⑦ ㊸⑧ ㊸⑨ ㊹① ㊹② ㊹③ ㊹④ ㊹⑤ ㊹⑥ ㊹⑦ ㊹⑧ ㊹⑨ ㊺① ㊺② ㊺③ ㊺④ ㊺⑤ ㊺⑥ ㊺⑦ ㊺⑧ ㊺⑨ ㊻① ㊻② ㊻③ ㊻④ ㊻⑤ ㊻⑥ ㊻⑦ ㊻⑧ ㊻⑨ ㊼① ㊼② ㊼③ ㊼④ ㊼⑤ ㊼⑥ ㊼⑦ ㊼⑧ ㊼⑨ ㊽① ㊽② ㊽③ ㊽④ ㊽⑤ ㊽⑥ ㊽⑦ ㊽⑧ ㊽⑨ ㊾① ㊾② ㊾③ ㊾④ ㊾⑤ ㊾⑥ ㊾⑦ ㊾⑧ ㊾⑨ ㊿① ㊿② ㊿③ ㊿④ ㊿⑤ ㊿⑥ ㊿⑦ ㊿⑧ ㊿⑨

伊丹屋善兵衛 心齋橋南久宝寺町北へ入 ①⑤

一貫堂 ①⑦

伊藤甲造(汲古堂) 長野県平民 信濃国小県郡上田町千百

三番地 ④⑦

稲田源吉(玉海堂) 東京府平民 第一大区六小区通二丁目

十八番地 ⑧⑧

稲田佐兵衛 日本橋通一丁目 ⑧⑦ 日本橋通二丁目二十

番地 ⑨⑨

氏家禎介 山口県土族 麴町区有楽町一丁目五番地 ④⑤

内田正義(修静館) 東京神田区雉子町三十一番地 ⑨②

梅原亀七(龍曦堂) 大阪府平民 大阪市東区備後町四丁目

三十一番邸 ⑭④ ⑭⑤ 大阪東区備後町四丁目十一番地

⑭⑥ 江草斧太郎(有斐閣書房) 東京市神田区一ツ橋通町七番地

江口源治 大分県土族 東京芝区三田二丁目二番地慶応義

塾出版社寄留 ②①

江藤喜兵郎(玉集堂) 中橋東仲通り下槇町 ①⑤

大蔵省 ⑥①

大倉保五郎(大倉書店) 東京日本橋区通一丁目十八番地

①⑨

大谷仁兵衛 京都府平民 下京区第五組弁慶石町二十五番

戸 ⑬

大橋新太郎(博文館) 日本橋区本石町三丁目十六番地 ⑤③

☆ ⑫

大森弘三郎 山梨県平民 静岡県下第四大区五小区駿河国

有渡郡静岡呉服町三丁目九番地寄留 ③⑧

大阪国文社 大阪市東区本町一丁目三十番屋敷 ⑭⑨

小幡正蔵 長崎県平民 肥前国彼杵郡長崎元古川町/第五

大区四小区神田五軒町口一番地寄留 ⑤⑧

岡田屋嘉七 東京芝大神宮前 ②④

か

海軍造船所—横須賀海軍造船所

海軍兵学寮 ⑪⑨ ⑨⑤

開成学校 ⑪⑤

開拓使 ⑥③ ⑨⑦ ⑬⑩ ⑬③ ⑬④ ⑬⑥

外務省 ④⑨

覚張治平 越後長岡表三ノ町 ⑬⑨

加藤良吉 東京府士族 芝西久保明船町十七番地 ①⑦⑩

金田新太郎 神田区淡路町二丁目二番地 ⑤④

河合卯之助(文港堂) 京都府平民 上京区第三十組妙満寺

前十番戸 ①④

河手長平 東京市京橋区八官町二十二番地 ⑧⑨

勸業寮 ⑤ ③② ②④

喜多三郎 東京府平民 東京神田区錦町三丁目四番地寄留

⑤②

北川則善(工談会) 東京々橋区築地二丁目三十三番地 ①⑦

北畠茂兵衛 東京府平民、和歌山県平民 東京府下第一大

区六小区通一丁目十五番地 ③② ③④ ⑥⑦

木原寅吉 東京市芝区芝白金三光町四百五十七番地 ①⑥

木平愛二(有終堂) 静岡県士族 小石川区小石川江戸川町

十九番地 ⑨⑨

木村光綱 三重県士族 伊勢国安濃郡津立町六番地 ⑥⑤

京都府勸業場 ⑦② ①②

京都府牧畜場 ③⑤

倉持茂三郎(勤行堂) 茨城県平民 茨城県常陸国真壁郡市

野辺村一番地 ①①

経済雜誌社 ①⑩ ①⑩

元老院 ②⑨

攻玉社—近藤真琴

工部省 ①②⑨

小柳津要人(丸善商社書店) 大阪府士族 東京日本橋区通

三丁目十四番地寄留 ⑥⑨ ②④

近藤真琴(攻玉社) 東京府士族 東京芝区新銭坐十番地

①⑥⑨ ①⑥⑨ b ①⑦②

山陽鐵道株式会社 兵庫縣神戸市兵庫西柳原町三十番地

159

篠崎儀一郎(金泉堂) 朽木縣平民 下野國都賀郡嘉右工門

町住 33

柴田源三郎 東京市麴町区麴町二丁目八番地 110

清水幾之助 京都府平民 上京区第三十組上本能寺前五

番戸 130

殖民協會 東京市京橋区西紺屋町十九番地 71

白井練一(共益商社書店) 芝区宮本町二十九番地 169 169 b

東京京橋区竹川町十三番地 172

白川県洋学校 熊本 24

仁契堂 南鍋町二丁目二番地 196

水路部 174

鈴木光長(水交社) 東京市京橋区築地四丁目一番地寄留

200

須原鉄二(畏三堂) 東京日本橋区西河岸町十二番地 205

須原量坪(律書房) 東京日本橋吳服町六番地 209

青藍舎 180

瀬戸清次郎 大阪府平民 大阪府西區江ノ子島上町一番屋

敷 203

千山堂 120

專修学校 神田区今川小路二丁目八番地 215

た

大学南校 23

大日本山林会 京橋区木挽町二丁目十四番地 116 ☆ 118

大日本農会 東京府芝区三田四国町二番地 76 東京京

橋区木挽町二丁目 104 ☆ 102 109

大日本棉糸紡績同業聯合会 149

高崎修助 東京府平民 日本橋区通塩町十番地 191

田辺五兵衛 大坂府平民 東区道修町三丁目八番地 183

中近堂 東京銀座二丁目六番地 211

土屋忠兵衛 芝柴井町三十番地 195

恒屋盛服 東京市麻布区霞町八番地 71

東京大学法理文学部 131 133 134

東京府勸業課 182

な

内務省 31 34 60

内務省勸農局 34 37 59 62

内務省山林局 117 113 114

長尾景弼(博聞社) 兵庫縣土族 芝区三田一丁目三十六番

地寄留 ⑭

長島為一郎 埼玉県北足立郡鴻巣宿百十四番地 ⑤①

中溝熊象 東京浜丁二丁目十二番地 ⑥②

中村浅吉(風祥堂) 京都府平民 上京区第三十組丸屋町二

十二番戸 ⑭④

蜷川式胤 ⑭②①

日本蚕業雜誌社 東京麻布区麻布西町十四番地 ⑨⑤

農商務省 ③④ ⑤⑥ ⑥⑦ ⑥⑧ ⑥⑨ ⑥⑩ ⑥⑪ ⑥⑫

農商務省山林局 ⑪④ ⑪⑦

農商務省庶務局 ④④ ⑪⑤

農商務省地質調査所 ⑤④

農商務省農務局 ④④ ④① ④② ④③ ④④ ④⑤ ④⑥ ④⑦ ④⑧ ④⑨ ④⑩ ④⑪ ④⑫

は

萩原庸介 東京府士族 東京神田区北神保町十番地 ⑮⑤

博聞(本)社 東京愛宕下三丁目 ②⑧ ☆⑥③ ⑬③

長谷川武次郎(長谷川商店) 東京京橋区日吉町十番地 ⑭④

早川重三 千葉県士族 千葉県下千葉郡千葉町二五六六番

地寄留 ⑧①

原田庄左衛門(博文堂) 東京府平民 本郷区元町一丁目五

番地 ⑮⑦

原 亮一郎(金港堂書籍株式会社) 東京市下谷区龍泉寺町

四百十四番地/金港堂 東京市日本橋区本町三丁目十
七番地 ②⑦①

晚翠閣 静岡 ②⑤

文正堂 ⑭⑦⑧

福田兵四郎(老良館) 本所堅川三ノ橋通り ⑮④

房総会(会長船越衛) 千葉県寒川村九百八十九番地 ⑧①

星野松蔵 東京通旅籠町十七番地 ⑥②

ま

前川善兵衛 大阪 ②⑦

前田喜代松(北辰社) 千葉県平民 東京麴町区飯田町三丁

目九番地 ④⑥

牧野善兵衛(清風閣、和泉屋) 東京府平民 東京第二大区

二小区芝口一丁目四番地 ⑭② ⑭⑤ ⑭⑦ 芝区芝口一丁目

六番地 ⑬② ⑬⑤

松井忠兵衛 東京芝区柴井町十六番地 ⑭④ ⑭⑥

松尾儀助 佐賀県士族 府下京橋区采女町二十七番地寄留

⑬③

松本屋亀吉 京橋南伝馬町二丁目 ⑤⑥

丸家善七(丸屋、丸善商社、丸善株式会社書店) 東京府平

民 東京府日本橋区通三丁目十四番地 ④③ ④④ ④⑤ ④⑥ ④⑦ ④⑧ ④⑨ ④⑩ ④⑪ ④⑫

☆⑮⑤ ⑮⑦

峰岸政逸 栃木県平民 栃木県下野国足利郡坂西村大字今

福二十番地 192

宮島信吉 岐阜県士族 麴町区飯田町一丁目六番地 116

三家村佐平 200

村上勘兵衛(御用御書物所) 京都東洞院三条上ル 172

名山閣 123

森山春雅 東京市本郷区元町二丁目二十五番地 4

文部省 165 166 179

文部省編輯局 36 42 75 101 126 135 143 199 212 214

や

八木半三郎 京都府平民 京都府下々京区第十四組順風町

十八番戸 89

柳河梅治郎(中外堂) 東京日本橋区本町二丁目十番地 209

☆ 194

柳沢 里 日本橋通塩町十番地 79

山岸 重(香松社) 日本橋区馬喰町一丁目十四番地 79

山城屋佐兵衛 日本橋通二丁目 161 181

大和屋喜兵衛 東京中橋東中通下槇町 57 96

大和屋源助 京橋南伝馬町一丁目 56

山中市兵衛 第二大区五小区芝三島町十番地 34 87 155

☆ 33

山中勘次郎 京都府平民 下京区第五組海老屋町二十一番

戸 139

山中孝之助 東京京橋区銀坐二丁目五番地 171

八幡屋幸助 茨城県常陸国真壁郡下館柳村一番地 171

有斐学社 181

横須賀海軍造船所 195 200

吉川半七 東京南伝馬町一丁目十二番地 182

吉田彦六郎 東京麴町区中六番町四番地 185

吉田屋 85

わ

綿屋喜兵衛 心斎橋南一丁目 175

腕屋喜兵衛 東京本石町二丁目角 160